

夏戸センター改修整備工事 設計図


長岡市都市整備部住宅施設課

図 面 リ ス ト

区 分	図 番	図 面 名 称	縮 尺	区 分	図 番	図 面 名 称	縮 尺	区 分	図 番	図 面 名 称	縮 尺
建 築	A ― 01	図面リスト	――		A ― 34	法規チェック図(1) 本館棟(1階・2階)		電気設備 (別途工事)	E ― 01	図面リスト	――
	A ― 02	改修特記仕様書(1)	――		A ― 35	法規チェック図(2) 本館棟(3階)			E ― 02	電気設備特記仕様書(1)	――
	A ― 03	改修特記仕様書(2)	――		A ― 36	法規チェック図(3) 体育館棟			E ― 03	電気設備特記仕様書(2)	――
	A ― 04	改修特記仕様書(3)	――		A ― 37	法規チェック図(4) 本館棟 建具表			E ― 04	幹線・動力・コンセント設備1・2階平面図	1/100
	A ― 05	改修特記仕様書(4)	――		A ― 38	法規チェック図(5) 体育館棟 建具表			E ― 05	電灯設備 本館棟1・2階平面図平面図	1/100
	A ― 06	改修特記仕様書(5)	――		A ― 39	法規チェック図(6) 採光・換気・排煙 計算表 消防無窓階算定表			E ― 06	電灯設備 本館棟3・R・P H R階平面図	1/100
	A ― 07	計画概要 附近見取図 配置図	1/400		A ― 40	法規チェック図(7) 面積表			E ― 07	非常灯・誘導灯設備 本館棟1・2階平面図	1/100
	A ― 08	仕上表	――			体育館棟 1階平面図 2階平面図			E ― 08	非常灯・誘導灯設備 本館棟3・R・P H R階平面図	1/100
	A ― 09	本館棟 1階平面図 (改修前)(改修後)	1/100			体育館棟 立面図			E ― 09	非常灯・誘導灯設備 体育館棟1・2階平面図	1/100
	A ― 10	本館棟 2階平面図 (改修前)(改修後)	1/100			体育館棟 断面図			E ― 10	弱電設備 本館棟1・2階平面図平面図	1/100
	A ― 11	本館棟 3階平面図 (改修前)(改修後)	1/100						E ― 11	弱電設備 本館棟3・R・P H R階平面図	1/100
	A ― 12	本館棟 R階平面図 P H R階平面図 (改修前)(改修後)	1/100						E ― 12	弱電設備 体育館棟1・2階平面図	1/100
	A ― 13	本館棟 立面図(1) (改修後)	1/100						E ― 13	自動火災報知設備 本館棟1・2階平面図	1/100
	A ― 14	本館棟 立面図(2) (改修後)	1/100						E ― 14	自動火災報知設備 本館棟3・R・P H R階平面図	1/100
	A ― 15	本館棟 断面図 (改修後)	1/100						E ― 15	自動火災報知設備 体育館棟1・2階平面図	1/100
	A ― 16	本館棟 1階天井伏図(改修前)(改修後)	1/100								
	A ― 17	本館棟 2階天井伏図(改修前)(改修後)	1/100								
	A ― 18	本館棟 3階天井伏図(改修前)(改修後)	1/100					機械設備 (別途工事)	M ― 01	図面リスト	――
	A ― 19	本館棟 矩計図 (改修前)	1/30						M ― 02	機械設備特記仕様書(1)	――
	A ― 20	本館棟 矩計図 (改修後)	1/30						M ― 03	機械設備特記仕様書(2)	――
	A ― 21	1階エントランスホール 事務室 展示ブース(1)展示ブース(2) 平面詳細図(改修前)	1/50						M ― 04	空調設備 機器表 断面図	1/30
	A ― 22	1階エントランスホール 事務室 展示ブース(1)展示ブース(2) 平面詳細図(改修後)	1/50						M ― 05	空調設備 本館棟1・2階平面図	1/100
	A ― 23	1階エントランスホール 事務室 展示ブース(1)展示ブース(2) 展開図(改修後)	1/50						M ― 06	換気設備 本館棟3・R階平面図	1/100
	A ― 24	1階男子便所 平面詳細図 展開図	1/50						M ― 07	衛生設備 本館棟詳細図・器具表	1/100
	A ― 25	1階女子便所 平面詳細図 展開図	1/50						M ― 08	衛生設備 体育館棟1・2階平面図	1/100
	A ― 26	2階 展示室(1),(2),(3) 倉庫 平面詳細図(改修前)(改修後)	1/50								
	A ― 27	2階 展示室(1),(2),(3) 倉庫 展開図 (改修後)	1/50								
	A ― 28	2階男子便所 女子便所 平面詳細図 展開図	1/50								
	A ― 29	3階 収蔵庫(1),(2),(3) 倉庫 平面詳細図(改修前)(改修後)	1/50								
	A ― 30	3階 収蔵庫(1),(2),(3) 倉庫 展開図	1/50								
	A ― 31	ポーチ(1) 平面詳細図 断面詳細図	1/30								
	A ― 32	ポーチ(2) 平面詳細図 断面詳細図	1/20 1/50								
	A ― 33	建具表	1/50								
	A ― 34										

特記事項
1. 敷地面積はJIS-CADにより算出

発注者

 長岡市都市整備部住宅施設課

TITLE

夏戸センター改修整備工事

PRO. NO.

DATE

2017.03

NAME

図面リスト

SHEET NO.

A - 01

株式会社ブラック研究所

一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
〒102-0083 東京都千代田区神町3-7-6
TEL 03-5226-1105 FAX 03-5226-2697

管理建築士 一級 国土交通大臣登録 第233817号
福岡 薫

DRAWN

SCALE

[illegible]

3	8	シーリング	撤去既存シーリングの処理	事前調査等	・ 行う(下記の要領で分析する)	・ 行わない			
			現場においてサンプルを採集し、専門分析機関で分析を行う。	採取箇所	外壁目地	・ 建具周囲目地	・ 図示		
			採取箇所数	・ 部材が異なる毎に1箇所	・ 図示				
9	とい		分析によりPCBの含有が確認された場合は、下記により施工調査等を行い、適切に処理を行う	調査範囲	今回改修工事範囲全て	・ 図示			
			調査内容	シーリング使用部位及び長さの確認					
			施工範囲と工事監視区分の確認	仮設計画	廃棄物等の搬出方法				
10	アルミ製窓木		オフ形式アルミ製窓木の種類	[3.9.2][3.9.3][表3.9.1]					
			種 類	板厚(mm)	表面処理及び色合い	固定間隔	下地補修		
			・100形	1.5以上	・A-1又はB-1種(無着色)	建築基準法に基づく指定する条件により定める	行う(図示)	・ 行わない	
4-1	1	施工数量調査	下記の劣化状況調査の結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。	調査範囲					
			調査内容	ひび割れの幅及び長さを壁面等に図示する。					
			ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、タイルの剥離・剥落など欠陥部分を調査する。コンクリートの表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。仕上塗材等の劣化部分、剥落部等を壁面に表示する。新規仕上塗材の美観に影響を与えるおそれのある段差部等を壁面に表示する。外壁改修工事(劣化状況調査、劣化部補修及び下地処理、シーリング、仕上塗材仕上)は、新潟県外壁補修工事業協同組合員(以下、「組合員」という。)の施工とする。ただし、やむを得ない場合は、劣化部補修を組合員以外の施工とすることができる。その場合は、組合員の施工指示による。外壁改修工事について、受注者は新潟県外壁補修工事業協同組合と連名の保証書を提出する。コンクリート造の外壁は保証対象範囲外						
4-2	1	ひび割れ部改修工法	・樹脂注入工法	[4.1.4][4.3.4]					
			注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)			
			自動式低圧注入	0.2以上～1.0以下	200～300	130			
コンクリート打放し仕上げ外壁改修工事	2	欠損部改修工法	・手動式注入	0.2以上～0.3以下	50～100	40	・		
			樹脂注入工法	0.3超え～0.5以下	100～200	70	・		
			・機械式注入	0.5超え～1.0以下	150～250	130	・		
4-3	モルタル塗り仕上げ外壁改修工事	2	ひび割れ部改修工法	・樹脂注入工法					
			注入材料	建築補修用注入樹脂	(JIS A6024低粘度形又は中粘度形)				
			検査(コ抜取り)	行わない					
4-4	タイル張り仕上げ外壁改修工事	3	欠損部改修工法	・樹脂注入工法					
			注入材料	建築補修用注入樹脂	(JIS A6024低粘度形又は中粘度形)				
			検査(コ抜取り)	行わない					
4-5	1	既存タイル張りの撤去及び下地処理	・充填工法	[4.1.4][4.2.2][4.3.7][4.4.8]					
			充填材料	樹脂					
			・タイル張替え工法	[4.1.4][4.2.2][4.4.9]					
4-6	2	下地調整	・タイル張替え工法	[4.1.4][4.2.2][4.4.9]					
			仕上厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置						
			スルス製アーカービンを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、スルス等を張る。						
4-7	3	仕上げ塗材	・図示						
			既製目地材	・適用する(形状 図示)	[4.2.2]				
			タイルを撤去しない場合	[4.1.4][4.2.2][4.4.10]～[4.4.15][表4.4.3][表4.4.4]					
4-8	4	浮き部改修工法	改修工法の種類	アーカービンの本数(本/m)	注入口の箇所数(箇所/m)	充填量	注入量		
			一般部	指定部	一般部	指定部	(ml/箇所)	(ml/箇所)	
			・アーカービニング部分	16	25		25		
4-9	5	陶磁器質タイル張り	・アーカービニング全面	13	20	12	20	25	25
			・アーカービニング全面	13	20	12	20	25	50
			・アーカービニング全面	13	20	12	20	25	50
4-10	6	目地改修工法	・目地ひび割れ部改修工法	[4.1.4][4.5.16]					
			・伸縮目地改修工法	[4.1.4][4.5.16]					
			・目地ひび割れ部改修工法	[4.1.4][4.5.16]					
4-11	7	鋼製建具(標準型鋼製建具を含む)	・鋼製建具	[5.4.2][5.4.6][表5.4.1]					
			・鋼製建具	[5.4.2][5.4.6][表5.4.1]					
			・鋼製建具	[5.4.2][5.4.6][表5.4.1]					
4-12	8	鋼製軽量建具(標準型鋼製軽量建具を含む)	・鋼製軽量建具	[5.5.2][5.5.6]					
			・鋼製軽量建具	[5.5.2][5.5.6]					
			・鋼製軽量建具	[5.5.2][5.5.6]					
4-13	9	ステン製建具	・ステン製建具	[5.4.2][5.6.2][表5.4.1]					
			・ステン製建具	[5.4.2][5.6.2][表5.4.1]					
			・ステン製建具	[5.4.2][5.6.2][表5.4.1]					
4-14	10	木製建具	・木製建具	[16.7.2]					
			・木製建具	[16.7.3]					
			・木製建具	[16.7.9]					
4-15	11	建具用金具	・建具用金具	[5.7.4]					
			・建具用金具	[5.7.4]					
			・建具用金具	[5.7.4]					
4-16	12	自動ドア開閉装置	・自動ドア開閉装置	[5.8.3][表5.8.3]					
			・自動ドア開閉装置	[5.8.3][表5.8.3]					
			・自動ドア開閉装置	[5.8.3][表5.8.3]					
4-17	13	自閉式上吊り引戸装置	・自閉式上吊り引戸装置	[5.9.1]					
			・自閉式上吊り引戸装置	[5.9.1]					
			・自閉式上吊り引戸装置	[5.9.1]					
4-18	14	重量シャッター	・重量シャッター	[5.10.2]					
			・重量シャッター	[5.10.2]					
			・重量シャッター	[5.10.2]					
4-19	15	軽量シャッター	・軽量シャッター	[5.11.2][表5.11.1]					
			・軽量シャッター	[5.11.2][表5.11.1]					
			・軽量シャッター	[5.11.2][表5.11.1]					
4-20	16	オールヘッドドア	・オールヘッドドア	[5.12.2][5.12.3][表5.12.1]					
			・オールヘッドドア	[5.12.2][5.12.3][表5.12.1]					
			・オールヘッドドア	[5.12.2][5.12.3][表5.12.1]					
4-21	17	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-22	18	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-23	19	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-24	20	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-25	21	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-26	22	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-27	23	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-28	24	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-29	25	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-30	26	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-31	27	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-32	28	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-33	29	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-34	30	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-35	31	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-36	32	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-37	33	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-38	34	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-39	35	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-40	36	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-41	37	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-42	38	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-43	39	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-44	40	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-45	41	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-46	42	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-47	43	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-48	44	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-49	45	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-50	46	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-51	47	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-52	48	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-53	49	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-54	50	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-55	51	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-56	52	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-57	53	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-58	54	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-59	55	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-60	56	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-61	57	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-62	58	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-63	59	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-64	60	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-65	61	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					
4-66	62	ガラス	・ガラス	[5.13.2]					
			・ガラス	[5.13.2]					

⑤ 17 ガラス

建具改修工事

・熱線反射板ガラス

品 質	反射皮膜面	材料板ガラスの種類	映像調整
・熱線反射ガラス	内面 ・ 外面	・ 70-ト板ガラス	行わない
・高性能熱線反射ガラス	・ 内面	・ 熱線吸収70-ト板ガラス	・ 行う

・倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色 調
70-ト倍強度ガラス	
・熱線吸収倍強度ガラス	・ グレー ・ ブルー ・ ブrown ・

⑬ ガラス留め材

19 ガラスブロック積み

建具の種類	種 類
アルミニウム製	・ シーリング 材 ガラスカット(FIX部はシーリング 材)
鋼製及び軽量鋼製	シーリング 材
ステンレス製	シーリング 材

⑮ ガラス用フィルム

ガラスブロック	5.13.5				
寸 法 (mm)	表面 形 状	性 能 等			
呼び寸法	厚さ	色 調	パターン	防火性能	耐火性能
		クリア		無し	無し

壁用金属枠及び補強材

壁用金属枠の種類	規格及び補強材等
アルミニウム製	・ 標仕16.2.3の77に規定建具の材料による

化粧目地モルタルの色

モルタル色 ・

シーリング材料

下表以外は改修標仕表3.7.1による

5.13.5

3.8.2

表3.8.1

被着体の組合せ	シーリング材の種類	耐久性による区分
	記号	主成分による区分

名 称	種 類	張 り 面	性 能 値
ガラス飛散防止フィルム	第 2 種	内張り ・ 外張り	飛散防止率 D 1

遮光フィルム

品質 JIS A 5759による

⑥ ① 基本要品質

6.1.2

特記以外の建物内部に使用する内装改修工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料の規格・寸法の放散量はFを基本とする。なお、該当する材料等がない場合において、F 以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

② 改修範囲

6.1.3

・既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲

壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示の範囲

6.1.3

・天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

・図示の範囲

6.1.3

・天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

既存のまま

・図示の範囲

3 施工数量調査

1.5.2

下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。

・内部床、壁、天井等の改修後に見え掛りとなる既存のコンクリート、タイル、プラスチック、ボード等の面調査内容

ひび割れの幅及び長さを壁面等に示する。

タイル、タイル、プラスチックの浮き部分を壁面に表示する。また、タイルの欠陥部分(タイル目地を含む。)を調査する。

仕上材の欠損部、腐朽部、脆弱部を壁面に表示する。

・加工-工法による床・壁・天井改修箇所の下地材調査内容

既存下地材の不陸、脆弱部、欠損部を調査する。

天井下地組の強度、腐朽状況を調査する。

・改修工事後も使用する建具(枠、額縁を含む。)

調査内容

建具の建付け状況、建具金物の不具合の有無、仕上げ材の欠損部、腐朽部を調査する。

・設備工事及び既存部分と改修部分との取合い部の整合を調査する。

・造り付けの実験台、作業台、流し及び黒板等で監督員が指示したものについて、欠陥部分不具合の有無を調査する。

④ 既存床の撤去及び下地補修

6.2.2

・ビニル床シート等の撤去

仕上げ材のみ(接着剤とも)

仕上げ材のみ(接着剤とも)

・下地タイルとも(図示の範囲)

・行わない(図示の範囲)

6.2.2

・合成樹脂塗り床の材の除去工法

機械的除去工法

目荒工法

改修後の床の清掃範囲

改修箇所の室内 ・

6.2.2

⑥ 5 既存壁の撤去並びに下地補修

6.3.2

4.4.9

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修

図示

・ 4.4.9)タイル塗装工法

仕上り厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処理

ステン製アクリルを縦横200mm程度の間隔に打ち込み、ステンス等を張る。

・ 図示

代用樹種

6.5.2

表6.5.4

改修標仕表6.5.4によるほか、樹種のうちすぎは「越後杉ブランド」を使用する。

・ 代用樹種を適用しない箇所 ()

6.5.2

品 名	規格・品質	心材の樹種	化粧単板の樹種
集成材	一般材	たも・なら・しおじ	・
・造作用集成材	1等 ・ 2等	・	・
・化粧ばり造作用集成材	1等 ・ 2等	・	・
・化粧ばり構造用集成材	1等 ・ 2等	・	・
・	・	・	・

大工工事に使用する接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性とする。

6.5.3

⑧ 接着剤

9 防腐・防蟻処理

6.5.5

防腐処理 行う(適用範囲 改修標仕6.5.5(a)による ・ 図示)

6.5.5

防蟻処理 行う(適用範囲)

6.5.5

防腐・防蟻剤は、加剤 リン等を含まない非有機リン系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督員に提出し承諾を受ける。

防腐・防蟻処理の方法

工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。

ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存剤を塗布することとする。

⑩ 軽量鉄骨天井下地

6.6.3

表6.6.2

屋外の場合の形式及び寸法

6.6.3

表6.6.2

下表以外は、改修標仕6.6.3及び表6.6.2による

下地材の間隔 (mm)	施 工 箇 所
野縁受、吊りボルト、ウエルト	野 縁
中央部	周辺部

ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を改修標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。

6.6.4

既存の埋込ウエルト 使用する ・ 使用しない

6.6.4

あと施工アクリルの引抜き試験 行う 行わない

6.6.4

屋外の場合の試験

荷重 ・ 400N ・

箇所数 ・ 当該階において3箇所程度 ・ 図示

ふところ が 3 mを超える場合の補強 図示 ・

6.6.4

屋外の天井の補強 図示 ・ 改修標仕6.6.4(k)による

6.6.4

⑪ ビニル床シート張り

6.8.2

種 類	JISの記号	色 柄	厚さ (mm)
発泡層のないもの	F S ・	無地 ・ マット柄	2.0
・発泡層のあるもの		柄物 ・ 無地	
・			

・ 下地 ・ 既存床仕上り材清掃の上、目荒らし

6.8.3

工法 熱溶接工法 ・ 突付け (施工箇所)

6.8.3

⑫ ビニル床タイル張り

6.8.2

種 類	JISの記号	厚さ (mm)	備 考
コンクリート・コンクリート床タイル	K T	2.0	
・単層ビニル床タイル	T T	・	
・複層ビニル床タイル	F T	・	
・重敷きビニル床タイル	H T L	・	
・薄型重敷きビニル床タイル	F O B	・	

⑬ 帯電防止床タイル張り

6.8.2

種 類	厚 さ (mm)	性 能
・コンクリート・コンクリート床タイル	2.0 ・	体積抵抗値 (JIS K 6911による)
・ホビニル床タイル	4.0又は4.5	1.0×10 ⁹ 以下、又は、
・	・	漏洩抵抗値 (JIS A 1454による)
・	・	1.0×10 ¹⁰ 未満

⑭ 誘導用、注意喚起用床材

6.8.2

視覚障害者用タイル

適用箇所

種 類	寸 法 (mm)	形 状
屋 内	①塩化ビニル系	300×300 ・
	・レジンコンクリート系	300×300 ・
	・磁器又はせっ器タイル	による
屋 外	・コンクリート系	300×300×60 ・ 300×300×30
	・磁器又はせっ器タイル	・

⑮ ビニル幅木

6.8.2

高さ (mm) 60 ・ 75 ・ 100

6.8.2

⑯ カーベット敷き

6.9.2

6.9.3

表6.9.1

・ 織りゅうたん

種 別	織 り 方	バ イル形状	帯 電 性	色 ・ 柄等
・ A 種	・タイルカーベット	・カッパイル	人体帯電圧	単一色(無地)
・ B 種	・ダブ・ルフェーカーベット	・ループバイル	3kV以下	・柄物(標準品)
・ C 種	・アキスミスターカーベット	・カッパイル併用	・	

⑥ ⑭ カーベット敷き

内 装 改 修 工 事

17 合成樹脂塗床

⑮ タイルカーベット

6.9.3

6.9.4

表6.9.2

バ イル形状	バ イル長 (mm)	工 法	帯 電 性
・カッパイル	5.0～7.0 ・	全面接着工法	人体帯電圧
・タイルカーベット	4.0～6.0 ・	・ グリッパ - 工法	3kV以下
・レインカーベット	4.0		・
・カッパイル併用	・		

⑯ タイルカーベット

6.9.3

種 別	バ イル形状	電気抵抗値 ()	施 工 箇 所
第一種	ループバイル	適用しない	
・	・カッパイル	・10 ⁹ 以下	

6.10.3

表6.10.4～表6.10.8

種 別	仕 上 げ の 種 類
・弾性ウレタン塗床材	平滑仕上 ・ 防滑仕上 ・ つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗床材	薄膜流し展べ仕上げ (平滑 ・ 防滑)
	・ 厚膜流し展べ仕上げ (平滑 ・ 防滑)
	・樹脂モルタル仕上げ (平滑 ・ 防滑)
	・薄膜型塗床

6.11.2～6.11.7

表6.11.1～表6.11.4

品 名	樹 種	等 級	板 厚	工 法	仕上塗装
・フローリングボード	・なら	・1等	15	・釘留め工法	・塗装品
	・	・	・	・接着工法	・無塗装品
・フローリングブロック	・なら	・1等	15	・タイル埋込工法	・
	・	・	・	・接着工法	・
・天然木化粧複合フローリング	・	C種	・	釘留め工法	・塗装品
	・	・	・	・接着工法	・無塗装品
・複合フローリング (大型階層型)	・かば		18	のりくぎ併用	・塗装品
	・	・	・	・ビス留め	・無塗装品

6.12.2

表6.5.10

表6.12.1

適用箇所	量の 種 別
改修標仕表6.5.10による床組	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 (KT- ・)
タイルフローリング床下地	・ C 種 ・ D 種 (KT- ・)

6.13.2

表6.13.1

種 類	JISの記号	厚さ (mm) ・ 規格等
・硬質木毛セキ板	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25
・普通木毛セキ板	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25
①塩化ビニル板	O . 8 F K	タイル 2 (無石綿)
・タイル化粧吸音板	D R	フラットタイプ (9.0 ・ 12.0 ・)
		・ 凹凸タイプ (12.0 ・ 15.0) ((個)不燃)
②せっこうボード	G B - R	③9.5 (準不燃) ④2.5 (不燃)
・不燃積層せっこうボード	G B - N C	9.5 (不燃) 化粧無(下地張り用)
		化粧有(トリプル仕様)
⑤ラバーせっこうボード	G B - S	・ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (準不燃)
・強化せっこうボード	G B - F	・ 12.5 (不燃) ・ 15.0 (不燃)
・難燃合板		
・		

軽量鉄骨下地ボード 遮音壁の遮音シールド材

6.13.2

適用する ・ 適用しない

・せっこうボードの継目処理

目地工法の種類

せっこうボードのタイプの種類

施工箇所

6.13.1

表6.13.1

種 類	記 号	厚さ (mm)
・タイル吸音ボード 1号	RW - B	25 ・
ガラス吸音ボード 2号 32K	GW - B	25 ・

6.14.2

施工箇所	壁 紙 の 種 類	防火性能の級別	備 考
展示室 (1)	紙製 織物 ビニル	化学繊維 無機質	
	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃
	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃
	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃

タイル、プラスチック面等の下地調整

6.14.3

7.2.5

7.2.6

表7.2.4

表7.2.5

RB種

・ RA種 (施工箇所：)

6.14.3

7.2.7

表7.2.7

RB種

・ RA種 (施工箇所：)

既製目地材

適用しない ・ 適用する (形状は図示による)

6.15.3

⑮ タイル張り

24 陶磁器質タイル

タイルの種類

6.16.3

施工場所・用途

形状寸法 (mm)	耐凍害性	うわぐすり	役 物	色	備 考
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・

タイルの試験張り

行わない ・ 行う

6.16.3

タイルの見本焼き

行わない ・ 行う

6.16.3

壁タイル張りの工法

6.15.5

表6.16.4

表6.16.6

内装タイル

壁タイル接着剤張り ・ 積上げ張り

25 プリアセシロフ

内 装 改 修 工 事

① 耐荷重性能5,000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型プリアセシロフの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。

注2：表面仕上り材の品質・規格等は、13帯電防止床タイル張り、16カーベット敷きによる。

② プリアセシロフ

製造所の標準仕様 (ただし、構成材は標仕20.2.2(b)(2)による)

・ 図示

コンクリートの取付け対応

仕様 製造所の標準仕様 (コンクリート本数は別途設備工事)

コンクリートの箇所数 10～15㎡ に1箇所程度

配線取出しバネ

プリアセシロフ全体面積に対する設置割合 20～30%

配線取出し開口 40mm×80mm程度の開口

空調用吹き出しバネ

無し

・ 有り (固定式 ・ 可動式 ： 施工箇所は図示)

26 可動間仕切

20.2.3

構造形式	バネ部の総厚さ (mm)	表面材種 厚さ (mm)	仕 上 げ	遮 音 性 (JISによる記号)
バネ式	・	鋼板	タイル樹脂又は	・ 有り
・ スタッド 式		(0.6 ・ 0.8)	タイル樹脂焼き付け	
・ スタッド バネ式		・	・	

不燃材料の認定 ・ 有り

27 移動間仕切

20.2.4

遮音性能による区分	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・ 一般タイプ		鋼板	・ 焼付け塗装	・ 手動式 ・ 電動式
				・ 部分電動式
・ 遮音タイプ (注1)		鋼板	・ 焼付け塗装	・ 手動式 ・ 電動式
				・ 部分電動式

注1：JIS A 1416による試験方法において、中心周波数500Hzの音の透過損失が36dB以上の性能を有するものとする。

注2：表面仕上りの壁紙張りの品質は、22壁紙張りによる。

パネル圧接装置操作方法 製造所標準仕様 ・

③ トイレブース

表面仕上げ材 ・ タイル樹脂系化粧板 (標準色 タイル製ユニバーサル 付き)

20.2.5

④ タイル樹脂系化粧板 (標準色 タイル製ユニバーサル 付き)

脚部 (タイル製) 幅木タイプ ・ 支柱タイプ

ドアタイプ ・ フラット形 曲面形

29 階段滑止め

20.2.6

材 種 ステンレス (SUS304) ・ タイル

形 状 ビニル貼り入り

幅木タイプ ・ 支柱タイプ

両端フラット

有り (・ ステンレス製 ・ ビニル製) ・ 無し

幅 (mm) ・ 50 ・ 65 ・ 75 ・

取付け工法 接着工法 ・ 埋込み工法

⑩ 階段手すり

集成材カマカマ仕上り (市販品 径 約45mm又は約60mm)

⑪ タイル製バネ (幅 約50mm)

31 黒板及びホワイトボード

20.2.8

種 類	寸法 (mm)	備 考
・黒板	焼付け	平面 ・ 曲面 ・ スライド引分
・ホワイトボード	ほうろう	平面 ・ 曲面 ・ スライド引分

⑫ 名札

20.2.10

材 種	寸法 (mm)	突出型	面付型	文字形式	受金具
塩化ビニル製	260×80×5	ヶ所	ヶ所	文字書込み	ステンレス (SUS304)
・タイル樹脂性	・	ヶ所	ヶ所	・ 文字彫込み	
・ 県産杉板材	260×80×12	ヶ所	ヶ所		

33 ブラインド

・ 既存再使用する (養生方法：)

2.3.1

5.1.6

・ 新設する

20.2.12

形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)
横形	ギア式 ・ コード 式	アルミニウム合金	25
・ 縦形	・ 1本操作コード	・ タイルスラット	・ 80
	・ 2本操作コード	・ タイルスラット	・ 100

⑬ ブラインドボックス及びカーテンボックス

5.1.6

⑭ 既存再使用する

5.1.6

⑮ 新設する

市販品 (タイル製 押出し型材)

使用区分

溝幅×深さ (mm)

・ 横形ブラインド

90×150 ・ 120×150 ・

・ 縦形ブラインド

120×80 ・ 150×80 ・

①カーテン (又はレース共)

150×80 ・ 180×80

②120×100

・ カーテン・横形ブラインド

180×150 ・

色彩 ・ B - 1 ・ B - 2 (・ プラチナ系 ・ ブラック ・ シンカー)

・ 図示

仕様書 (その)

長岡市都市整備部住宅施設課

特記事項

発注者

長岡市都市整備部住宅施設課

TITLE

夏戸センター改修整備工事

PRG. NO.

DATE

2017.03

NAM

改修特記仕様書 (3)

SHEET NO.

DRAW

SCALE

A - 4

⑥

内装改修工事

35

ロールスクリーン

操作方法

・ﾌﾞﾛｯﾄﾞ式(ｽﾀｯﾌﾟｰ付き)

・ﾌﾞﾗｯｸﾁｬｰｼﾞ式

・ﾌｧｰﾝ式

・電動式

スクリーンの種類

・無地

・柄物

・遮光ﾀｲﾌﾟ

・

品 質 等

(20.2.3)

カーテン

・既存再利用する(養生方法：)

・新設する

(2.3.1)[5.1.6]

(20.2.14)(表20.2.1)

施工箇所

形式

装置

名称・品質

ひだの種類

備考

片引き

電動

ひも引き

手引

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

カーテンレール

・既存再使用する

・新設する

[5.1.6]

(20.2.14)

材種

ﾌｧﾐﾘｱﾐ製

ｽﾃｰﾚｽ製

形式

・片引き

・引分け(暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする)

1組の本数

・ｼﾝｸﾞﾙ

・ﾀﾞﾌﾞﾙ

・図示

③③

天井点検口

目地形状

適用箇所

寸法 (mm)

顔縁ﾀｲﾌﾟ

下記以外全て

450×450

目地ﾀｲﾌﾟ

図示

・600×600

・天井仕上げ材がDRの範囲

③6

床点検口

本体の材質

目地の材質

適用箇所

寸法 (mm)

ﾌｧﾐﾘｱﾐ製

ﾌｧﾐﾘｱﾐ製

ｽﾃｰﾚｽ製

黄銅

下記以外全て

600×600

・ｽﾃｰﾚｽ製

39

くつつきマット

市販品

材質

塩化ビニル製(ｺﾚｰﾙ状、ｽﾃｰﾚｽ製受枠)

・ビニル製(ｽﾃｰﾚｽ製受枠)

・硬質ﾌｧﾐﾘｱﾐ製(受枠とも)

・ｽﾃｰﾚｽ製(受枠とも)

40

人研ぎ製流し等

ﾀﾞｲﾅﾐｰ掛け目荒らし後、ｸﾗｯｸ等をｺｰﾙｷﾞｰ系ﾌﾟﾚｰﾄ処理し、ｺｰﾙｷﾞｰ樹脂系塗床材を厚さ1.0mm塗布し仕上げる。

・再研ぎ出し(図示による)

41

屋内掲示板

・表面材の張替え

・新設

特殊発泡ﾋﾞﾆｰﾙで張替える

ﾌｧﾐﾘｱﾐ製

表面の材質

特殊発泡ﾋﾞﾆｰﾙ張り

⑦

塗装改修工事

③①

塗装業者

(社)日本塗装工業会の会員

・監督員の承諾する業者

③②

材料

屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。

③③

下地調整

種 別

施 工 箇 所

・R A種

・図示による

・R B種

R A種・R C種以外の全て(内部)

・図示による

・R C種

・図示による

既存ﾋﾞﾆｰﾙ下地面等のひび割れ部の補修

行う(補修範囲及び補修方法は監督員の指示による)

・行わない

[表7.2.4～表7.2.6]

4

錆止め塗料塗り

下地の種類

錆止め塗料の種類

塗替えの種類

新規塗りの種類

鉄鋼面

A種

・B種

・A種

・B種

C種

見掛け部分

・A種

・B種

見隠れ部分

・A種

・B種

亜鉛めっき面

A種

・B種

・C種

・A種

・B種

C種

鋼製建具等

・A種

・B種

その他

・A種

・B種

③⑤

合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

[7.4.3]～[7.4.5][表7.4.1]～[表7.4.3]

下地の種類

塗替えの種類

新規塗りの種類

木部

・A種

・B種

・C種

・A種

・B種

下地調整は各

亜鉛めっき面

A種

・B種

・C種

・A種

・B種

表の注意書き

鋼製建具

・鉄鋼面

・A種

・B種

・C種

・A種

・B種

による

その他

亜鉛めっき面

・A種

・B種

・C種

・A種

・B種

鉄鋼面

・A種

・B種

・C種

・A種

・B種

6

ｸﾗﾌﾞﾌﾗｯｶｰ塗り(CL)

塗替えの種類

・A種

・B種

新規塗りの種類

・A種

・B種

7

ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散系塗料(NAD)

[7.7.2][表7.7.1]

下地の種類

工程等

塗替えの種類

新規塗りの種類

ｺﾝｸﾘｰﾄ

下地調整

・R A種

・R B種

・R C種

「塗料その他」の欄による

ｴｸｽﾄﾗ面等

塗り種別

・A種

・B種

・A種

・B種

8-2

耐震改修工事

9

つや有合成樹脂エポキシペイント塗り(EP-G)

[7.9.2]～[7.9.5][表7.9.1]～[表7.9.4]

下地の種類

塗替えの種類

新規塗りの種類

ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ｴｸｽﾄﾗ面等

・A種

・B種

・C種

・A種

・B種

・A種

・B種

・C種

・A種

・B種

・C種

木部

・A種

・B種

・C種

・A種

・B種

・C種

鉄鋼面

・A種

・B種

・C種

・A種

・B種

・C種

⑩⑩

合成樹脂エポキシペイント塗り(EP)

塗替えの種類

・A種

・B種

・C種

新規塗りの種類

・A種

・B種

11

合成樹脂エポキシ模様塗料塗り(EP-T)

[7.11.2][表7.11.1]

塗 替 え の 場 合

新規塗りの種類

下地調整

塗替えの種類

・A種

・B種

下地調整は表の注意書きによる

R B種の場合

A種

・B種

・C種

下地調整は表の注意書きによる

R C種の場合

・A種

・B種

・C種

12

ｸﾗﾌﾞ樹脂系2塗り(UC)

塗替えの種類

・A種

・B種

新規塗りの種類

・A種

・B種

⑬

木材保護塗料塗り(WP)

塗替えの種類

・A種

・B種

新規塗りの種類

・A種

・B種

8-1

耐震改修工事

③①

コンクリートの類別及び強度、品質

レディーミクストコンクリートの類別

類

類

[8.1.3][表8.1.1]

③②

鉄骨の工作図

高力ボルト及び普通ボルトの縁距離、ボルト間隔、ゲージ等

建築工事監理指針による

・図示

[8.1.6]

③③

鉄筋の種類

[8.2.1][表8.2.1]

種類の記号

呼 び 名 (mm)

・SD295A

・D16以下

・SD345

・D19以上

・

③④

あと施工アンカーの材料

あと施工アンカーの材料

・金属拡張アンカー

接着系アンカー

加工材の種類

有機系

[8.2.4]

③⑤

セメントの種類

普通ポルトランドセメント又は混合セメントの種類

・高炉セメントB種()

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

[8.2.5][表8.2.3]

水和熱

7 d

352J/g以下

28 d

402J/g以下

③⑥

骨材の品質

ｱﾙｶﾘ-ｱｸｼｵﾆﾃﾂによる区分

・A

B (ｺﾝｸﾘｰﾄ中のｱﾙｶﾘ総量Rt=3.0kg/m³)

[8.2.5]

③⑦

混和材料の種類

混和剤

・混和材

[8.2.5]

③⑧

鉄筋の継手

重ね継手

・

[8.3.4][表8.3.3]

③⑨

鉄筋の最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、目地底から算定する。

・耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。

[8.3.5][表8.3.6]

施工箇所

改修標準表8.3.6の値に加える寸法(mm)

柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面

100

・

8-2

耐震改修工事

1

コンクリートの類別及び強度、品質

レディーミクストコンクリートの類別

類

類

[8.1.3][表8.1.1]

③②

鉄骨の工作図

高力ボルト及び普通ボルトの縁距離、ボルト間隔、ゲージ等

建築工事監理指針による

・図示

[8.1.6]

③③

鉄筋の種類

[8.2.1][表8.2.1]

種類の記号

呼 び 名 (mm)

・SD295A

・D16以下

・SD345

・D19以上

・

8-2

鉄骨製作工場

2

鉄骨製作工場

耐震改修工事

3

施工管理技術者

適用する

[8.1.5]

4

鉄骨の工作図

高力ボルト及び普通ボルトの縁距離、ボルト間隔、ゲージ等

建築工事監理指針による

・図示

[8.1.6]

5

鉄筋の種類

[8.2.1][表8.2.1]

種類の記号

呼 び 名 (mm)

・SD295A

・D16以下

・SD345

・D19以上

・

6

溶接金網

網目の形状、寸法及び鉄線の径

網目の形状、寸法(たて×よこ)

鉄線の径または呼び(mm)

100×100

6.0

・

・

7

あと施工アンカーの材料

あと施工アンカーの材料

・金属拡張アンカー

接着系アンカー

加工材の種類

有機系

[8.2.4]

8

セメントの種類

普通ポルトランドセメント又は混合セメントの種類

・高炉セメントB種()

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

[8.2.5][表8.2.3]

水和熱

7 d

352J/g以下

28 d

402J/g以下

9

骨材の品質

ｱﾙｶﾘ-ｱｸｼｵﾆﾃﾂによる区分

・A

B (ｺﾝｸﾘｰﾄ中のｱﾙｶﾘ総量Rt=3.0kg/m³)

[8.2.5]

10

混和材料の種類

混和剤

・混和材(JIS A 6202による膨張材)

[8.2.5]

11

鋼材

鋼材の材質

種類の記号

適用箇所

規格等

SS400

JIS規格による

SN400B

JIS規格による

JIS規格による

12

高力ボルト

高力ボルトの適用

ﾄﾚｯﾁﾝｸﾞ高力ボルト

・JIS形高力ボルト

・溶融亜鉛めっき高力ボルト

[8.2.9]

13

モルタル及びグラウト材

柱底均しモルタル

無収縮モルタル

グラウト材

無収縮グラウト材

プレミックス形

現場調合形

[8.2.11]

無収縮グラウトの品質及び試験方法

圧縮強度試験は、公的機関で行う。

圧縮強度

・材齢 3日

N/mm²以上

・材齢 7日

N/mm²以上

・材齢 28日

N/mm²以上

ｺﾝｽﾁｽﾁｬﾝｽ

・JIS A 1132による流動時間

8 ± 2 秒

・

14

連続繊維シート巻き

材料・形状

採用した工法の規定を満足するもの

材質

引張り強度(含浸硬化後)

・2500N/mm²以上

・3000N/mm²以上

ヤング係数(含浸硬化後)

・2.35×10⁵ N/mm²程度

・2.00×10⁵ N/mm²以上

工法

(財)日本建築防災協会の評価を受けた工法

・

下地調整

仕上げﾋﾞﾆｰﾙの除去

行う

・行わない

柱の隅角部の面取り

工法の評価内容による

・

[8.2.12]

[8.2.17]

8-2

耐震改修工事

15

鉄筋の継手

継手方法

呼び名(mm)

適用箇所

・ガス圧接

・重ね継手

・

16

鉄筋の最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、目地底から算定する。

・耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。

[8.3.5][表8.3.6]

施工箇所

改修標準表8.3.6の値に加える寸法(mm)

柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面

100

・

17

打増し壁に用いるｼｬｰﾐﾝｸﾞ

現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ壁の打増し部に用いる既存部とのｼｬｰﾐﾝｸﾞの種類

「7 あと施工アンカーの材料」による

間隔(mm)

500×500

・図示

[8.3.7]

18

圧接完了後の試験

圧接部の確認試験

超音波探傷試験

・引張試験

[8.3.8]

19

あと施工アンカーの施工

穿孔前の埋込み配管等の探査方法

電磁波レーダー法

・電磁誘導法

・X線法

[8.11.2]

20

あと施工アンカーの施工確認試験

全数の打音検査

引抜き耐力試験

範囲

改修標準8.11.5による

・補強壁1枚あたり3本(梁下・柱・床(または梁上)各1本)以上

確認強度

あと施工アンカーの確認強度は構造標準図による

[8.11.5]

21

鉄骨工作仮組

行う

[8.12.9]

22

開先形状

鉄骨工事技術指針による

・図示

[8.14.4]

23

スカーラップ

図示による

・監督員の指示による

[8.14.7]

24

溶接部の試験

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験

行う

[8.14.11]

25

錆止め塗料

工場1回塗り、工事現場1回塗り

・工場2回塗り

塗料種別

A種

・B種

[8.16.2]～[8.16.4]

26

耐火被覆

種 別

所要性能及び適用構造区分

・耐火材吹付け

・乾式吹付けﾛｯｸｰﾙ

・半乾式吹付けﾛｯｸｰﾙ

・湿式ﾛｯｸｰﾙ

・

・耐火板張り

・耐火材巻付け

・ｽﾏｰｸﾞﾘﾝｸﾞﾋﾞｰﾄﾞ塗り

27

既存コンクリート面の目荒し

目荒らしの程度

柱・梁面

打継ぎ面又は接合面全面の3/4以上

壁面

打継ぎ面又は接合面の1/3程度

平均深さ5～10mm程度で最大深さ15mm程度の凹部を施す

[8.19.3]

28

増設・補強工事のコンクリートの打込み

工法の種類

流し込み工法

・圧入工法

[8.19.8][8.21.5]

29

柱補強

溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法

柱頭柱脚の隙間部間の特枠

ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む

・図示

[8.21.5]

30

スリットの施工

幅

30mm～50mm程度

・

長さ

300mm以上

形状

完全スリット(既存鉄筋切断

・既存鉄筋を

本残す)

・部分スリット(既存コンクリートを厚さ50mm程度残す)

撤去部の補修

・撤去材と同一材

無収縮ﾋﾞﾆｰﾙ(圧縮強度30N/mm²以上)

[8.22.2]

仕様書(その他)

長岡市都市整備部住宅施設課

特記事項

発注者

長岡市都市整備部住宅施設課

TITLE

夏戸センター改修整備工事

PROJ. NO.

DATE

2017.03

NAME

改修特記仕様書 (4)

SHEET NO.

株式会社ブレイク研究所

一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号

〒102-0083 東京都千代田区神田3-7-6

TEL 03-5226-1105 FAX 03-5226-2697

管理建築士 一級 国土交通大臣登録 第233817号

福岡 薫

SCALE

A - 5

[illegible]

計 画 概 要

1.工事名称	工 事 名 称	夏戸センター改修整備工事	発注者	長岡市
	建設地(地名地番)	新潟県長岡市寺泊夏戸2817番地		
	主 要 用 途	(区分 08560) 展示場 (区分 08990) 地区集会所		
	工 事 種 別	用途変更	工 期	着工 平成29年 7月 竣工 平成29年 12月

2.敷地概要	敷 地 面 積	11,439.02 ^m 2	建蔽率	指定なし	%	容積率	指定なし	%
	用 途 地 域	都市計画区域外						
	防 火 地 域	指定なし						
	その他の地域地区							

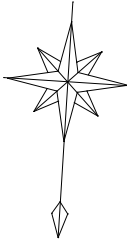
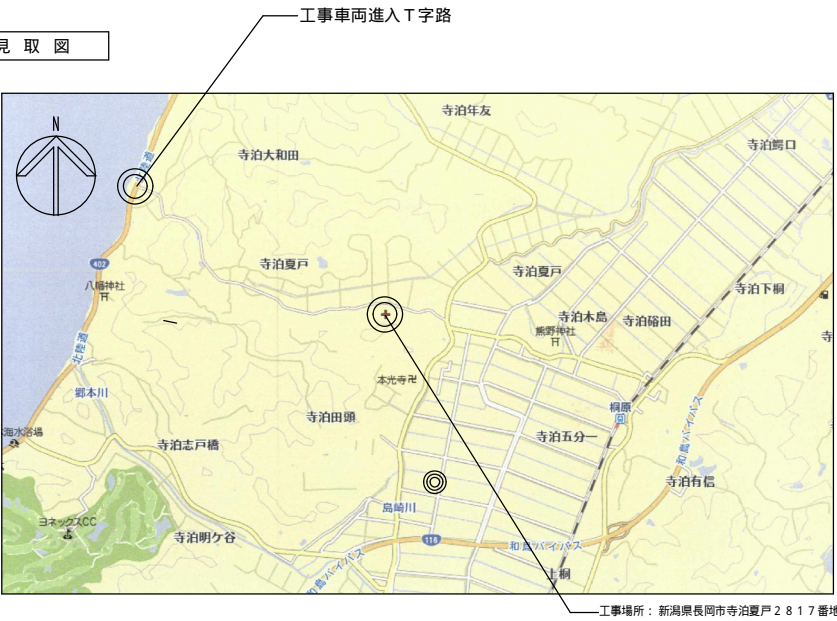
3.構造規模	構造	鉄筋コンクリート造	階 数	3	最高高さ	12.57 ^m	最高軒高	11.17 ^m
--------	----	-----------	-----	---	------	--------------------	------	--------------------

4. 面 積	申 請 部 分	申請以外の部分	合 計			対象面積	%	許容	%
	建 築 面 積	591.81 ^m	545.19 ^m	1,137.00 ^m	建 蔽 率				
	延 床 面 積 (B)	1,383.40	816.61	2,200.01	容 積 率	対象面積	%	許容	%
	駐車場床面積 (C)								
	容積対象床面積 (B + C)								
	付置義務駐車台数				台 駐 車 台 数				台
	付置義務駐輪台数				台 駐 輪 台 数				台

5.床面積	階 別	申 請 部 分 ^m 2			申請以外の部分 ^m 2			合 計 ^m 2	備 考
		本館棟	体育館棟	合 計	本館棟	体育館棟	合 計		
	PH1 階	27.43		27.43	0.00		0.00	27.43	
	3 階	523.09		523.09	0.00		0.00	523.09	
	2 階	400.76	0.00	400.76	122.33	17.50	139.83	540.59	
	1 階	432.12	0.00	432.12	138.98	537.80	676.78	1,108.90	
	合 計	1,383.40	0.00	1,383.40	261.31	555.30	816.61	2,200.01	

6.その他	1.申請内容	現況用途区分(08990)地区集会所(夏戸センター本館棟1383.40m2)を(08560)展示場(寺泊郷土資料館1383.40m2)に変更する
		現況用途区分(08990)地区集会所(夏戸センター体育館棟555.30m2)は変更なし
		現況用途区分(08560)展示場(トキ分散飼育展示研修施設261.31m2)は変更なし


附 近 見 取 図



配 置 図 1/400

特記事項
1.敷地面積はJIS-CADにより算出

発注者

 長岡市都市整備部住宅施設課

TITLE

夏戸センター改修整備工事

株式会社ブラック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
〒102-0083 東京都千代田区神町3-7-6 管理建築士 一級 国土交通大臣登録 第233817号
TEL 03-5226-1105 FAX 03-5226-2697

PRO. NO.

DATE

2017.03

NAME

計画概要 附近見取図 配置図

SCALE

1/400


SHEET NO.

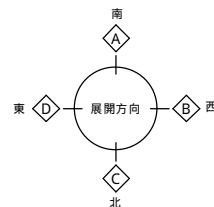
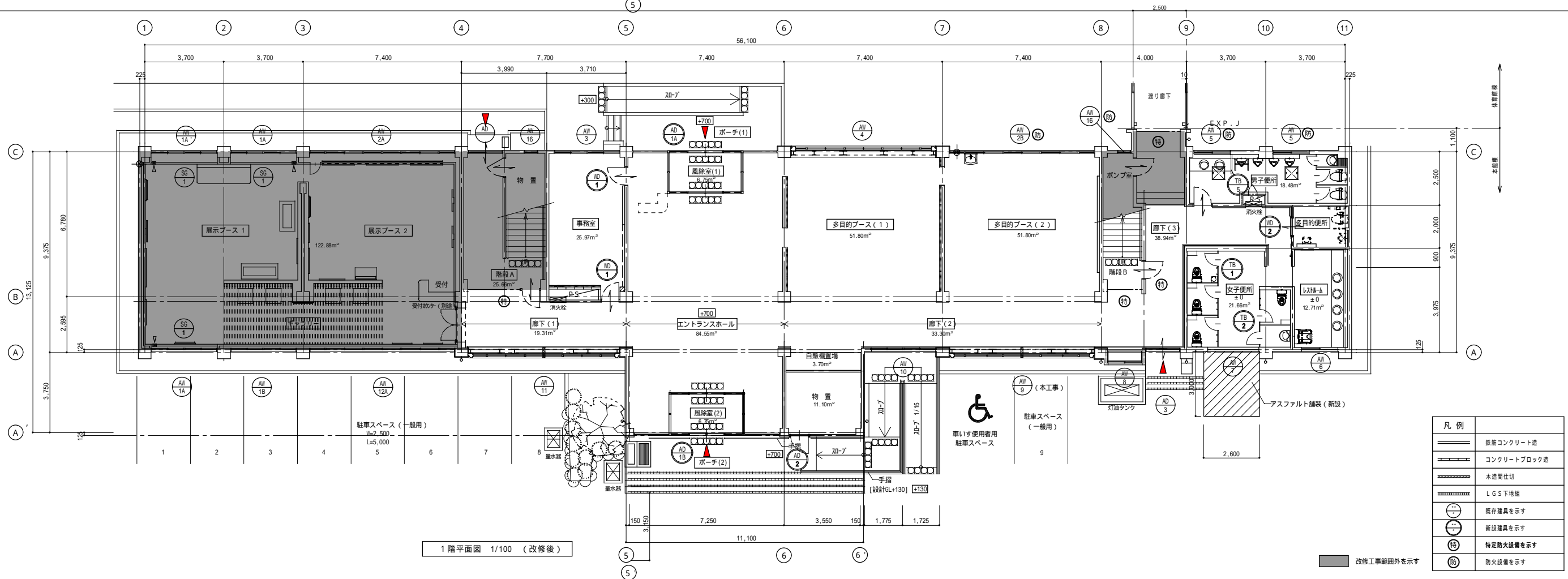
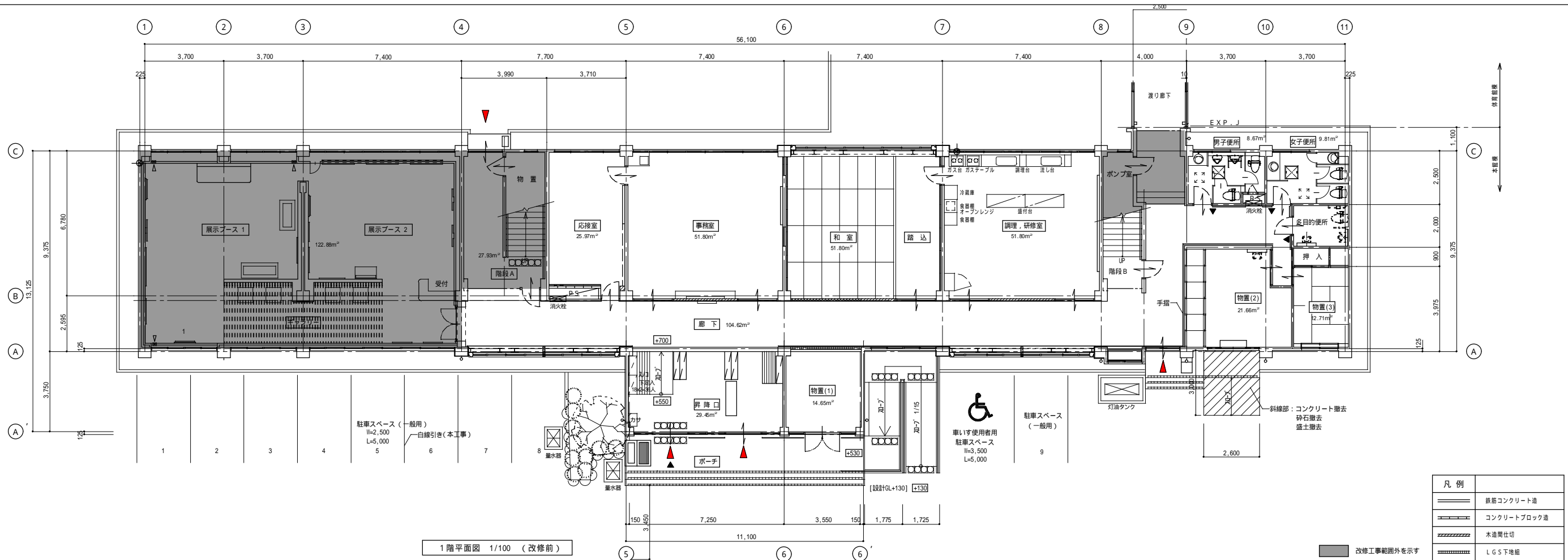
A - 07

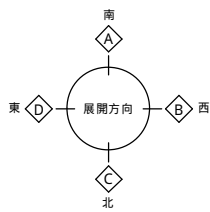
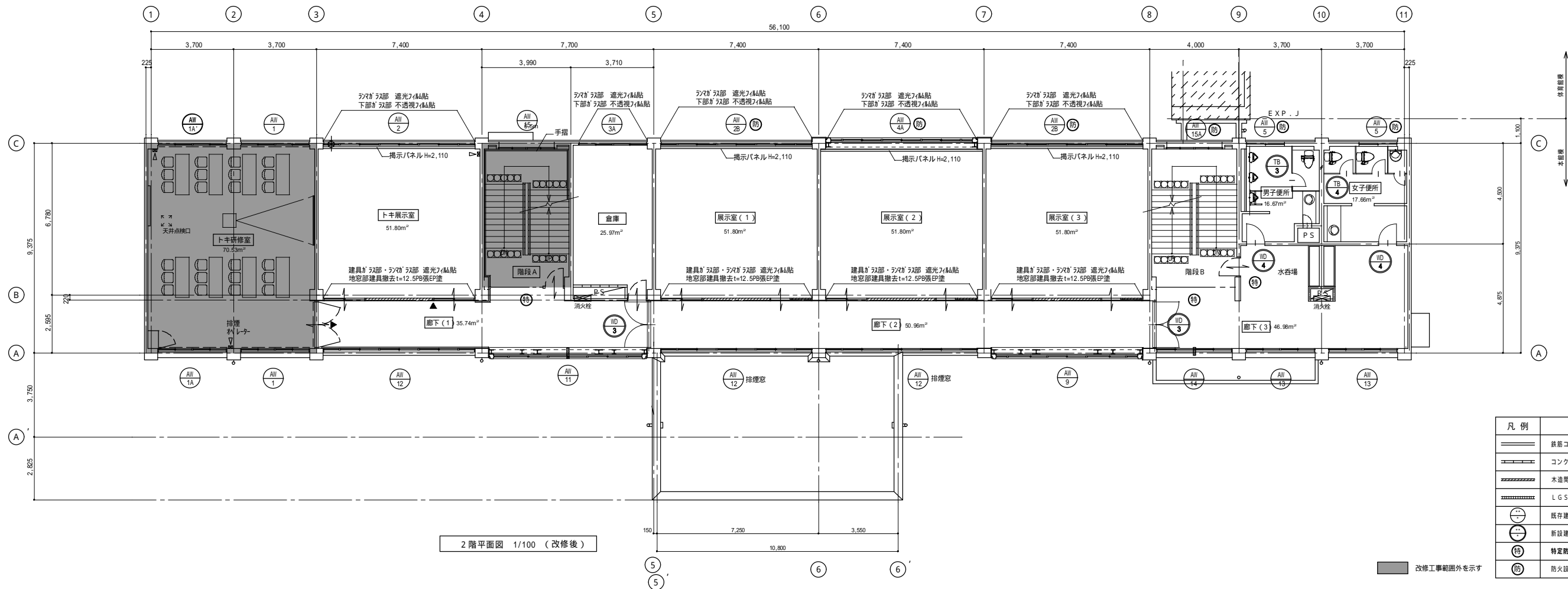
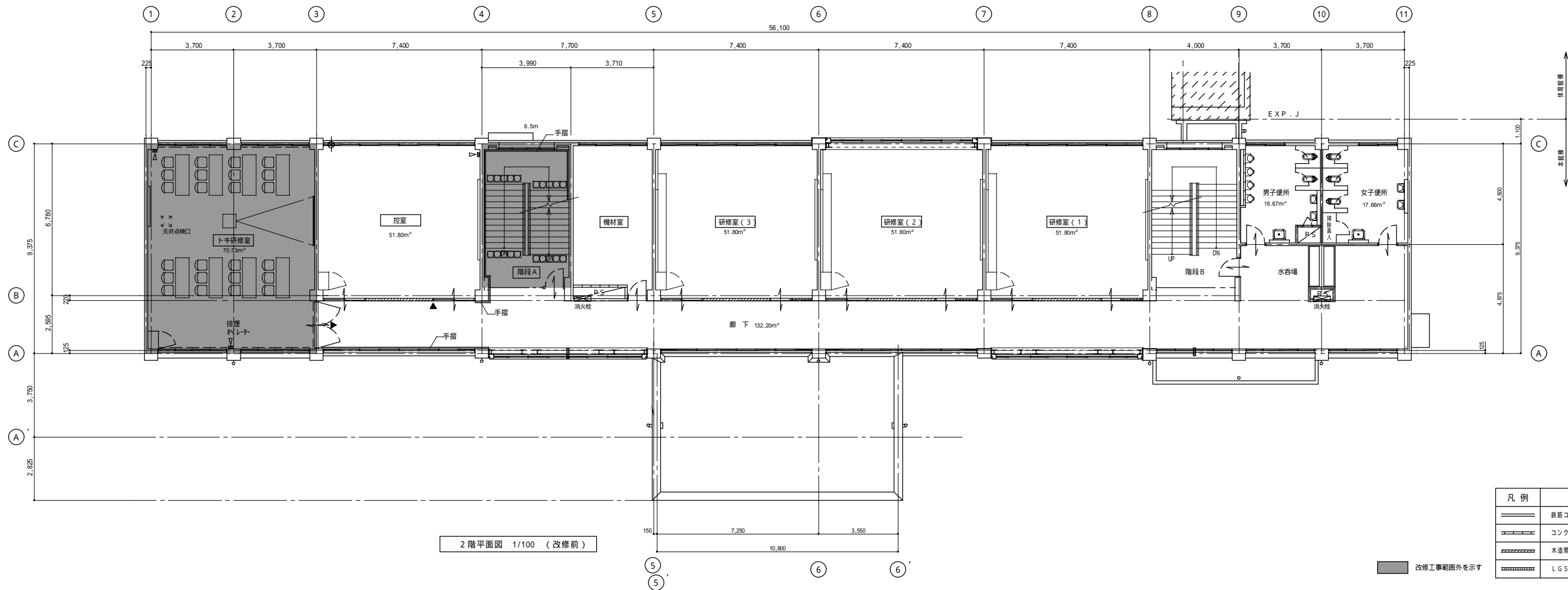
本館棟 外部仕上表			
スロープ	床：コンクリート打 モルタル塗刷毛引き仕上 縁：コンクリート打放し仕上 手摺： 38 SUS304製 注意喚起ブロック 300x300x1=30	サイン	
階段	床：コンクリート打 モルタル塗金こて仕上 段鼻：磁器質ノンスリップタイル 150x60		

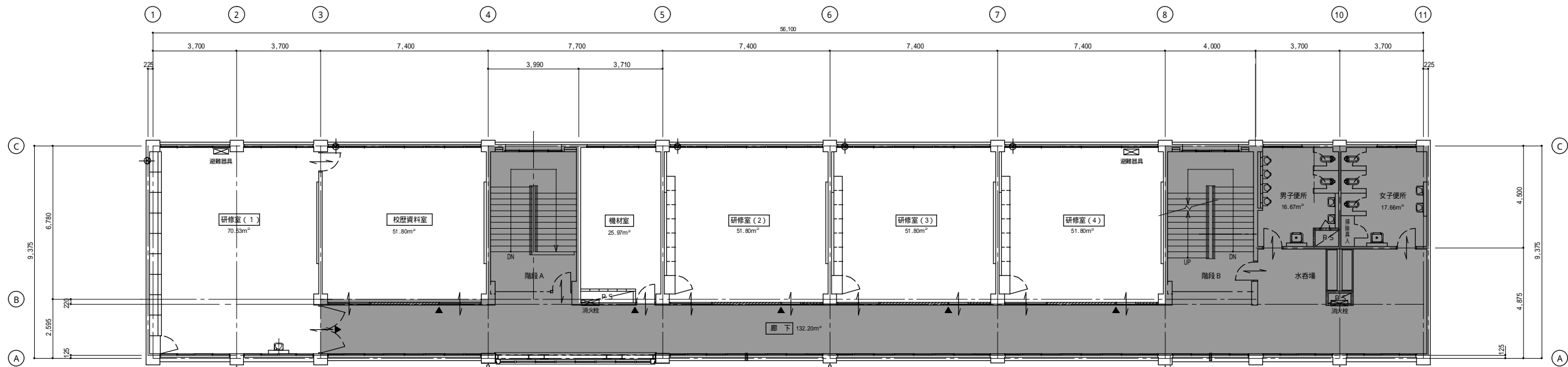
本館棟		内部仕上表		改修室のみ記載									
階	室名		床	巾木	H	壁	天井	廻縁	天井高	備考			
1階	エントランスホール	現況	事務室 ビニール床シート貼 昇降口 モルタル塗金こて (廊下FL-150)	木製SOP塗 モルタル塗金こてEP塗	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地) 梁型：モルタル塗金こて EP塗	アルミ	2,700	注意喚起床材300x300 (隠示の位置)			
	事務室 昇降口 廊下	改修	事務室 既存仕上撤去 t=2.5ビニール床シート貼 (重歩行用) 昇降口 t=150コンクリート打ち 直均し金こて下地 t=2.5ビニール床シート貼 (重歩行用)	木製SOP塗替 モルタル塗金こてEP塗替	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗替 柱型：モルタル面 EP塗替	既存下地仕上げ撤去の上 t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,800 2,700				
	多目的ブース(1)	現況	タタミ敷 床下地 t=65ネダフォーム 跡込 ビニール床シート貼	木製SOP塗 モルタル塗金こてEP塗	100	壁：t=9.5石膏こうボード ビニルクロス貼 柱型：モルタル塗金こてEP塗	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地) 梁型：モルタル塗金こて EP塗	アルミ	2,700	多目的ブース(1)			
	(旧室名) 和室	改修	タタミ撤去 床下地撤去 ビニール床シート撤去の上 t=2.5ビニール床シート貼 (重歩行用)	木製SOP塗替 新設 木製SOP塗 モルタル面EP塗替	100	壁：t=9.5石膏こうボード 面ビニルクロス張 柱型：モルタル面 EP塗替	既存下地仕上げ撤去の上 t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,700	和室			
	多目的ブース(2)	現況	ビニール床シート貼	木製SOP塗 モルタル塗金こてEP塗	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地) 梁型：モルタル塗金こて EP塗	アルミ	2,800	W=600洗面化粧台			
	(旧室名) 調理研修室	改修	既存仕上撤去 t=2.5ビニール床シート貼 (重歩行用)	木製SOP塗替 モルタル面EP塗替	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗替 柱型：モルタル面 EP塗替	既存下地仕上げ撤去の上 t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,700	多目的ブース(2)			
	廊下(2)	現況	ビニール床シート貼	モルタル塗金こてEP塗	100	壁：モルタル塗金こてEP塗 柱型：モルタル面 EP塗	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,410	廊下(2)			
	(旧室名) 廊下	改修	既存仕上撤去 t=2.5ビニール床シート貼 (重歩行用)	モルタル塗金こてEP塗替	100	壁：モルタル面 EP塗 柱型：モルタル面 EP塗替	既存下地仕上げ撤去の上 t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,700	(旧室名) 廊下			
	事務室	現況	ビニール床シート貼	木製SOP塗 モルタル塗金こてEP塗	100	壁：t=9.5石膏こうボード ビニルクロス貼 柱型：モルタル塗金こてEP塗	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,700	事務室			
	(旧室名) 応接室	改修	既存仕上撤去 t=2.5ビニール床シート貼 (重歩行用)	木製SOP塗替 モルタル塗金こてEP塗替 床シート立ち上げ	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗替 柱型：モルタル面 EP塗替	既存のまま	既存のまま	2,700	(旧室名) 応接室			
男子便所	現況	t=2.5ビニール床シート貼	R0壁撤去部分のみ新設 W=400の範囲 配管部々補修 300 X 300 床モルタル塗金こて下地 t=2.5ビニール床シート貼	RC壁撤去部分のみ新設 床シート立ち上げ	75	RC壁撤去部分のみ新設 t=12.5シーリング石膏こうボード接着貼工法下地 (既存護壁タイル撤去の上) (専用ジョイナー仕様)	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,440	男子便所			
(旧室名) 男子便所 女子便所	改修	R0壁撤去部分のみ新設 W=400の範囲 配管部々補修 300 X 300 床モルタル塗金こて下地 t=2.5ビニール床シート貼	RC壁撤去部分のみ新設 床シート立ち上げ	75	RC壁撤去部分のみ新設 t=12.5シーリング石膏こうボード接着貼工法下地 t=6.0化粧ケイカル板貼 (専用ジョイナー仕様)	既存仕上げ、下地材撤去の上 t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,440	W=575メラミンボストフォーム手洗いカウンター 男子便所 t=190=150メラミンボストフォームライニング天板 450x450アルミ天井点検口x2 男子便所 既存ガラス戸撤撤去 戸棚底版、窓部コンクリート撤去 ステンレス流し台、フード撤去 女子便所				
女子便所	現況	物置(2) モルタル塗金こて (廊下FL-150) 物置(3) 木床組み下地タタミ敷	物置(2) モルタル塗金こて (廊下FL-150) 物置(3) 木床組み下地タタミ敷	床シート立ち上げ	75	物置(2) モルタル塗金こてEP塗 物置(3) 木軸+t=12.5シーリング石膏こうボード接着貼工法下地 t=6.0化粧ケイカル板貼 (専用ジョイナー仕様)	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,885	女子便所			
(旧室名) 物置(2) 物置(3)	改修	物置(2) 乾式二重床 (t=20R-タイク録-ド下地)H=130の合板 t=15張下地 t=2.5C-2床シート貼 物置(3)部 既存下地仕上撤去 t=10 鉄筋ベ-ルカ 材下地 t=2.5C-2床シート貼	物置(2) 乾式二重床 (t=20R-タイク録-ド下地)H=130の合板 t=15張下地 t=2.5C-2床シート貼 物置(3)部 既存下地仕上撤去 t=10 鉄筋ベ-ルカ 材下地 t=2.5C-2床シート貼	床シート立ち上げ	75	物置(2)部 t=12.5シーリング石膏こうボード接着貼工法下地 t=6.0化粧ケイカル板貼 (専用ジョイナー仕様) 物置(3)部 t=12.5シーリング石膏こうボード接着貼工法下地 t=6.0化粧ケイカル板貼 (専用ジョイナー仕様) 腰：100角半端縦貫タイル貼 壁：モルタル塗金こてEP塗	既存仕上げ、下地材撤去の上 t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,400	W=575メラミンボストフォーム手洗いカウンター 鏡 t=190=150メラミンボストフォームライニング天板 物置(2) 物置(3)			
多目的便所	現況	エポキシ系防塵塗床 (F) 1.0 防滑仕上	エポキシ系防塵塗床 (F) 1.0 防滑仕上			既存のまま	既存仕上げ、下地材撤去の上 t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,440	多目的便所			
(旧室名) 廊下	改修	既存のまま	既存のまま			既存のまま	既存仕上げ、下地材撤去の上 t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,400	450x450アルミ天井点検口			
廊下(1)廊下(3)	現況	ビニール床シート貼	モルタル塗金こてEP塗	100	壁：モルタル塗金こてEP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,410	廊下(1)				
(旧室名) 廊下	改修	既存のまま	モルタル塗金こてEP塗替	100	壁：モルタル面 EP塗替 柱型：モルタル面 EP塗替	廊下(3) 2階便所範囲 既存下地仕上げ撤去の上 t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地) 廊下(1) 既存のまま	塩ビ	2,410	(旧室名) 廊下				
階段8 1F-2F	現況	ビニール床シート張 (路面、ケ込共)	モルタル塗金銀 EP塗	100	壁：モルタル塗金銀 EP塗	段裏 モルタル塗金こて EP塗	段裏	モルタル塗金こて EP塗	注意喚起床材300x300 (隠示の位置) 階段手摺： 40半硬質抗菌剤配合樹脂製 アルミ押出成型ブラケット 階段8 1F-2F 既存床に接着貼				
(旧室名) 廊下	改修	既存のまま	既存のまま			既存のまま	既存のまま						
自転車置き場 物置(1)	現況	150角タイル貼	モルタル塗金銀 EP塗			壁：モルタル塗金銀	t=9.0化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)		2,700				
(旧室名) 物置(1)	改修	【自転車置き場】コンクリート打ち直均し金こて t=2.5ビニール床シート貼 【物置(1)】 既存のまま	【自転車置き場】木製SOP塗 【物置(1)】 既存のまま			【自転車置き場】A通り・1000新設 t=12.5PB EP塗 物置(1)側 t=12.5PB受付床 【物置(1)】A通りA側撤去後t=60P空むハ板外壁新設 内壁 t=50 LGS壁下地 t=5.0化粧板目透かし張	【自転車置き場】既存の上に t=9.5化粧石膏ボード張 【物置(1)】 既存のまま	塩ビ	2,400 2,700				
2階	展示室(1)	現況	ビニール床シート貼	木製SOP塗 モルタル塗金こてEP塗	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,900	展示室(1)			
	(旧室名)	改修	既存シートの上に t=6.5タイルカーベット敷き	木製SOP塗替 モルタル塗金こてEP塗替	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗替 柱型：モルタル面 EP塗替	既存天井下部にスチールメッシュパネル天井ランナー工法グリッド1000 x 1000 (セルピッチ1000x100)	塩ビ	2,900 2,700	C通りAWガラス面遮光フィルム貼			
	展示室(2)	現況	ビニール床シート貼	木製SOP塗 モルタル塗金こてEP塗	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,900	展示室(2)			
	(旧室名)	改修	既存シートの上に t=6.5タイルカーベット敷き	木製SOP塗替 モルタル塗金こてEP塗替	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗替 柱型：モルタル面 EP塗替	メッシュ天井用吊りボルト設置の為既存天井材撤去の上 t=9.5化粧石膏ボード張 (LGS天井下地再利用) 既存天井下部にスチールメッシュパネル天井ランナー工法グリッド1000 x 1000 (セルピッチ1000x100)	塩ビ	2,900 2,700	C通りAWガラス面遮光フィルム貼			
	展示室(3)	現況	ビニール床シート貼	木製SOP塗 モルタル塗金こてEP塗	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,900	展示室(3)			
	(旧室名)	改修	既存シートの上に t=6.5タイルカーベット敷き	木製SOP塗替 モルタル塗金こてEP塗替	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗替 柱型：モルタル面 EP塗替	メッシュ天井用吊りボルト設置の為既存天井材撤去の上 t=9.5化粧石膏ボード張 (LGS天井下地再利用) 既存天井下部にスチールメッシュパネル天井ランナー工法グリッド1000 x 1000 (セルピッチ1000x100)	塩ビ	2,900 2,700	C通りAWガラス面遮光フィルム貼			
	トキ展示室	現況	ビニール床シート貼	木製SOP塗 モルタル塗金こてEP塗	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,900	トキ展示室			
	(旧室名) 控室	改修	既存シートの上に t=6.5タイルカーベット敷き	木製SOP塗替 モルタル塗金こてEP塗替	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗替 柱型：モルタル面 EP塗替	メッシュ天井用吊りボルト設置の為既存天井材撤去の上 t=9.5化粧石膏ボード張 (LGS天井下地再利用) 既存天井下部にスチールメッシュパネル天井ランナー工法グリッド1000 x 1000 (セルピッチ1000x100)	塩ビ	2,900 2,700	C通りAWガラス面遮光フィルム貼 廊下側開口部ガラス面遮光フィルム貼			
	倉庫	現況	ビニール床シート貼	モルタル塗金こてEP塗	100	壁：モルタル塗金こてEP塗 柱型：モルタル面 EP塗	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,800	倉庫			
	(旧室名) 機材室	改修	既存のまま	既存のまま			既存のまま	既存のまま	2,800	(旧室名) 機材室			
廊下(1)廊下(2) 廊下(3)	現況	ビニール床シート貼	モルタル塗金こてEP塗	100	壁：モルタル塗金こてEP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,410	廊下(1)廊下(2)				
(旧室名) 廊下	改修	既存のまま	モルタル塗金こてEP塗替	100	壁：モルタル面 EP塗替 柱型：モルタル面 EP塗替	既存のまま	既存のまま	2,410	廊下(2) 木製L型カーテンボックス120x150 廊下(3) (旧室名) 廊下				
男子便所	現況	エポキシ系防塵塗床 (F) 1.0 防滑仕上	エポキシ系防塵塗床 (F) 1.0 防滑仕上			腰：100角半端縦貫タイル貼 壁：モルタル塗金こてEP塗	t=4.0合板目透かし張り	木製	2,440	男子便所			
(旧室名) 廊下	改修	t=10セルフベリング材 t=2.5ビニール床シート貼	床シート立ち上げ	75	壁：モルタル塗金こてEP塗 柱型：モルタル面 EP塗	t=12.5シーリング石膏こうボード接着貼工法下地 (既存護壁タイル撤去の上) (専用ジョイナー仕様)	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,400				
女子便所	現況	エポキシ系防塵塗床 (F) 1.0 防滑仕上	エポキシ系防塵塗床 (F) 1.0 防滑仕上			腰：100角半端縦貫タイル貼 壁：モルタル塗金こてEP塗	t=4.0合板目透かし張り	木製	2,440	女子便所			
(旧室名) 廊下	改修	t=10セルフベリング材 t=2.5ビニール床シート貼	床シート立ち上げ	75	壁：モルタル塗金こてEP塗 柱型：モルタル面 EP塗	t=12.5シーリング石膏こうボード接着貼工法下地 (既存護壁タイル撤去の上) (専用ジョイナー仕様)	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	2,400	女子便所			
3階	収蔵庫(1)	現況	ビニール床シート貼	木製SOP塗 モルタル塗金こてEP塗	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	3,000	B通り開口部ガラス面遮光フィルム貼			
	(旧室名) 研修室(2)	改修	既存のまま	既存のまま	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	既存のまま	既存のまま	3,000	B通り開口部ガラス面遮光フィルム貼			
	収蔵庫(2)	現況	ビニール床シート貼	木製SOP塗 モルタル塗金こてEP塗	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	3,000	収蔵庫(2)			
	(旧室名) 研修室(3)	改修	既存のまま	既存のまま	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	既存のまま	既存のまま	3,000	B通り開口部ガラス面遮光フィルム貼			
	収蔵庫(3)	現況	ビニール床シート貼	木製SOP塗 モルタル塗金こてEP塗	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	3,000	収蔵庫(3)			
	(旧室名) 研修室(4)	改修	既存のまま	既存のまま	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	既存のまま	既存のまま	3,000	B通り開口部ガラス面遮光フィルム貼			
	収蔵庫(4)	現況	ビニール床シート貼	木製SOP塗 モルタル塗金こてEP塗	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	3,000	収蔵庫(4)			
	(旧室名) 研修室(1)	改修	既存のまま	既存のまま	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	既存のまま	既存のまま	3,000	4通り開口部ガラス面遮光フィルム貼			
	収蔵庫(5)	現況	ビニール床シート貼	木製SOP塗 モルタル塗金こてEP塗	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	3,000	収蔵庫(5)			
	(旧室名) 校歴資料室	改修	既存のまま	既存のまま	100	壁：t=9.5石膏こうボード EP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	既存のまま	既存のまま	3,000	B通り開口部ガラス面遮光フィルム貼			
倉庫	現況	ビニール床シート貼	モルタル塗金こてEP塗	100	壁：モルタル塗金こてEP塗 柱型：モルタル塗金こてEP塗	t=9.5化粧石膏ボード張 (19形LGS天井下地)	塩ビ	3,000	倉庫				
(旧室名) 機材室	改修	既存のまま	既存のまま			既存のまま	既存のまま	3,000	(旧室名) 機材室				

[illegible]

特記事項	<div></div> <div>発注者 長岡市都市整備部住宅施設課</div>	TITLE 夏戸センター改修整備工事		PROJ. NO.	DATE 2017.03	NAME 仕上表	SHEET NO.
		株式会社ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号		DRAWN		SCALE	A - 08
		〒102-0083 東京都千代田区錦町3-7-6 管理建築士 一級 国土交通大臣登録 第233817号					
		TEL 03-5226-1105 FAX 03-5226-2697 福岡 鷹					



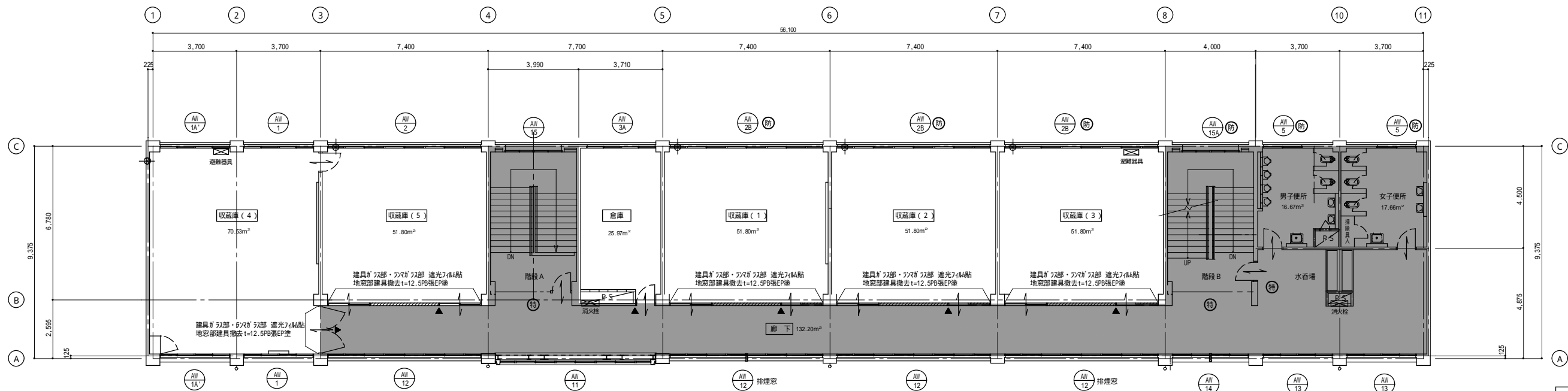




3階平面図 1/100 (改修前)

凡 例	
	鉄筋コンクリート造
	コンクリートブロック造
	木造骨組
	LGS下地組

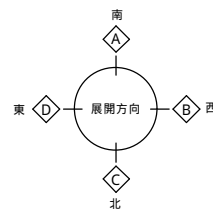
改修工事範囲外を示す

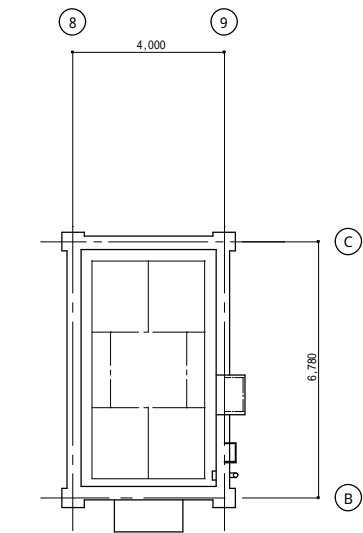
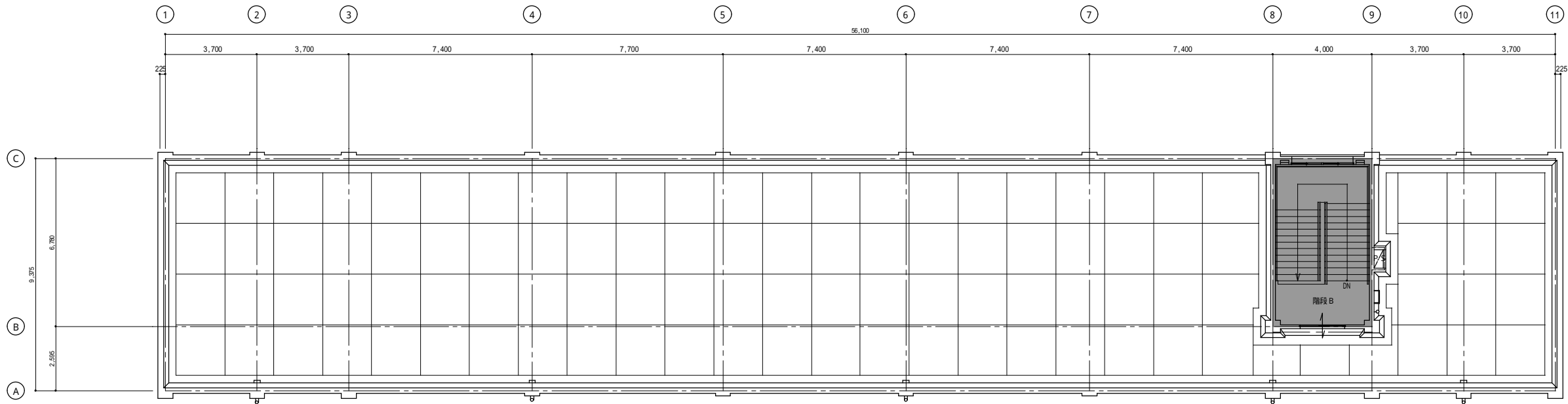


3階平面図 1/100 (改修後)

凡 例	
	鉄筋コンクリート造
	コンクリートブロック造
	木造骨組
	LGS下地組
	既存建具を示す
	新設建具を示す
	特定防火設備を示す
	防火設備を示す

改修工事範囲外を示す



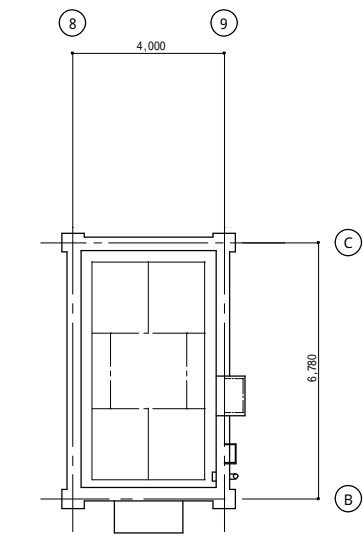
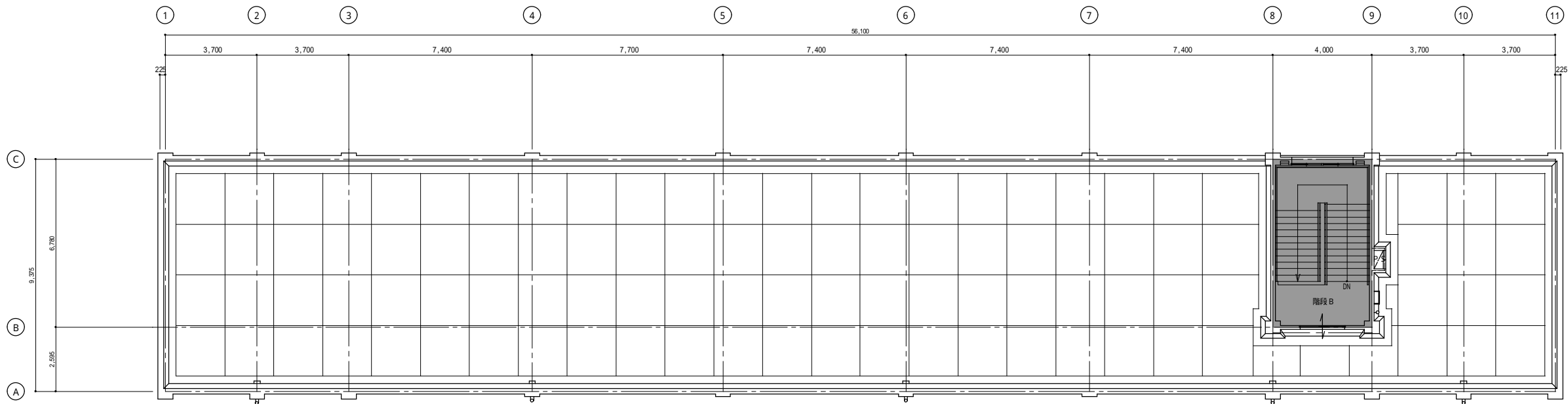


R 階平面図 1/100 (改修前)

P H 階屋上平面図 1/100 (改修前)

改修工事範囲外を示す

凡 例	
	鉄筋コンクリート造
	コンクリートブロック造
	木造骨組
	L G S 下地組

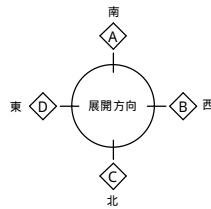


R 階平面図 1/100 (改修後)

P H 階屋上平面図 1/100 (改修後)

改修工事範囲外を示す

凡 例	
	鉄筋コンクリート造
	コンクリートブロック造
	木造骨組
	L G S 下地組
	既存建具を示す
	新設建具を示す
	特定防火設備を示す
	防火設備を示す

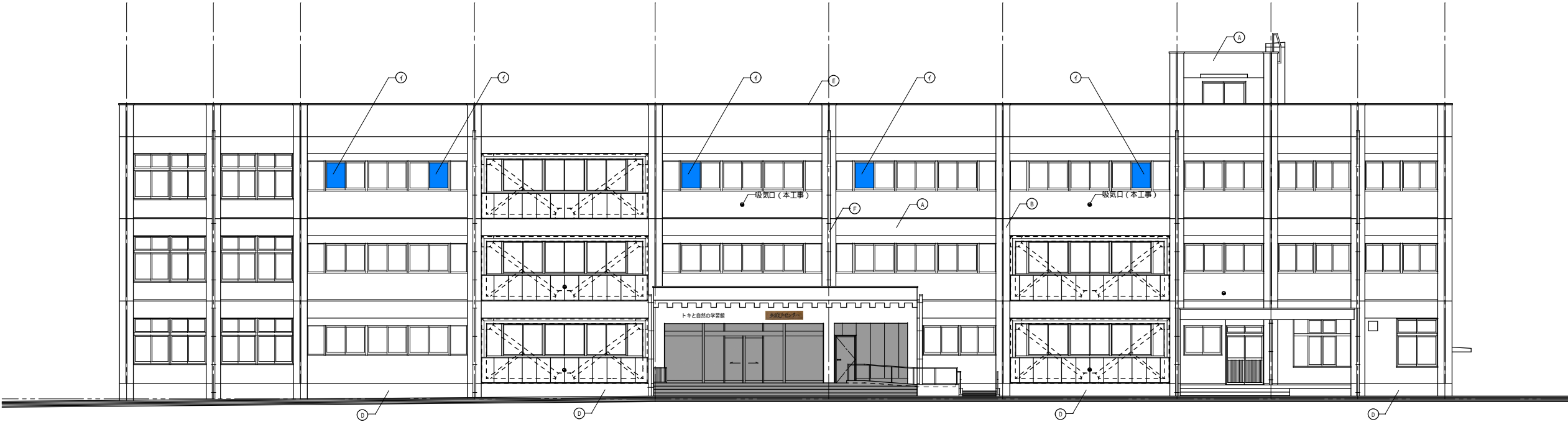


特記事項

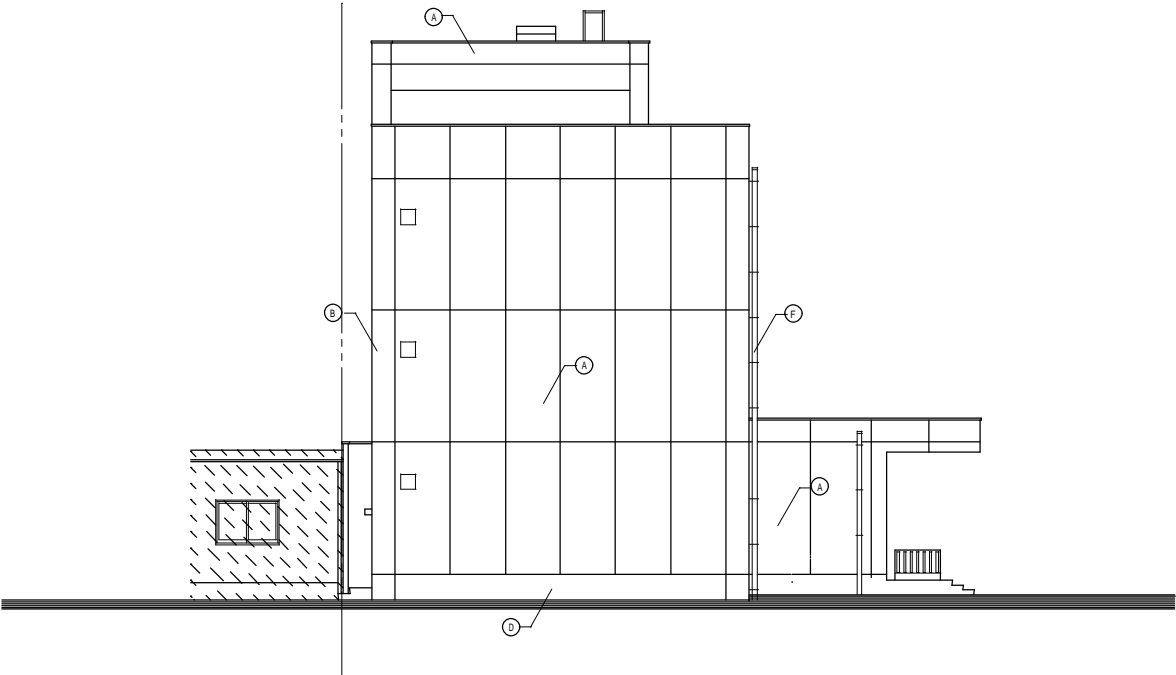
発注者
長岡市都市整備部住宅施設課

TITLE 夏戸センター改修整備工事
株式会社ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第 17618号
〒102-0083 東京都千代田区神町3-7-6 管理建築士 一級 国土交通大臣登録 第233817号
TEL 03-5226-1105 FAX 03-5226-2697 福岡 薫

PRO. NO. DATE 2017.03 NAME R階平面図 (改修前)(改修後)
DRAWN SCALE 1/100 SHEET NO. A - 12

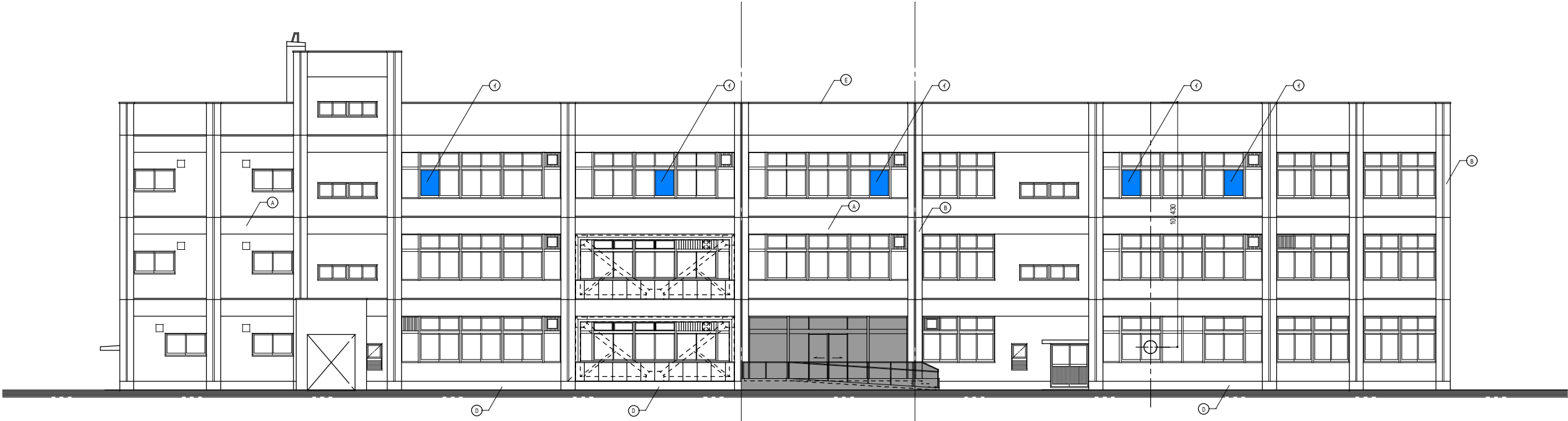


改修工事部分を示す
北側立面図 1 / 1 0 0



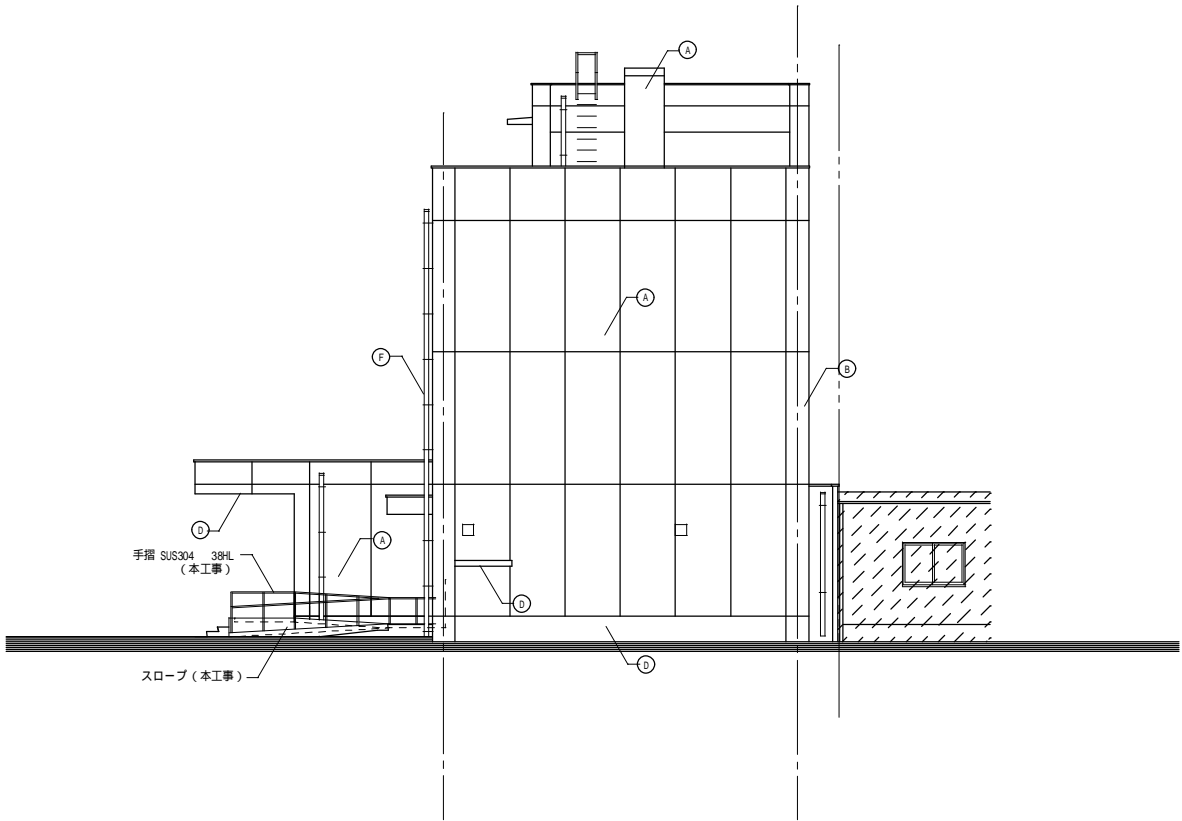
東側立面図 1 / 1 0 0

外部仕上リスト (現況を示す)	
①	モルタル塗り刷毛引き下地 防水型複層塗材 E
②	コンクリート打ち放し 防水型複層塗材 E
③	モルタル塗り金こて仕上げ
④	モルタル塗り刷毛引き下地 外装薄塗材 E
⑤	ウレタン塗膜防水 X-2
⑥	硬質塩ビたて桶 100
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	代替出入口 開口寸法 W850xH1200 以上 サッシ下端FL+1200以下 を満足する



改修工事部分を示す

南側立面図 1 / 1 0 0



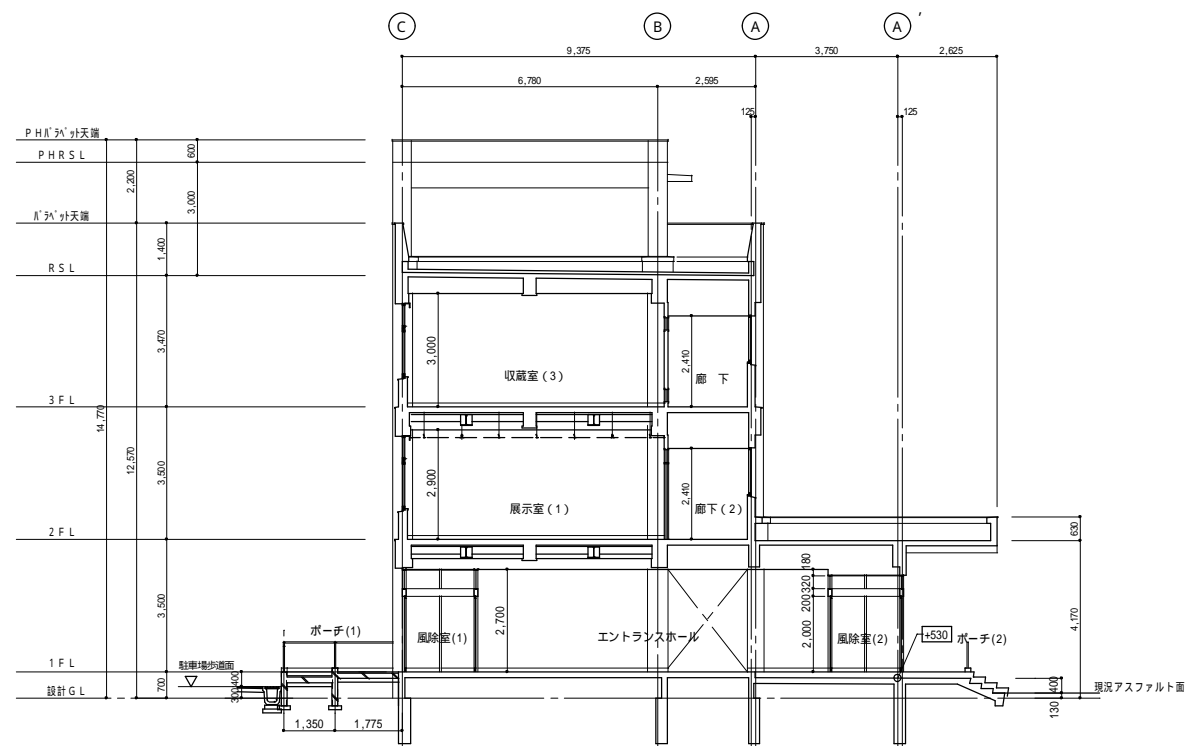
西側立面図 1 / 1 0 0

外部仕上リスト（現況を示す）

A	モルタル塗り刷毛引き下地 防水型複層塗材 E
B	コンクリート打ち放し 防水型複層塗材 E
C	モルタル塗り金こて仕上げ
D	モルタル塗り刷毛引き下地 外装薄塗材 E
E	ウレタン塗膜防水 X-2
F	硬質塩ビたて樋 100
G	
H	
I	代替出入口 開口寸法 W850xH1200 以上 サッシ下端FL+1200以下 を満足する

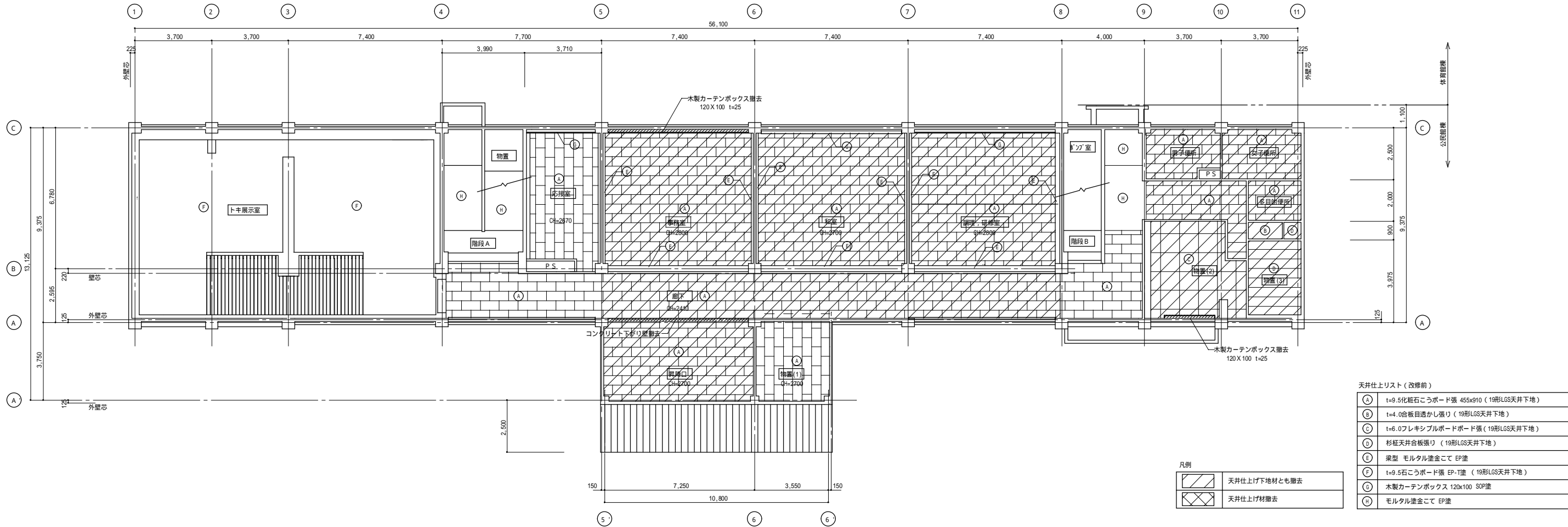


本館棟 断面図(1) S = 1 / 1 0 0

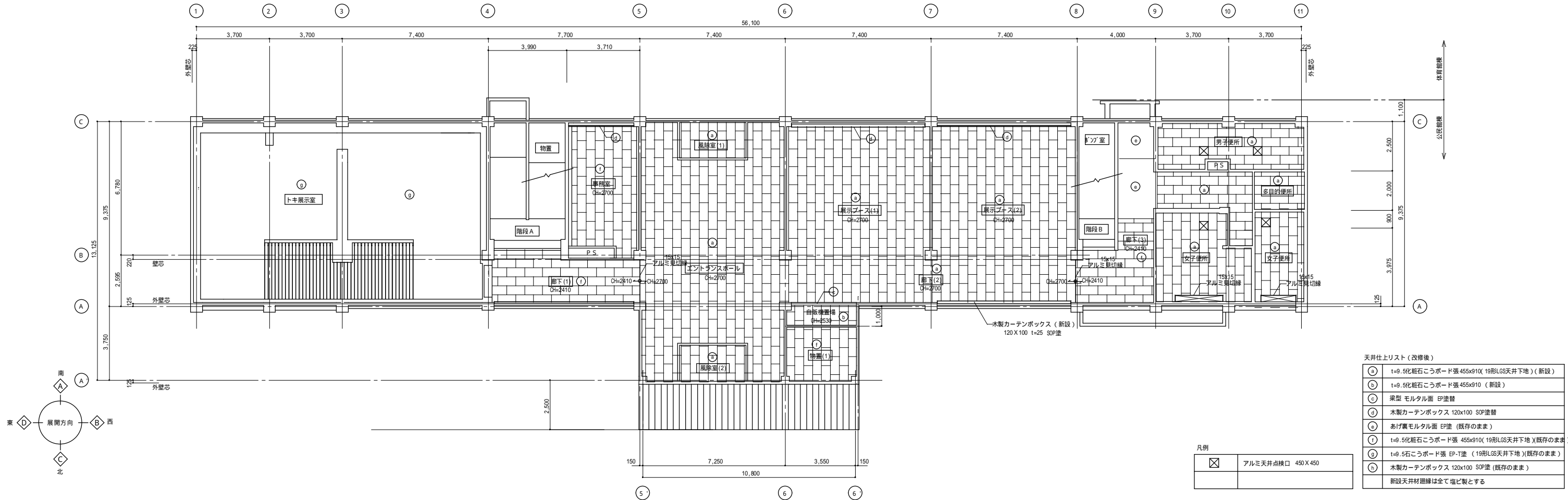


本館棟 断面図(2) S = 1 / 1 0 0

1 階天井伏図（改修前） 1/100



1 階天井伏図（改修後） 1/100

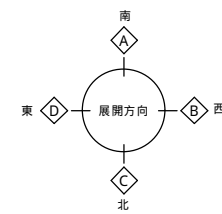
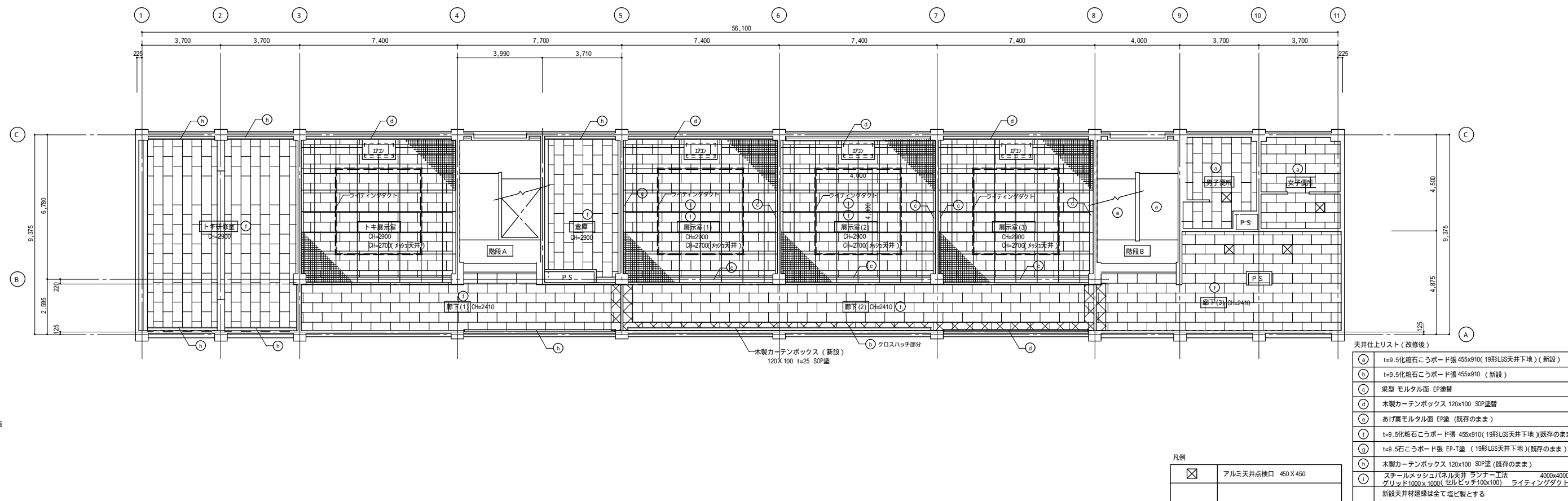
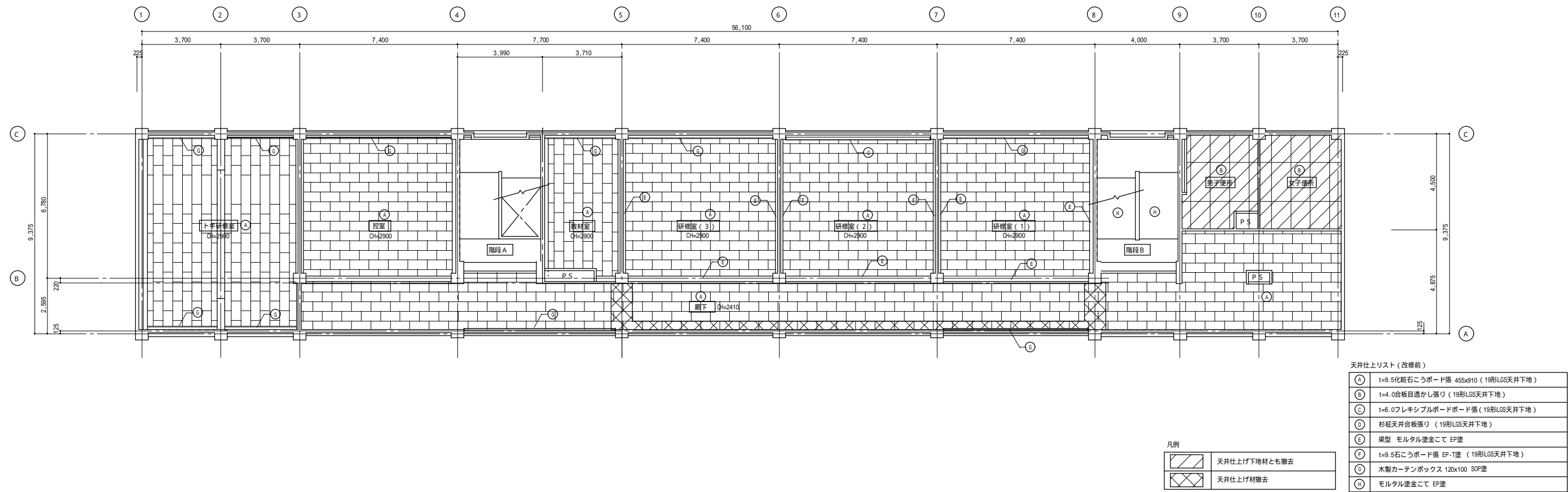


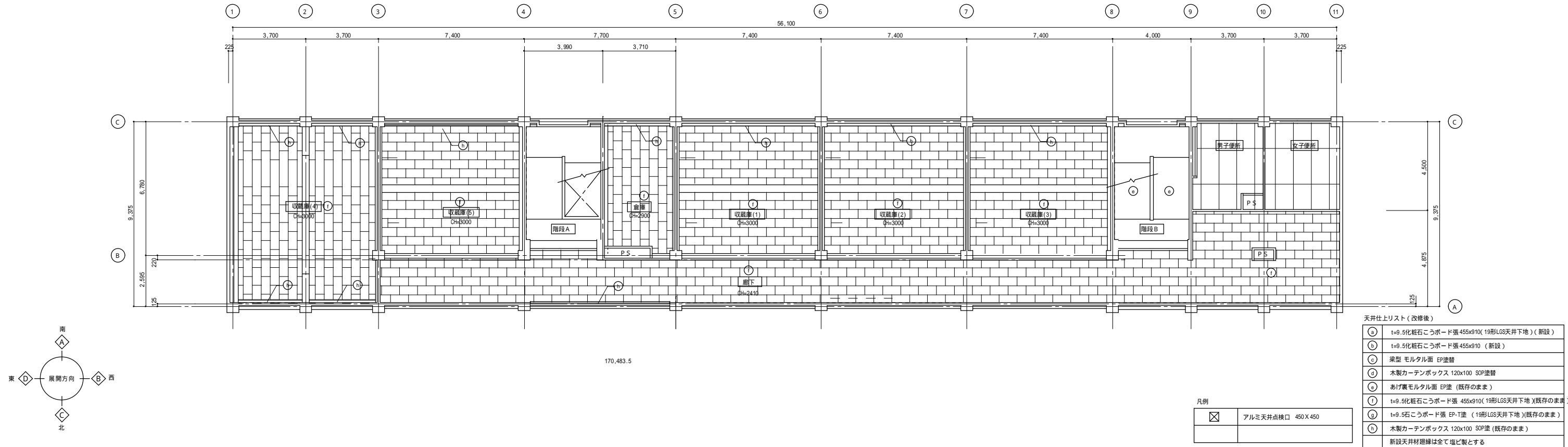
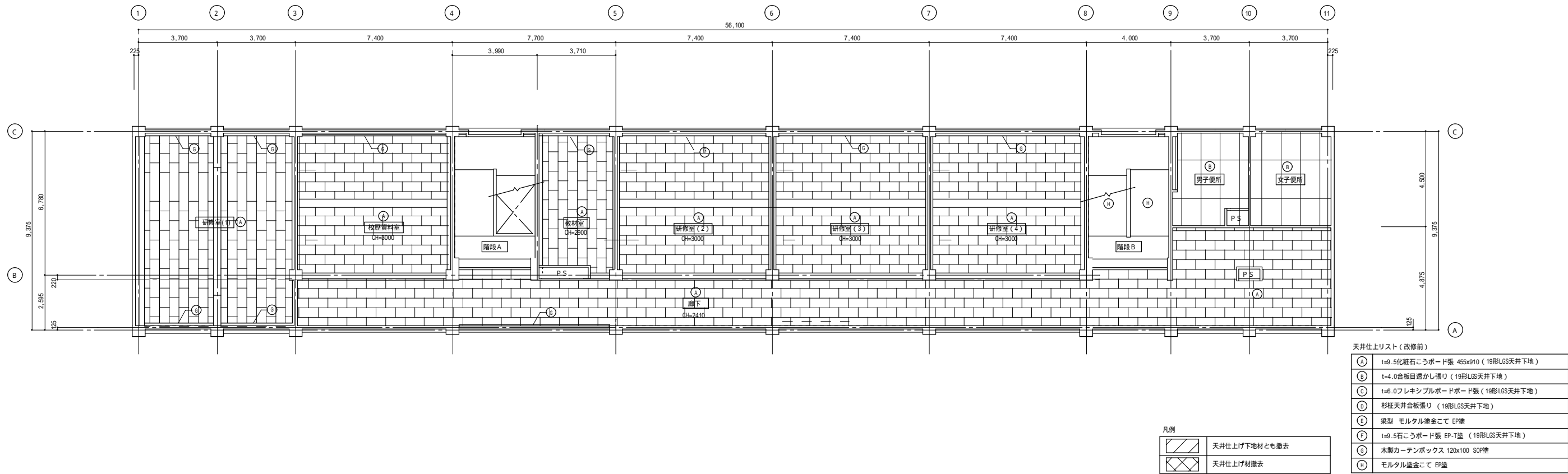
特記事項

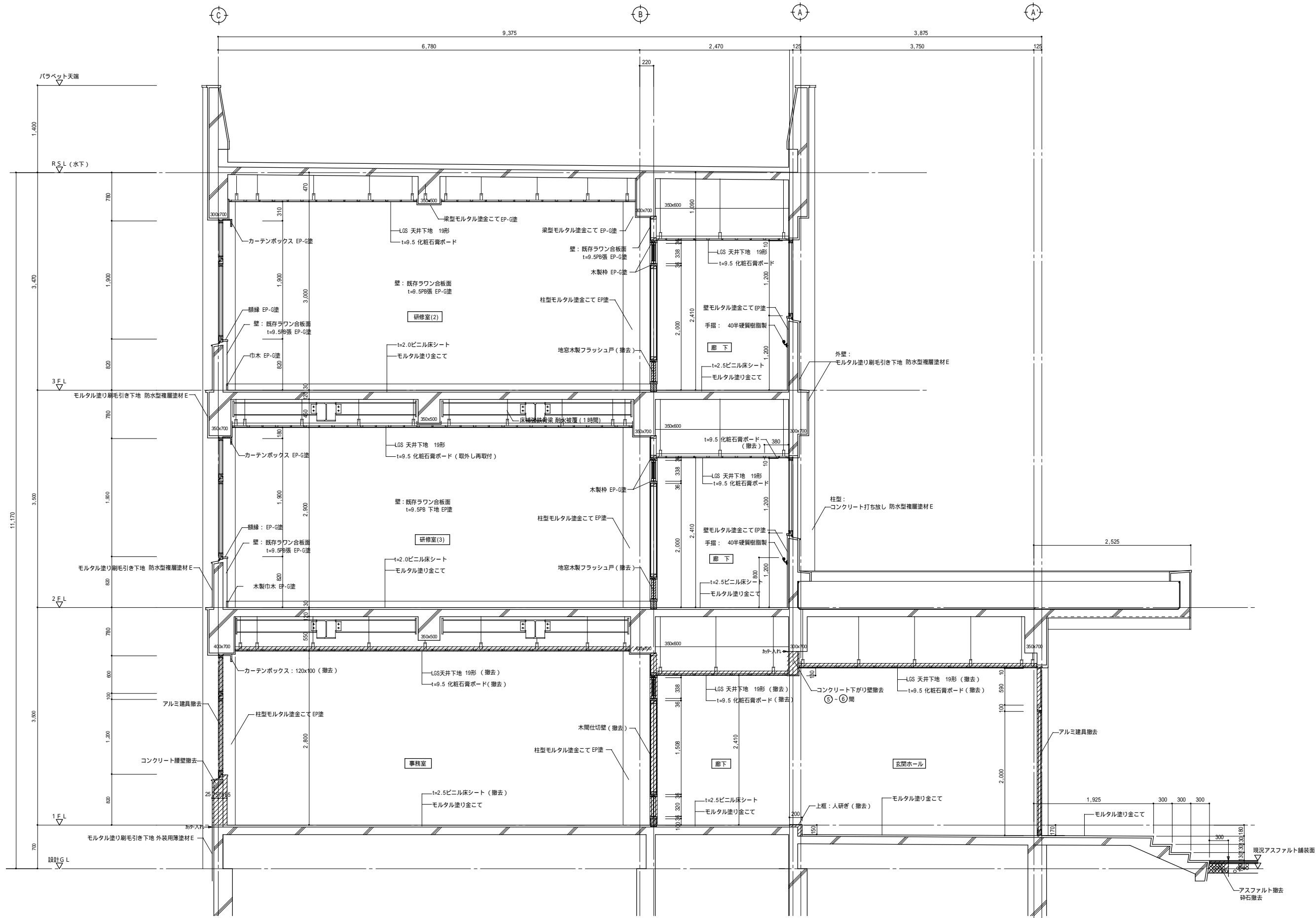
発注者
長岡市都市整備部住宅施設課

TITLE	夏戸センター改修整備工事
PRG. NO.	
DATE	2017.03
NAME	1 階天井伏図（改修前）（改修後）
DRAWN	
SCALE	1/100
SHEET NO.	A - 16

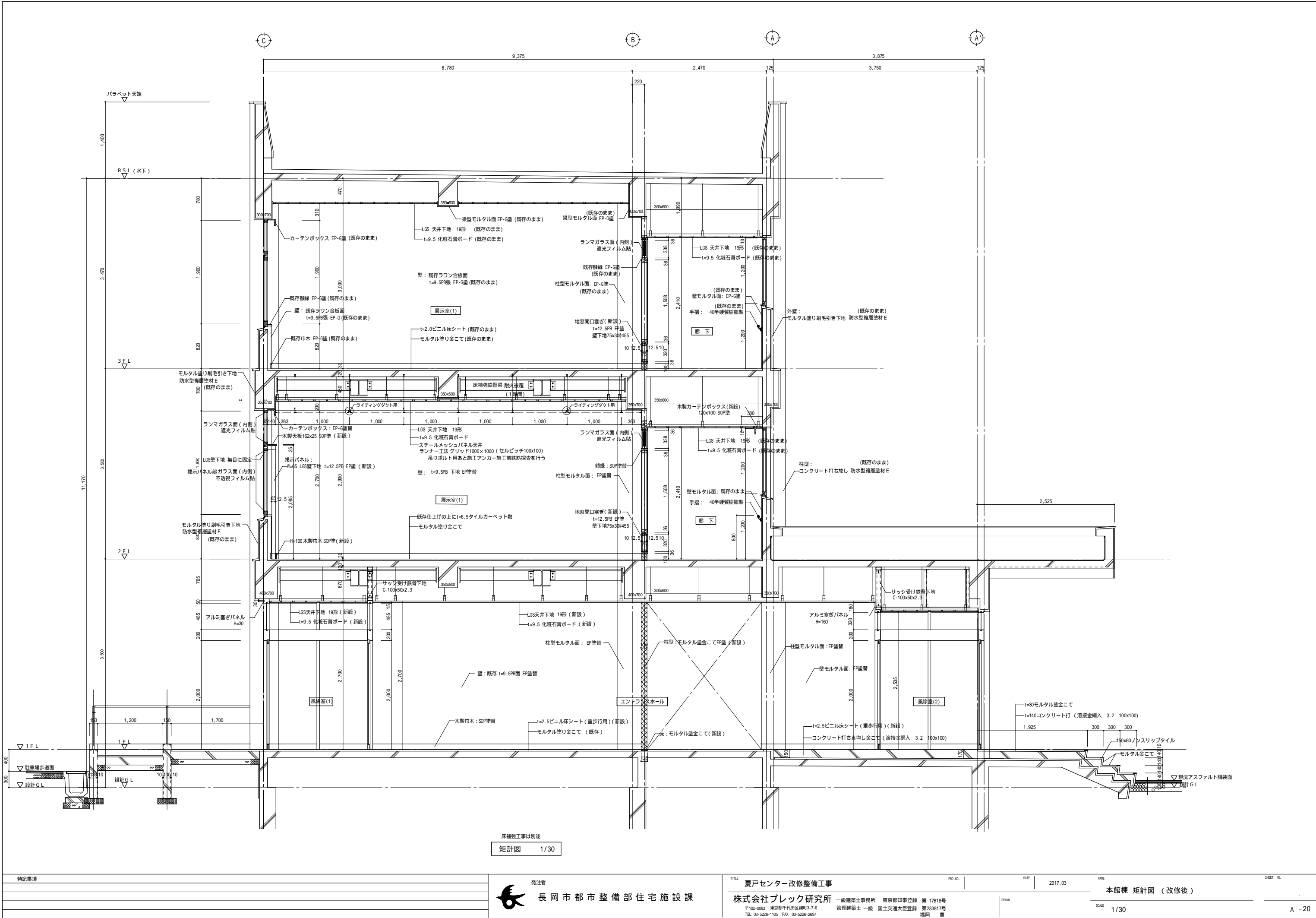
発注者	長岡市都市整備部住宅施設課
発注者	株式会社ブレック研究所
発注者	一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
発注者	〒102-0083 東京都千代田区神町3-7-6 管理建築士 一級 国土交通大臣登録 第233817号
発注者	TEL 03-5226-1105 FAX 03-5226-2697

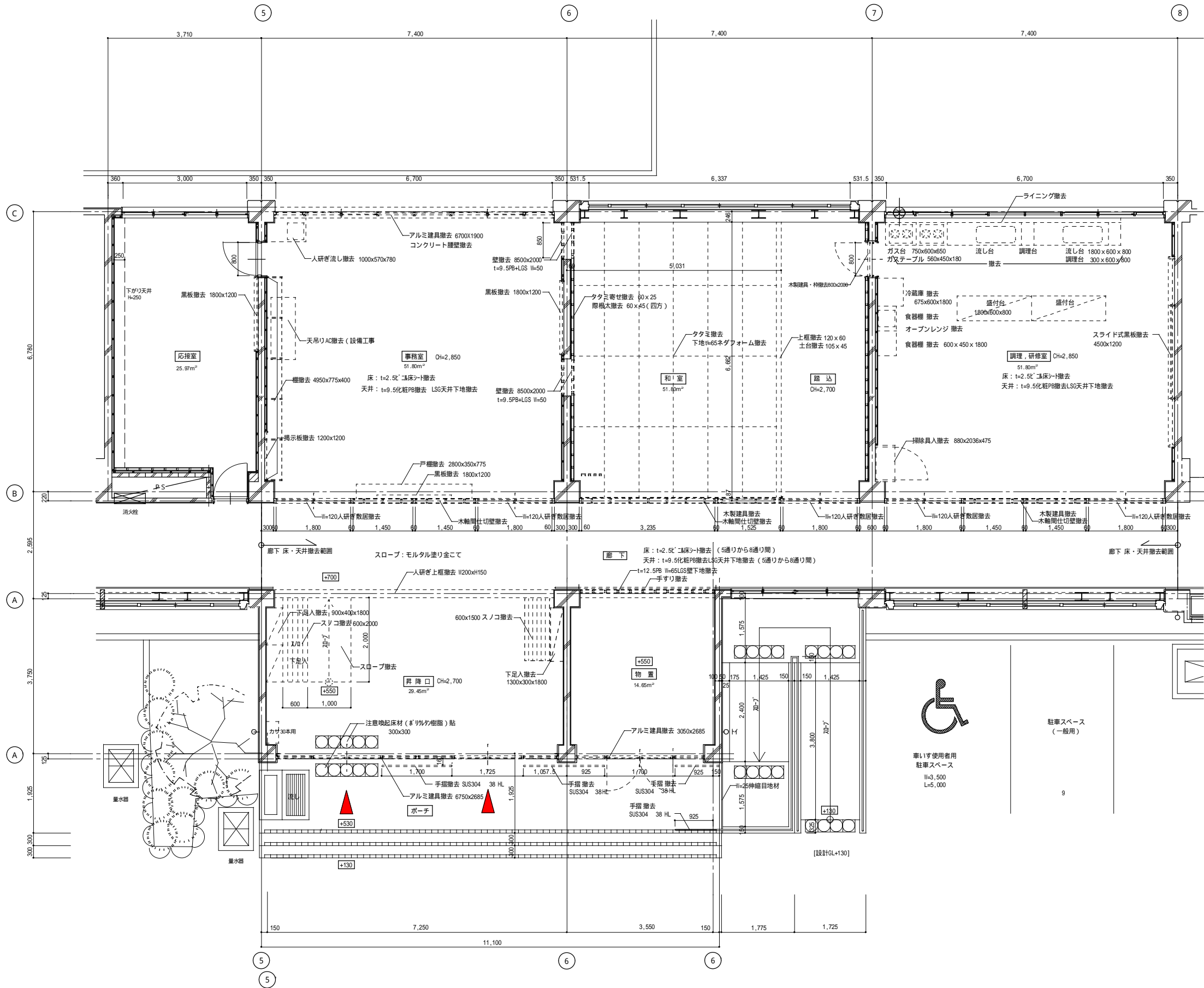


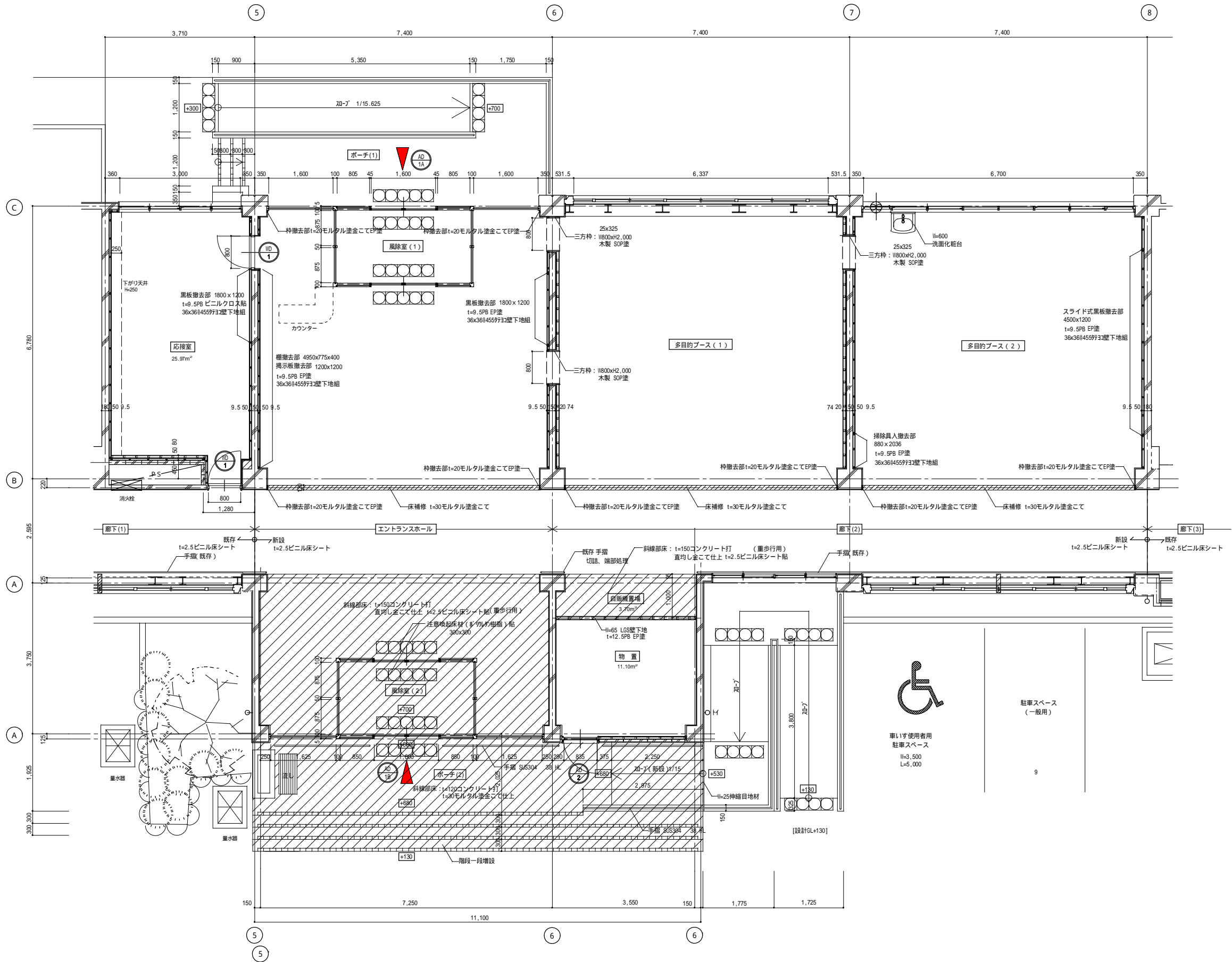


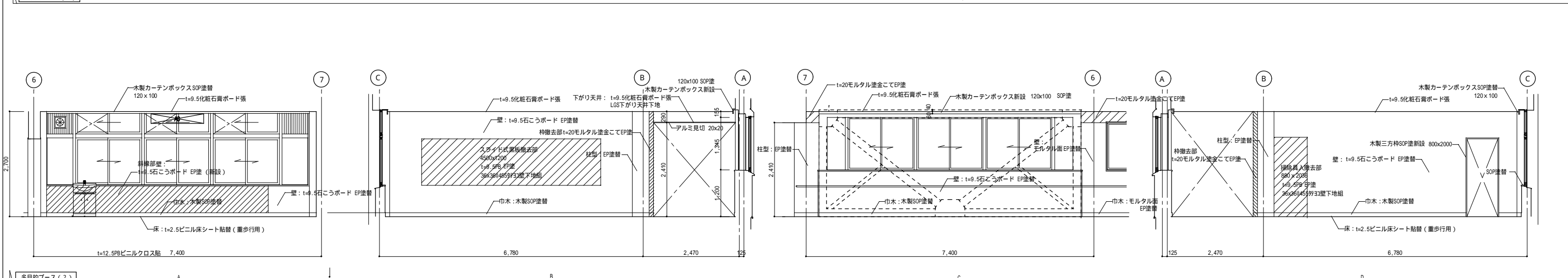
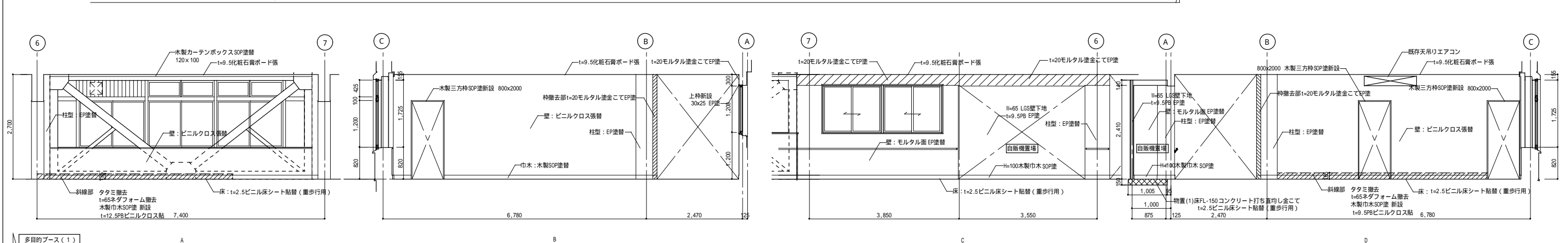
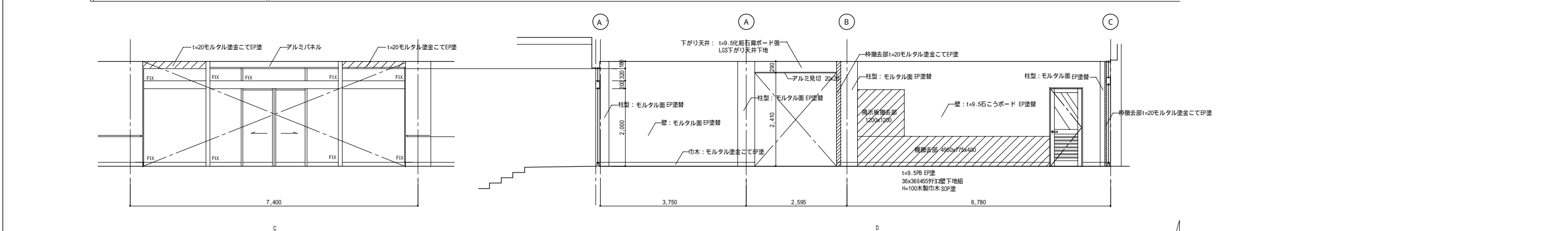
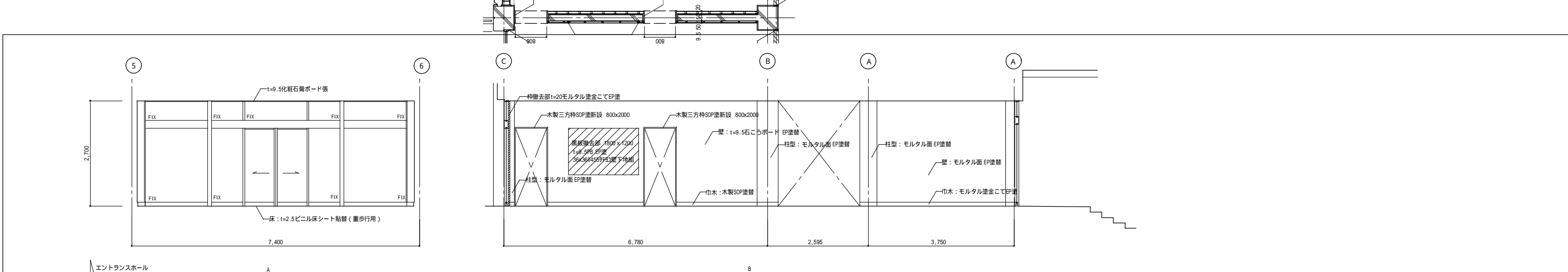


床補強工事は別途
矩計図 1/30







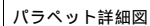
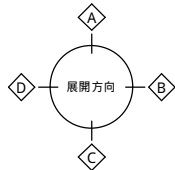




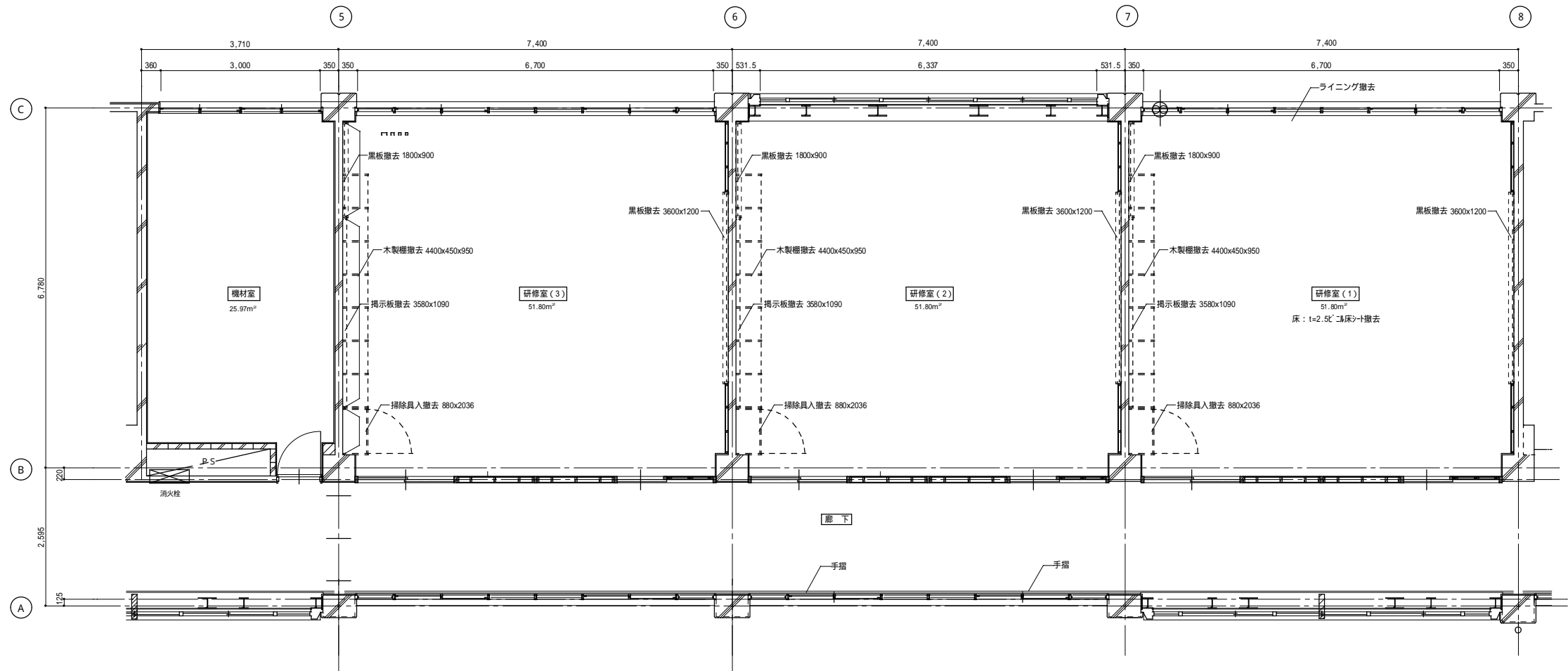
Q	床：タタミ
R	床：木造床組下地
S	壁：胴縁組下地
T	壁：間仕切壁下地
U	壁：t=12PB
V	天井：天井下組合板
W	天井：廻縁 45x45
X	天井：木天井下地組
Y	床：鉄製 じつ格子置 250x600
Z	床：t=120 コンクリート（下地モルタルt=30共） <i>カチ</i> -入れ（斜線部）
AA	壁：t=100 コンクリート（下地モルタルt=30共） <i>カチ</i> -入れ
AB	ライニング：t=100 コンクリートブロック（下地モルタルt=30共）
AC	木製欄 力根太100x45 根太45x60@455 t=12覆板 隔て板：t=60フックバ 韓
AD	フード 2600x850 スチール製
AE	ステンレス流し W=1200
AF	ステンレス作業台 W=600
AG	引違木製建具 枠共 1600x2000
AH	戸襖 枠共 800x1800
AI	襖戸 1700x1800+1700x600
AJ	障子 枠共 1700x1300+1700x600
AK	引違ガラス框戸 1450x1000
AL	天井：t=6.0フレキシブルボード L6S天井下地
AM	コンクリート（下地モルタルt=30共） <i>カチ</i> -入れ
AN	胴縁撤去 25x30
AO	床：t=2.5ビニル床シート



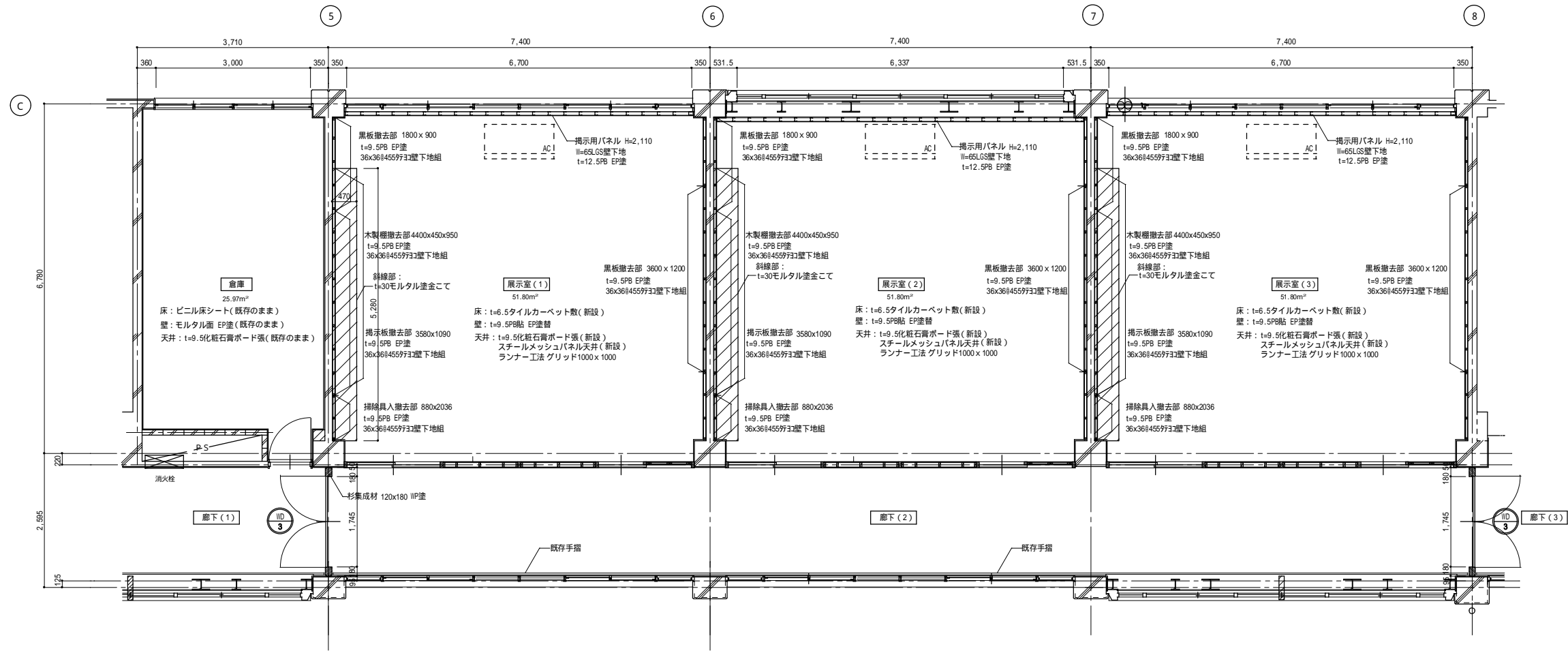
天井工	①	既存コナリ床面 1/4 坪 シタ 材 下地 t=2.0 ① ニルシート貼 (滑接工法)
天井工	②	既設ニ床材 (t=20) ナイロシ 下地)H=130 ナ宮板 t=12張 下地 t=2.0 ① ニルシート貼 (滑接工法)
天井工	③	t=2.0 ニルシート床材巻き上げ
壁工	④	既存移張面 t=12.5 シタ 材 石こうボード 接着工法 t=6.0 化粧板 7/8 シタ 貼 巾木見切 出隅 入隅専用 7/8 見切使用
壁工	⑤	LS955 t=12.5 シタ 材 石こうボード 下地 張り t=6.0 化粧板 7/8 シタ 貼 巾木見切 出隅 入隅専用 7/8 見切使用
天井工	⑥	LS9 下地 t=9.5 化粧石こうボード 張 45X910 塩ビ 廻り縁
その他工	⑦	手洗いカウンター W=575 t=18 既製品 車椅子対応型 化粧板 2/3 坪 (周囲 2/3 坪 5x5)
その他工	⑧	ライニング天板 W=150 t=19 化粧板 2/3 坪 (周囲 2/3 坪 5x5)
その他工	⑨	鏡 W300XH900 7/8 2 枠付
その他工	⑩	波見鏡 W600XH1300 7/8 2 枠付
その他工	⑪	三方枠 25x172 SGP 塗
その他工	⑫	三方枠 25x116 SGP 塗
その他工	⑬	側縁 25x61 SGP 塗
その他工	⑭	側縁 25x41 SGP 塗
その他工	⑮	床下点検口 SUS 枠 600x600 貼物密閉型
その他工	⑯	棚 t=25 化粧化粧板貼 450 x 200 棚受け ナット
その他工	⑰	玉付帽子掛 ステン製
その他工	⑱	ペーパー (設備工事)
その他工	⑲	ペーパー (設備工事)
その他工	⑳	
その他工	㉑	

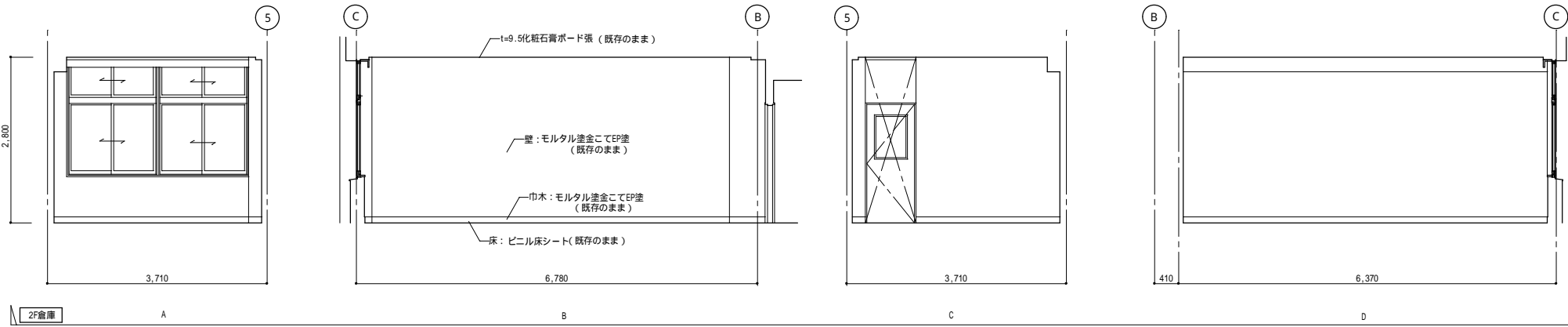
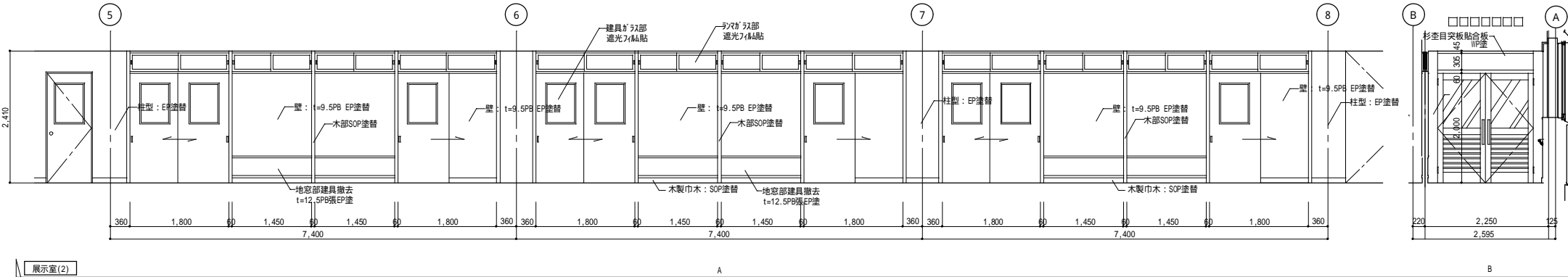
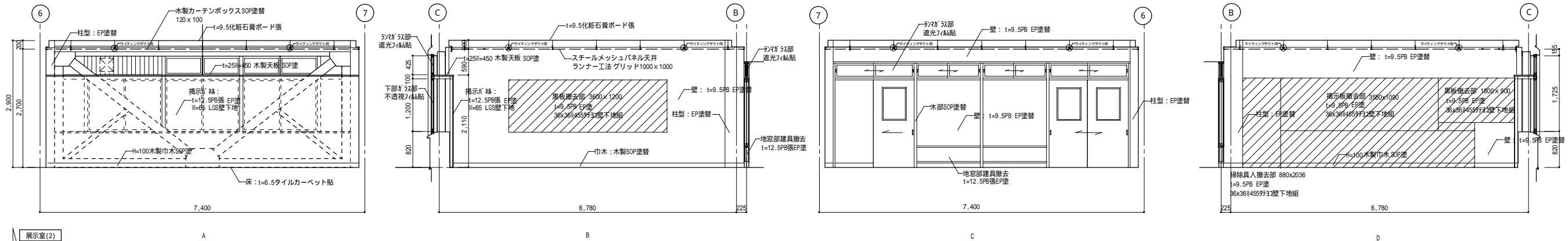


2階 展示室(1),(2),(3) 倉庫 平面詳細図 (改修前)

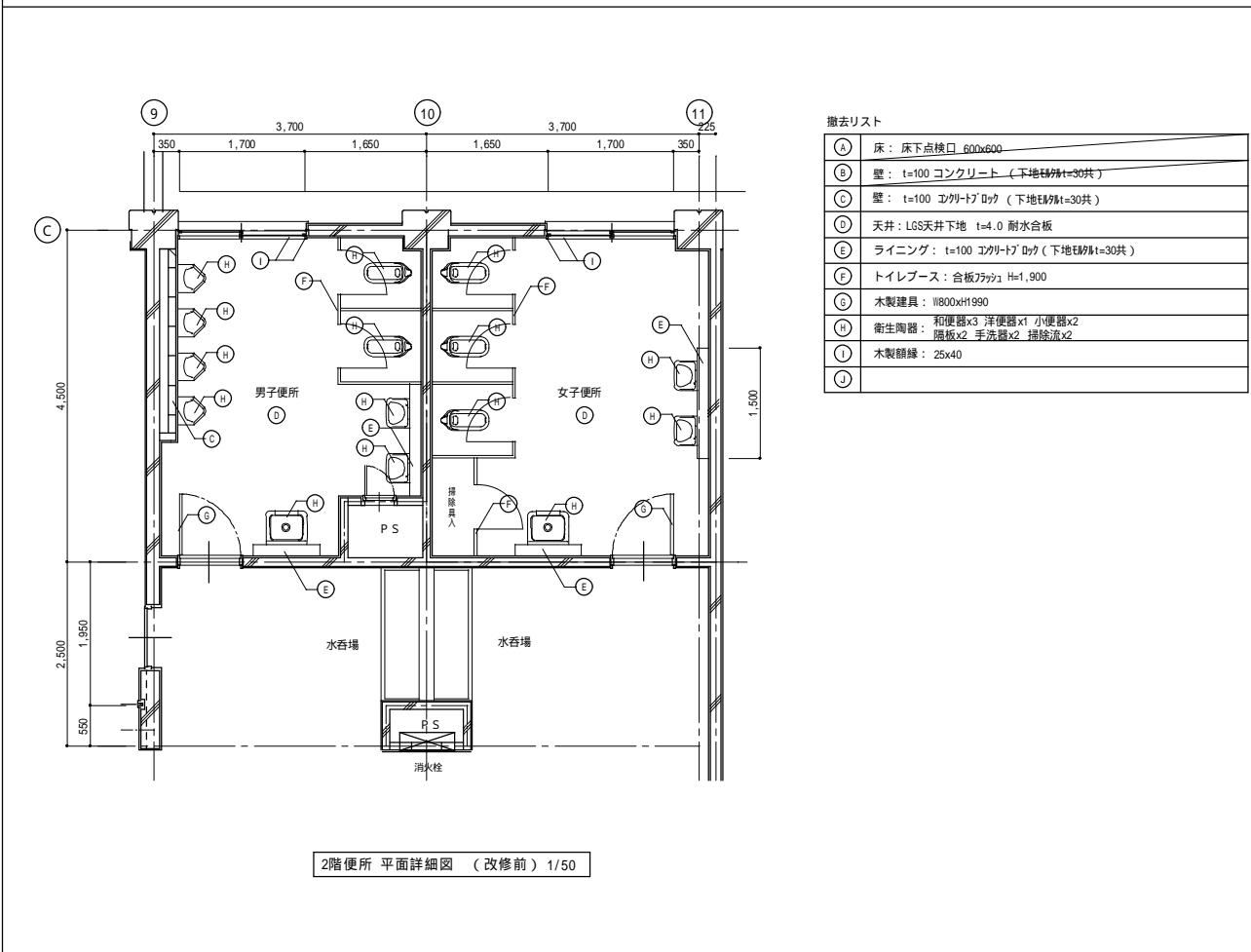


2階 展示室(1),(2),(3) 倉庫 平面詳細図 (改修後)

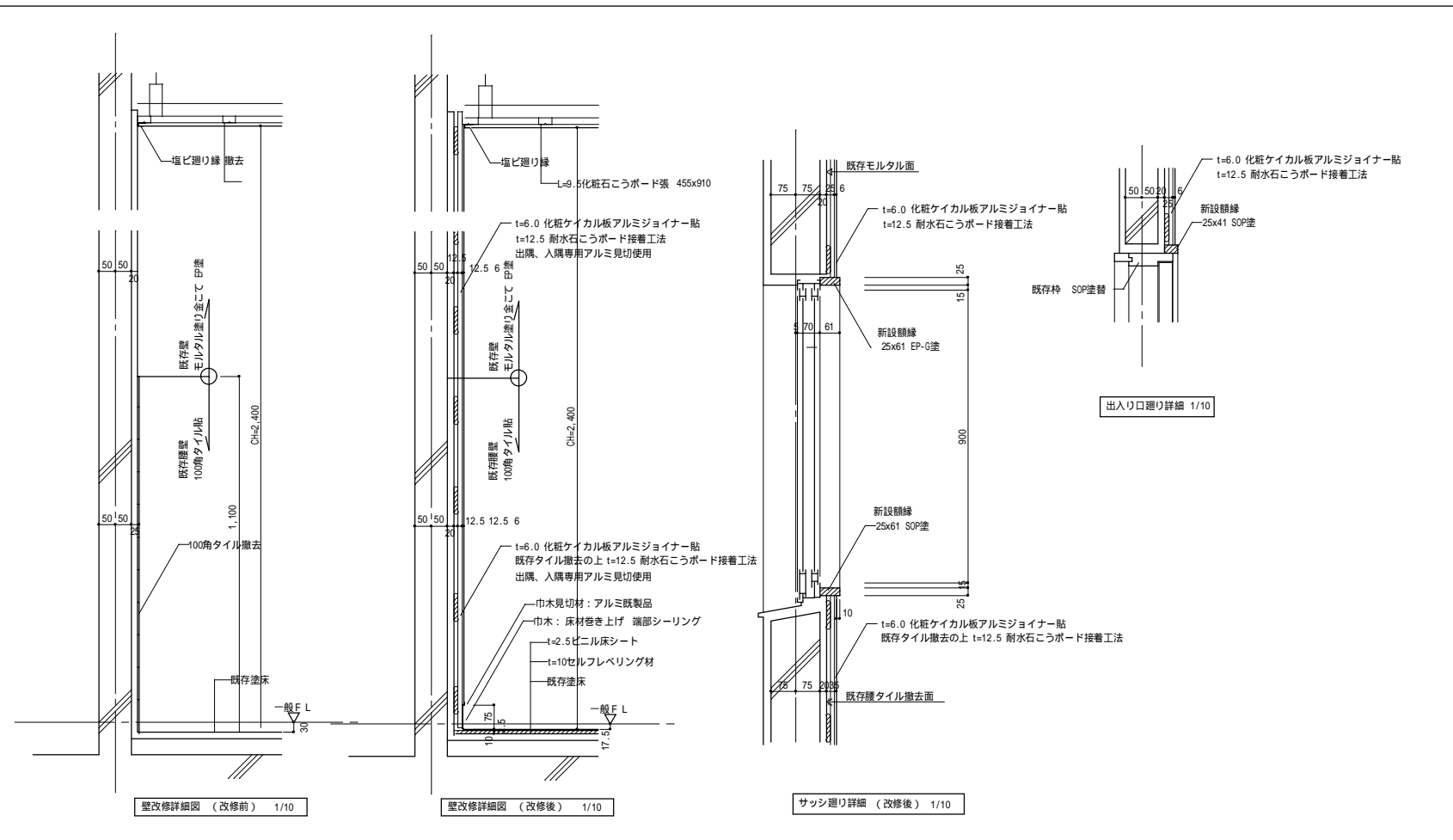




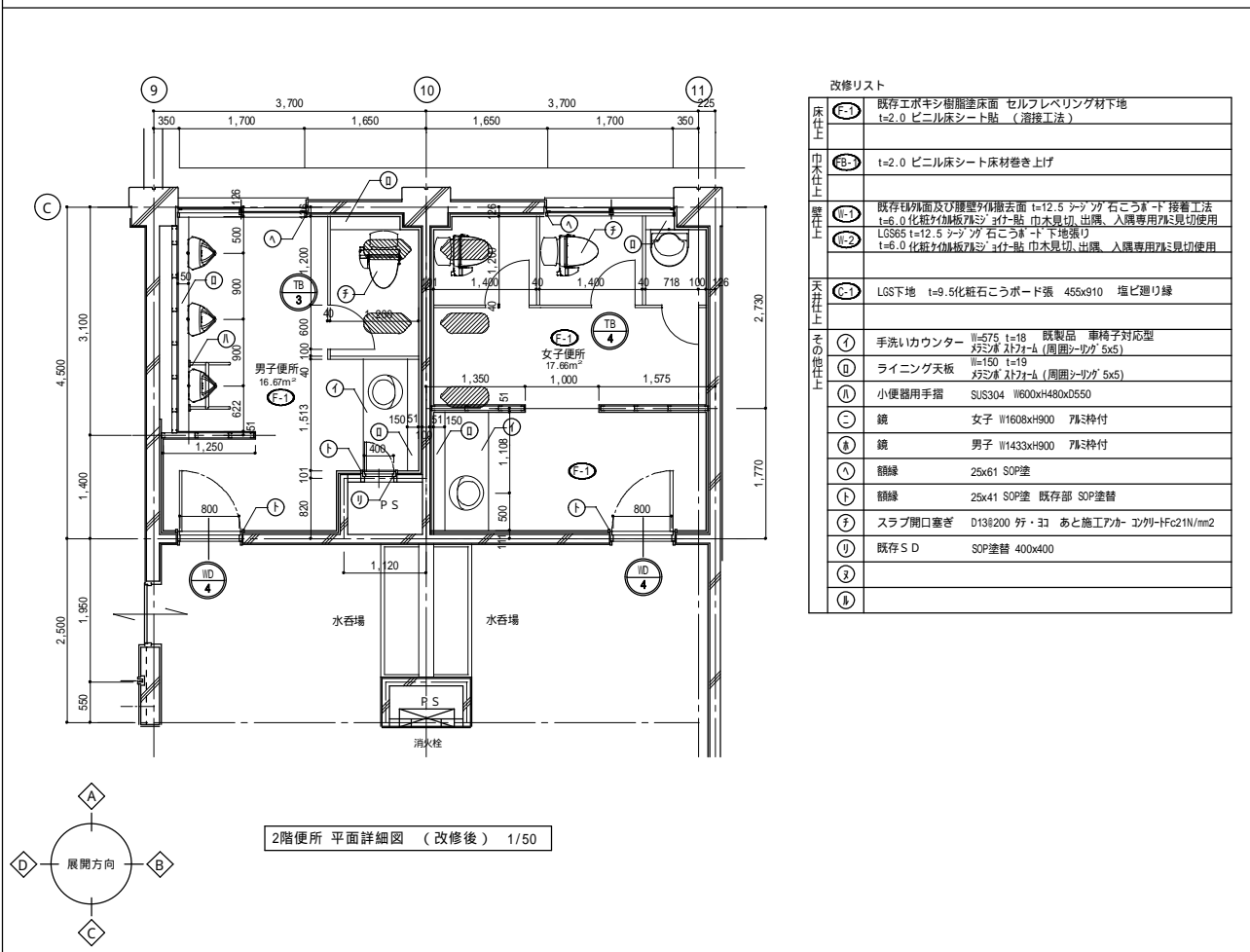
2階男子・女子便所平面詳細図（改修前）1/50



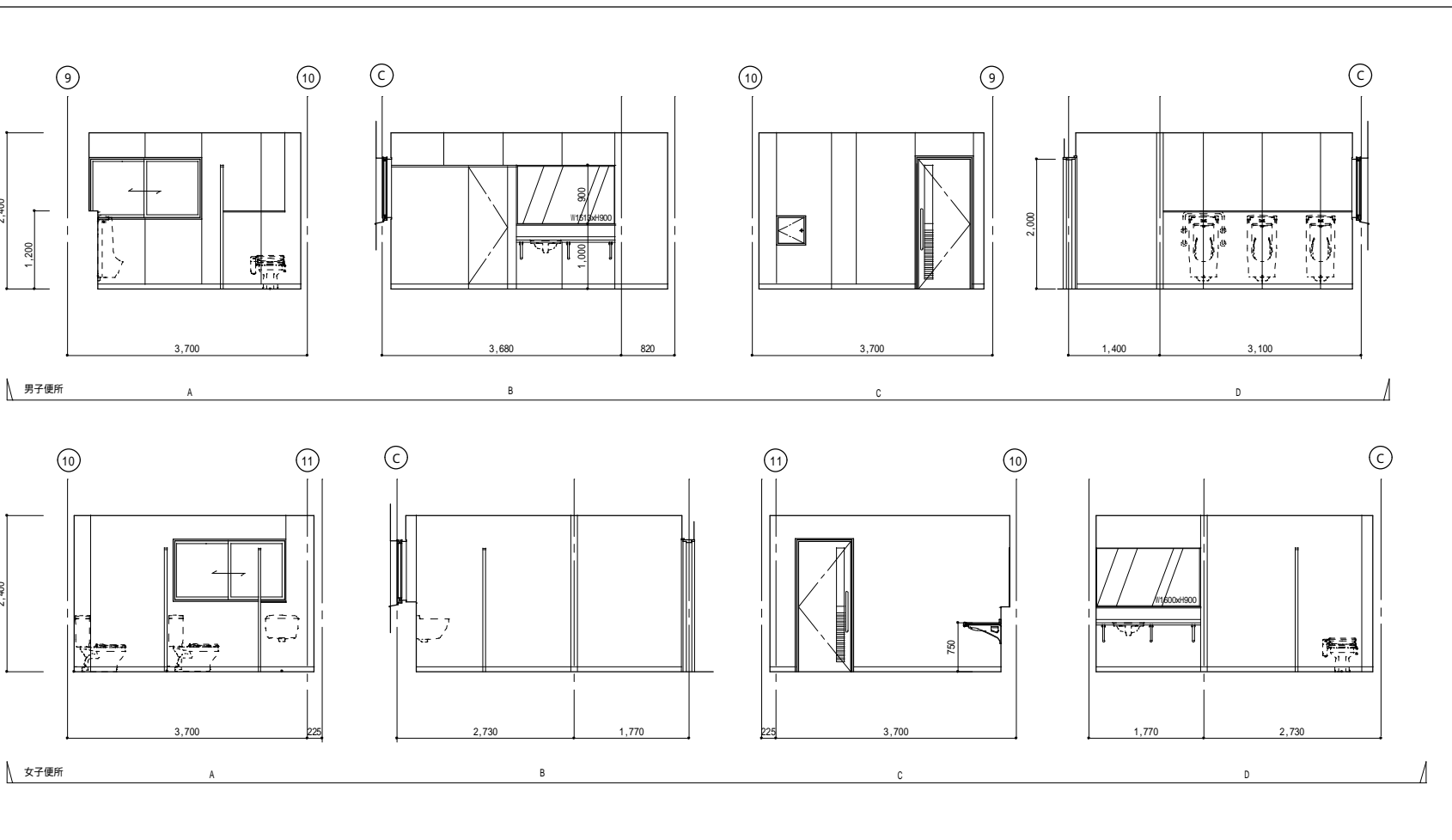
部分詳細図 1/10



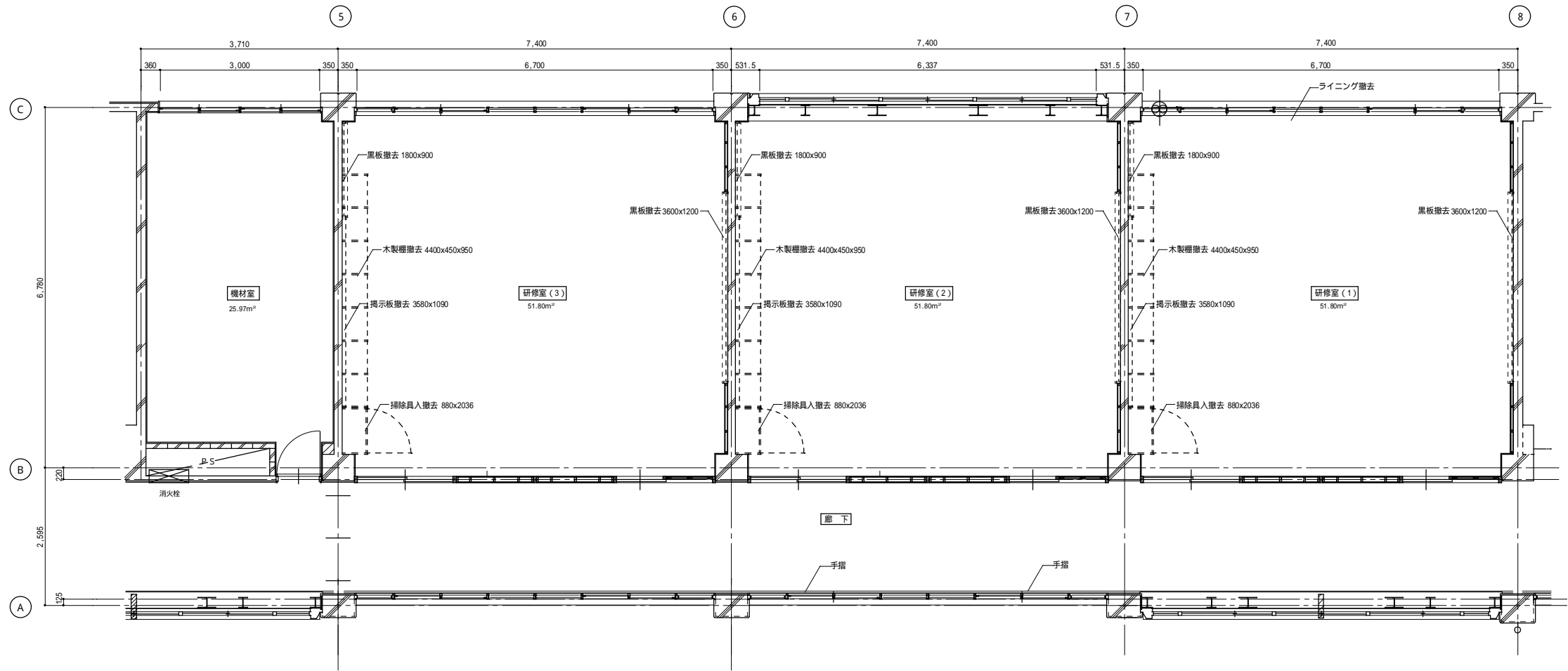
2階男子・女子便所平面詳細図 展開図（改修後）1/50



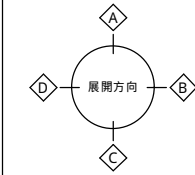
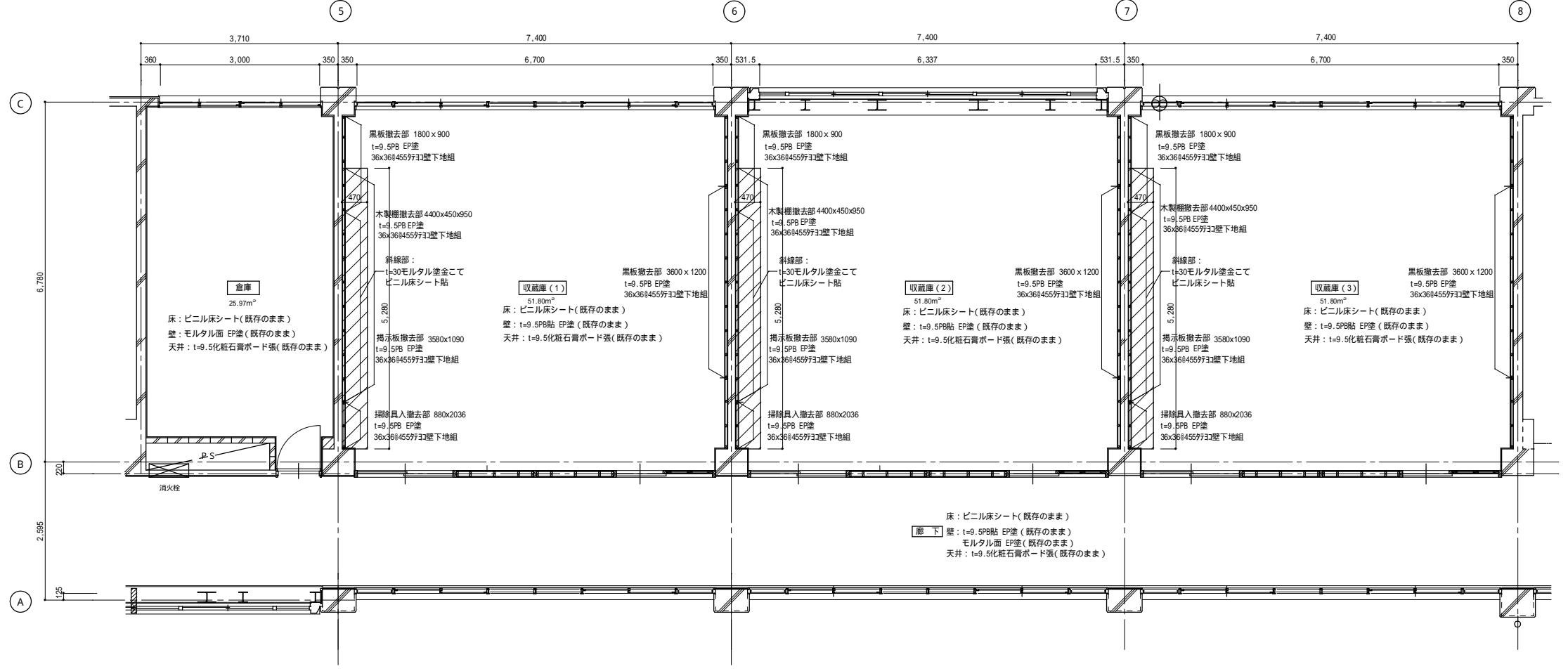
2階男子・女子便所 展開図（改修後）1/50

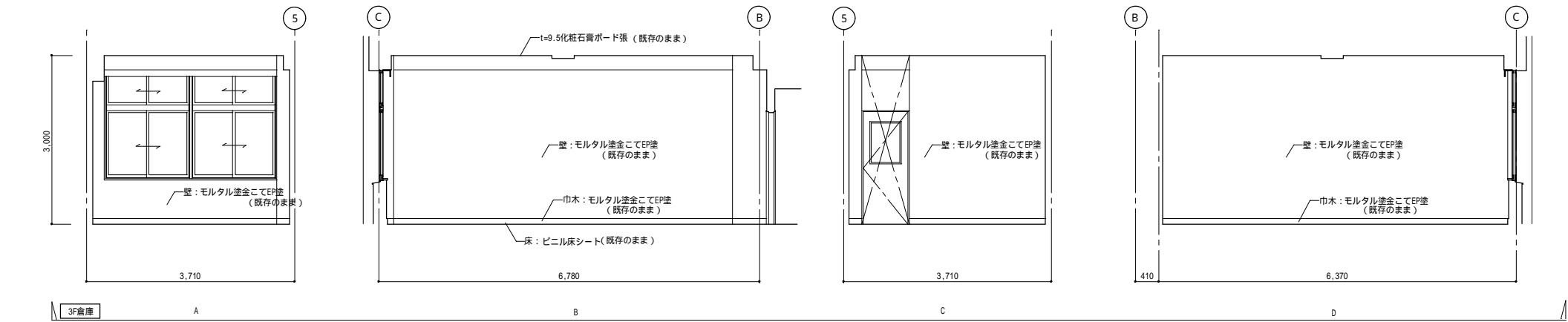
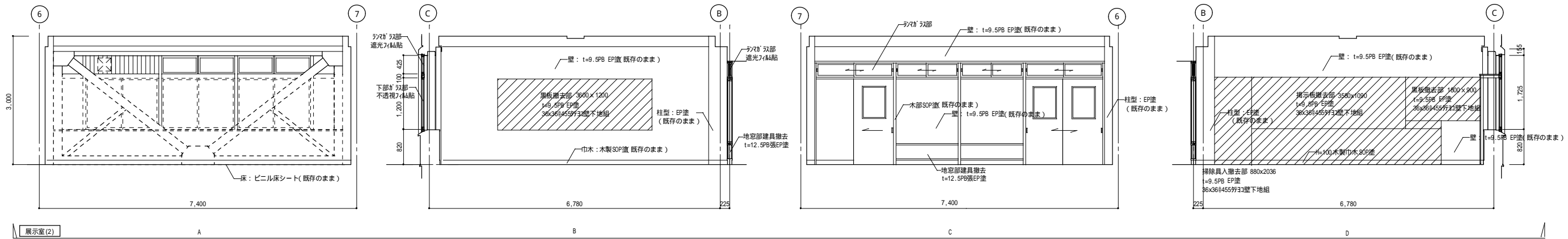


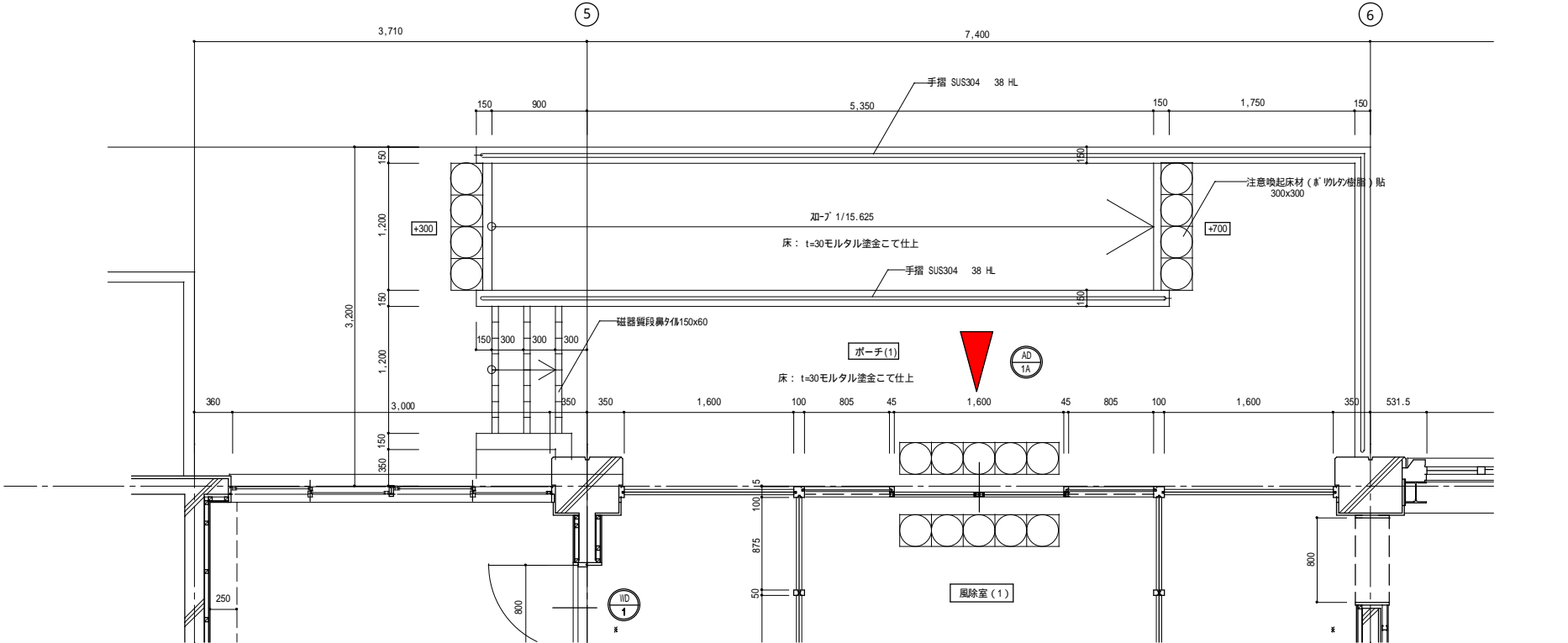
3階 収蔵庫(1),(2),(3) 倉庫 (改修前)



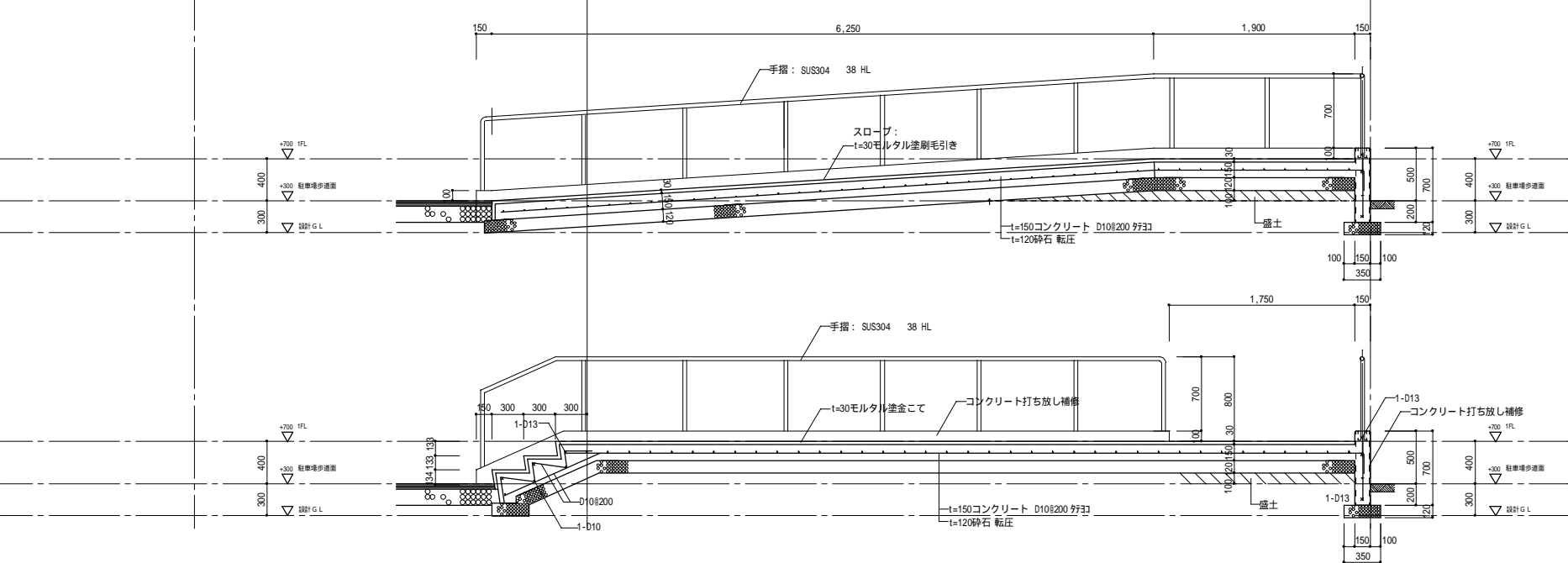
3階 収蔵庫(1),(2),(3) 倉庫 (改修後)



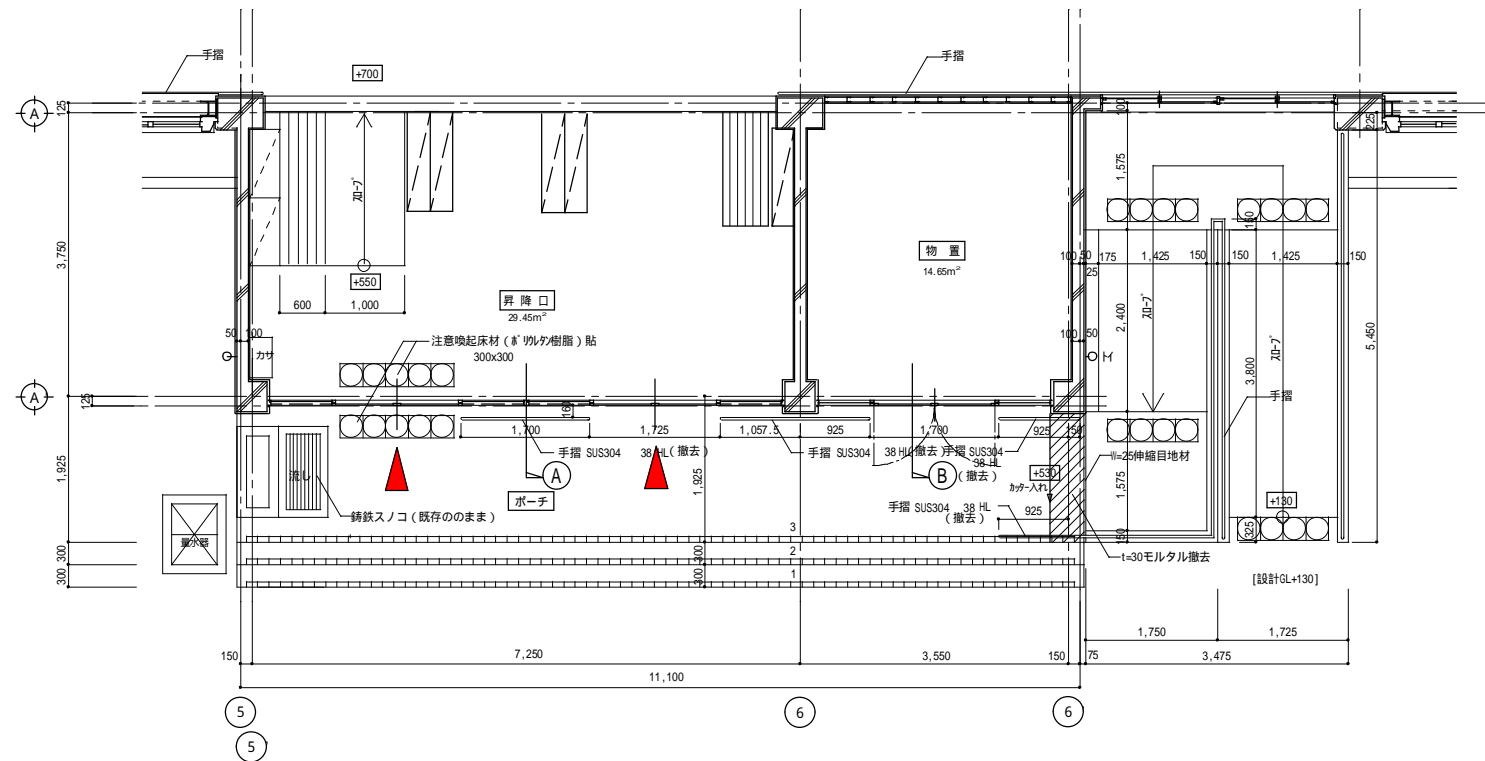




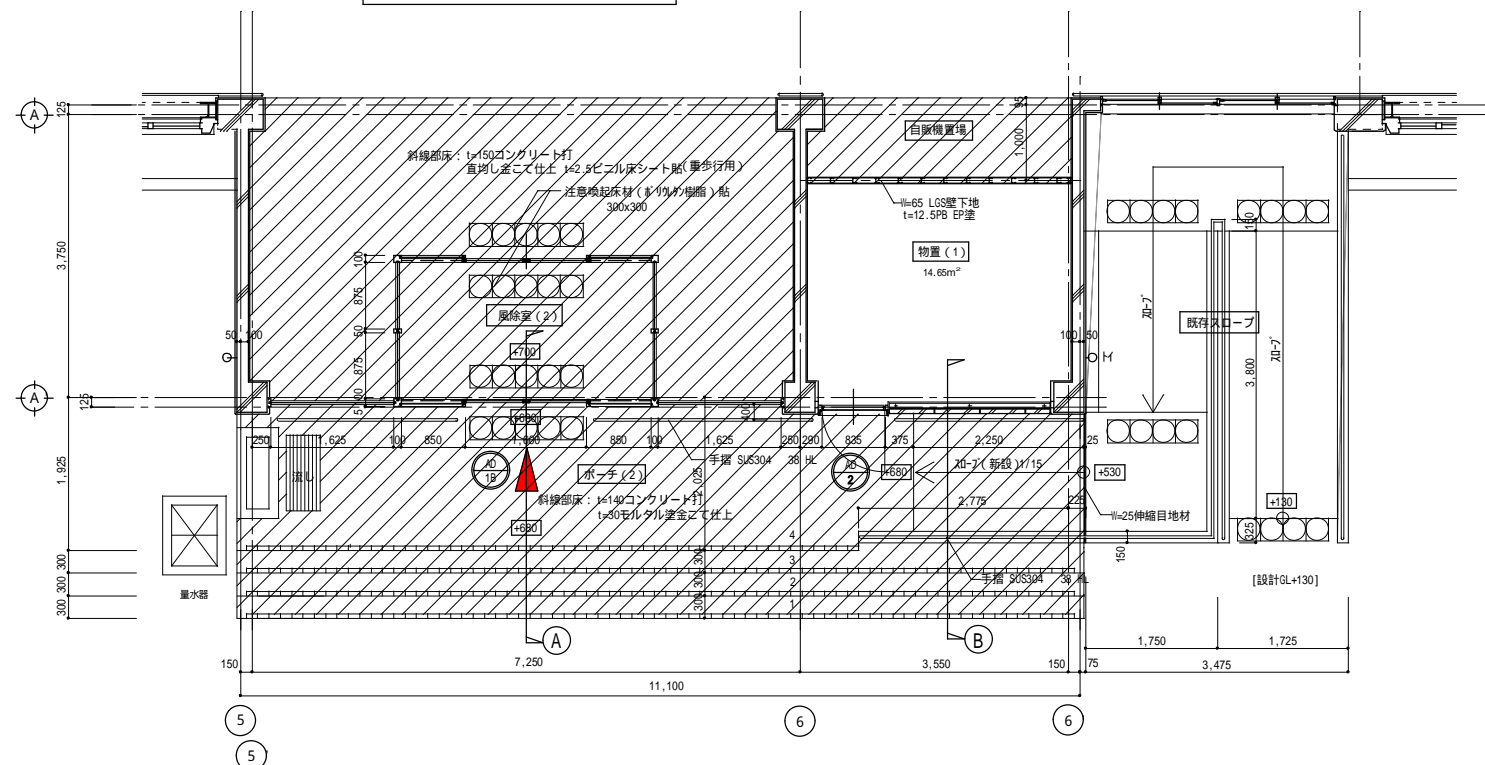
スロープ平面詳細図 1/30



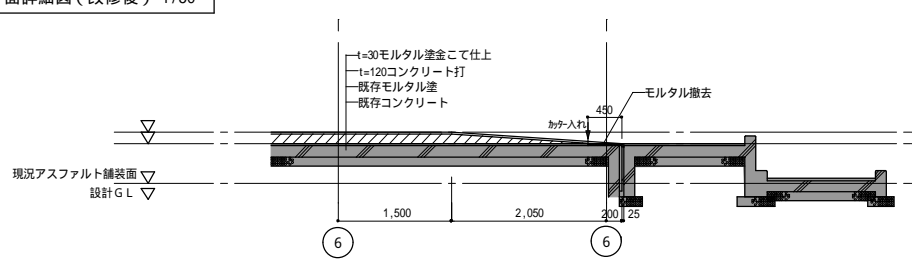
スロープ断面詳細図 1/30



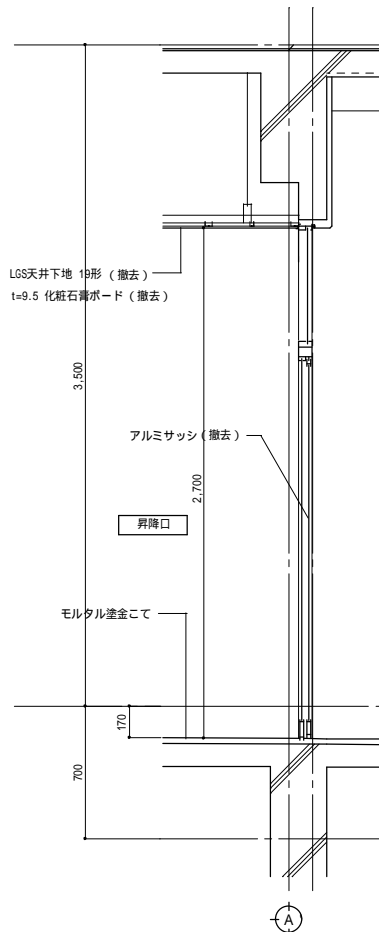
昇降口 平面詳細図（改修前） 1/50



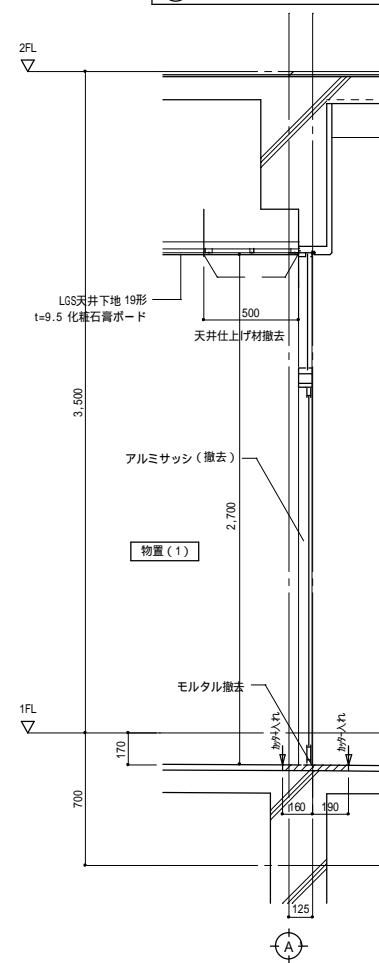
昇降口 平面詳細図（改修後） 1/50



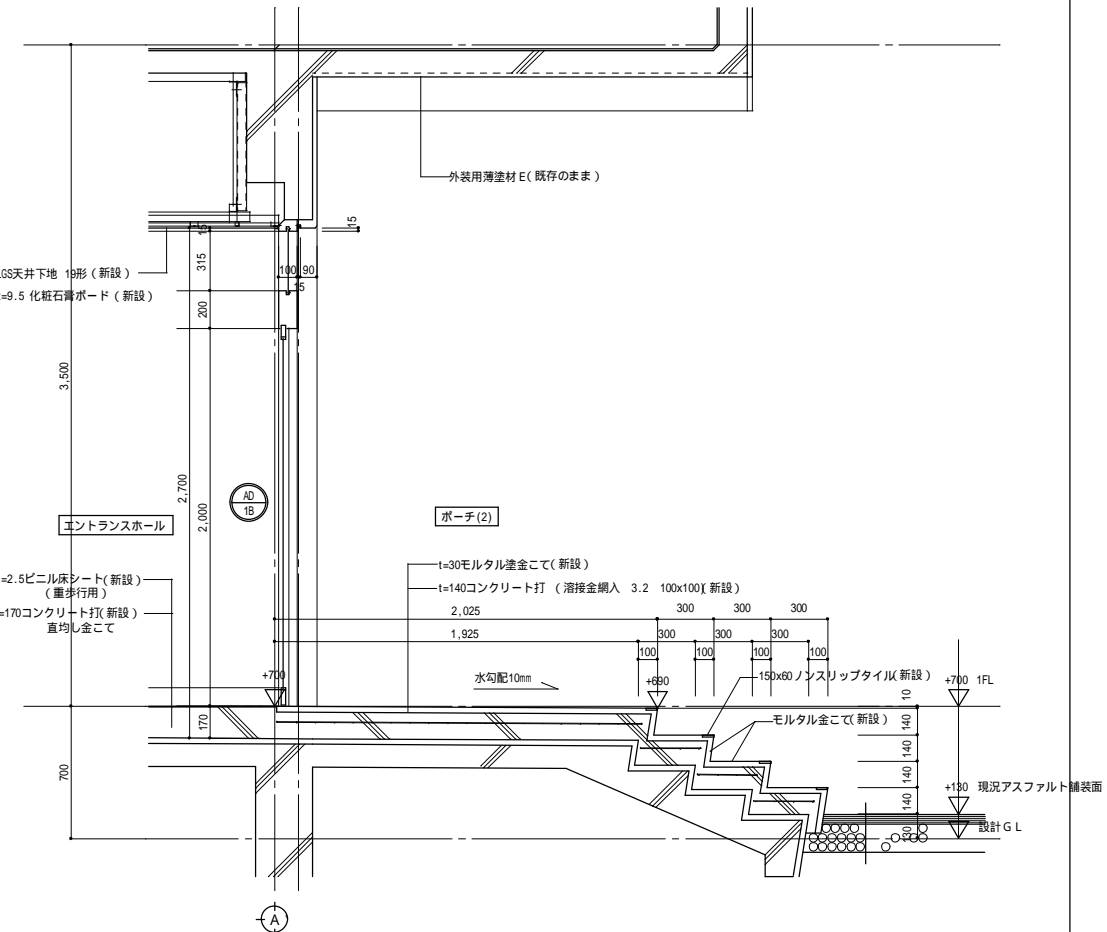
新設スロープ 断面図 1/50



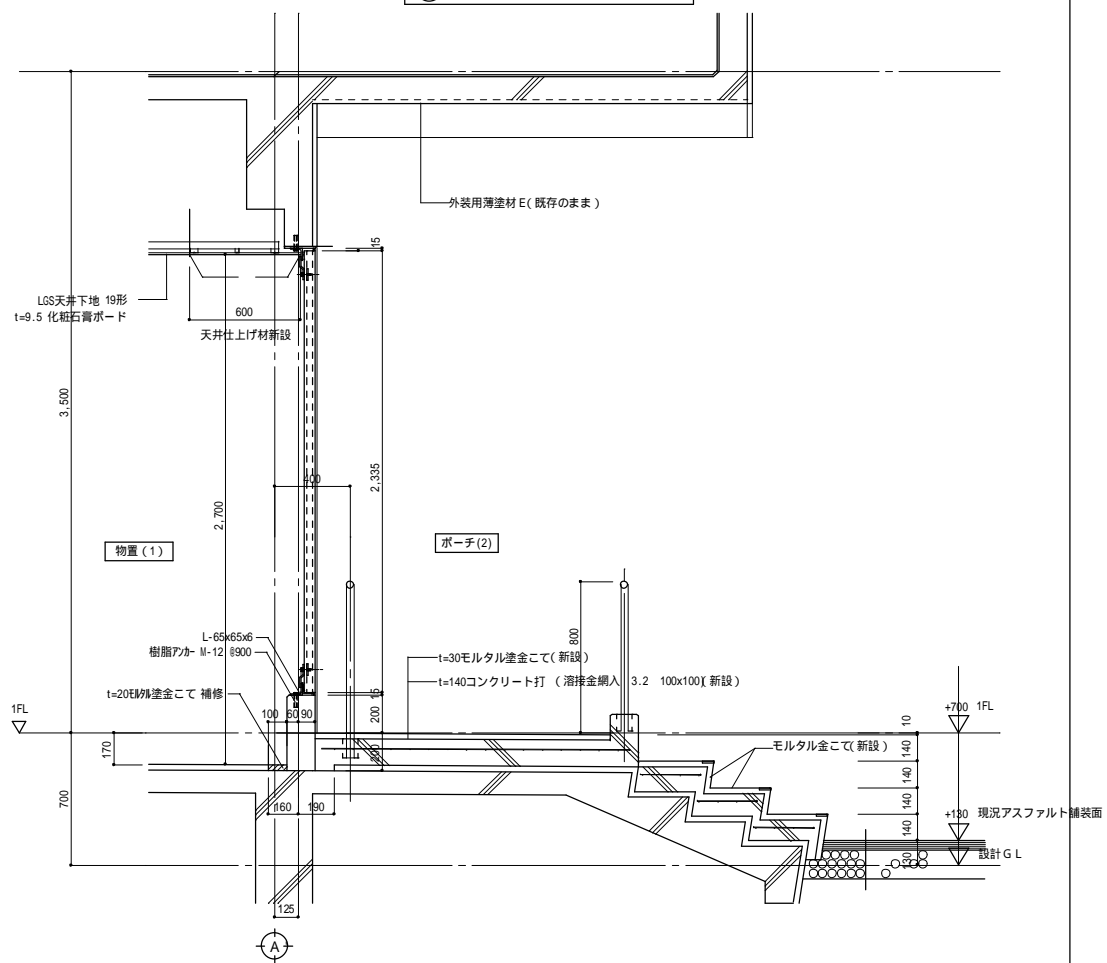
（A）断面詳細図（改修前） 1/20



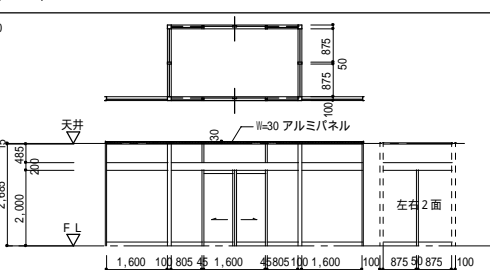
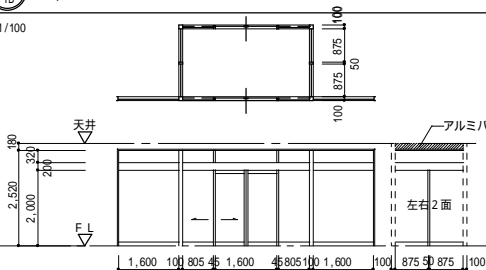
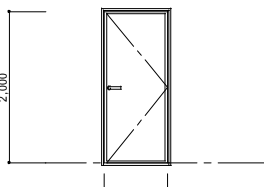
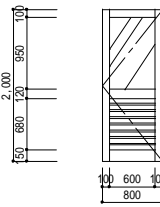
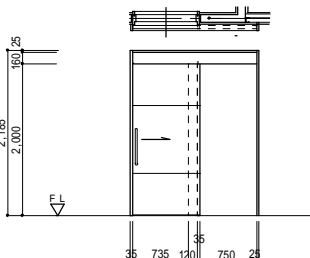
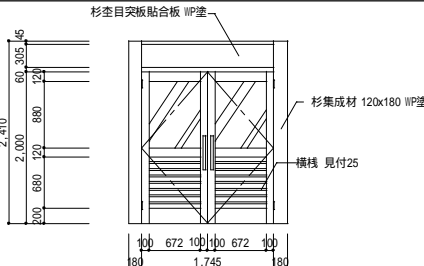
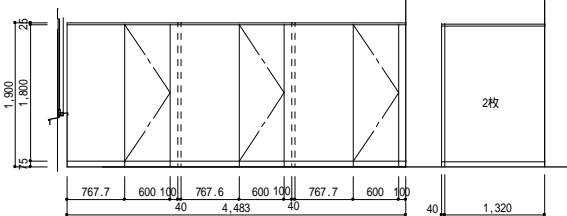
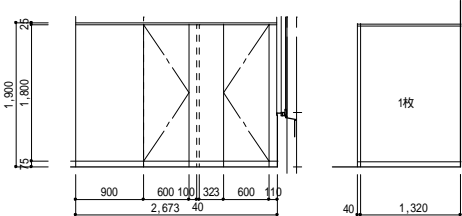
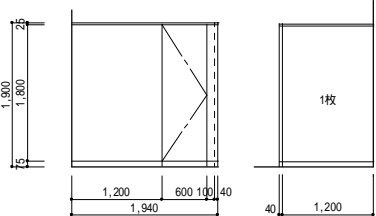
（B）断面詳細図（改修後） 1/20

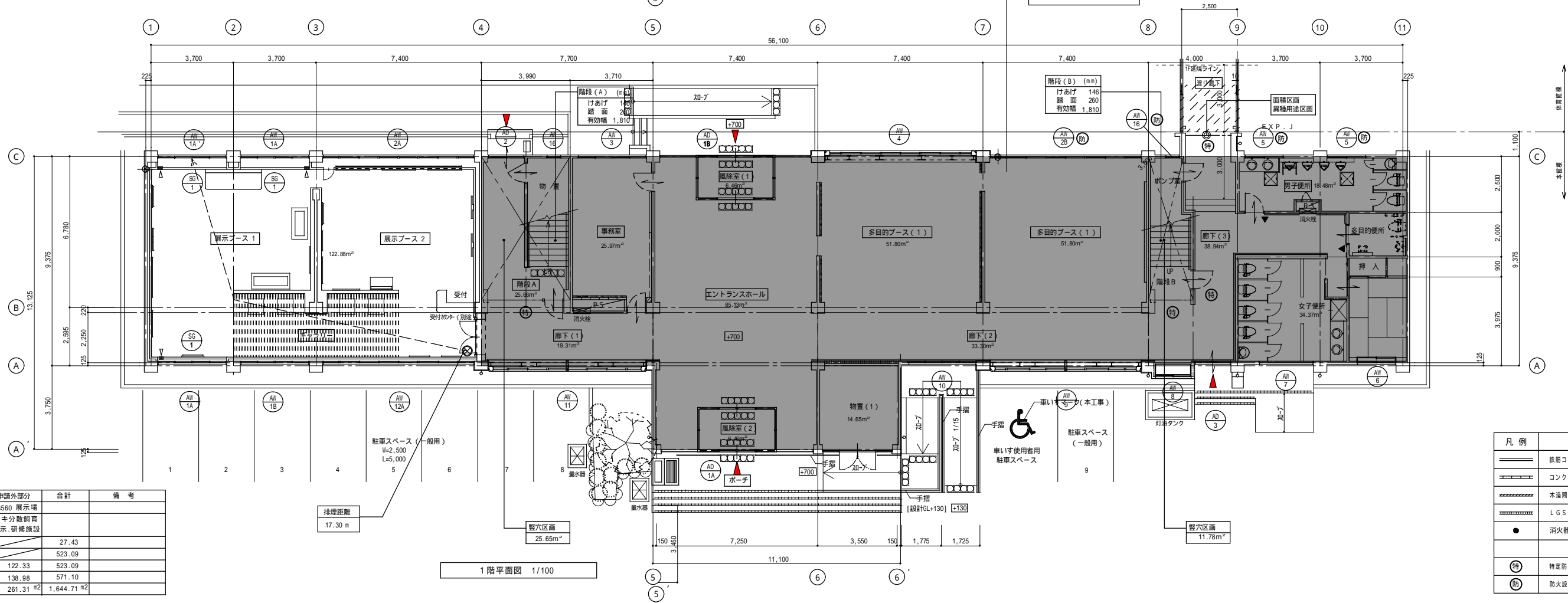
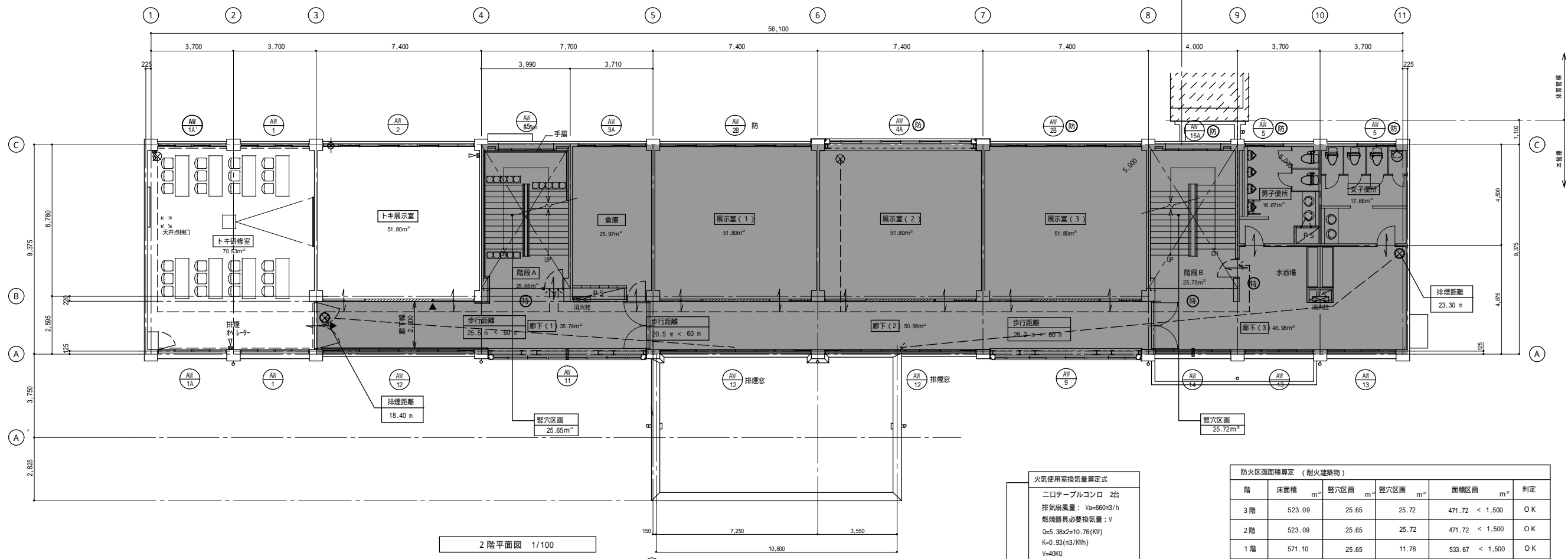


（A）断面詳細図（改修後） 1/20



（B）断面詳細図（改修後） 1/20

符 号 箇 所	(AD TA) x 1 か所	(AD TB) x 1 か所	(AD 2)
形 状 寸 法	S=1/100 	S=1/100 	
位 置	1F エントランスホール	1F エントランスホール	1F 物置(1)
名 称 見込み	引き分け自動扉戸+ランマFIX 100	引き分け自動扉戸+ランマFIX 100	片開きフラッシュ戸
材 料 仕 上	アルミ陽極酸化皮膜電解着色塗装	アルミ陽極酸化皮膜電解着色塗装	アルミ陽極酸化皮膜電解着色塗装
ガラス	t=5.0強化ガラス（透明）	t=5.0強化ガラス（透明）	
金 物	付属金物一式 自動ドア用錠 自動車開閉装置 駆動装置	付属金物一式 自動ドア用錠 自動車開閉装置 駆動装置	付属金物一式 アルミドアハンドル シリンダー錠 アルミ顔縁 （外側）60mm （内側）30mm
改修内容			
符 号 箇 所	(ID 1) x 2 か所	(ID 2) x 1 か所	(ID 3) x 2 か所
形 状 寸 法			
位 置	1F 事務室	1F 多目的便所	2F 廊下(2)
名 称 見込み	片開き扉戸	自閉式上吊り片引込みフラッシュ戸 （アウトセットタイプ）	両開き扉戸
材 料 仕 上	スプルス WP塗 腰板 杉柵目突板貼合板（両面）WP塗	メーカー仕様による（標準）	スプルス WP塗 腰板、ランマ腰板 杉柵目突板貼合板（両面）WP塗
ガラス	t=3.0 透明ガラス		t=3.0 透明ガラス
金 物	ステンレス丁番 ドアチェック レバー・ハンドル シリンダー錠、サムターン錠	メーカー仕様による バーハンドル シリンダー錠、サムターン錠	ステンレス丁番 ドアチェック 引手 L=450（木調）
その他			
符 号 箇 所	(TB 1) x 1 か所	(TB 2) x 1 か所	(TB 3) x 1 か所
形 状 寸 法			
位 置	1F 女子便所	1F 女子便所	2F 男子便所
名 称 見込み	トイレブース 40	トイレブース 40	トイレブース 40
材 料 仕 上	ポリエステル化粧合板フラッシュ ステンレス巾木	ポリエステル化粧合板フラッシュ ステンレス巾木	ポリエステル化粧合板フラッシュ ステンレス巾木
ガラス			
金 物	トイレブースシステム金物 （メーカー標準仕様）	トイレブースシステム金物 （メーカー標準仕様）	トイレブースシステム金物 （メーカー標準仕様）
その他			
符 号 箇 所			
形 状 寸 法			
特記事項			
位置			
名称 見込み			
材料 仕上			
ガラス			
金物			
その他			
PRI. NO.	TITLE 夏戸センター改修整備工事	DATE 2017.03	NAME 建具表
SCALE 1/50	株式会社ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-7-6 TEL 03-5226-1105 FAX 03-5226-2697	DRAWN 管理建築士 一級 国土交通大臣登録 第233817号 福岡 薫	SHEET NO. A - 33



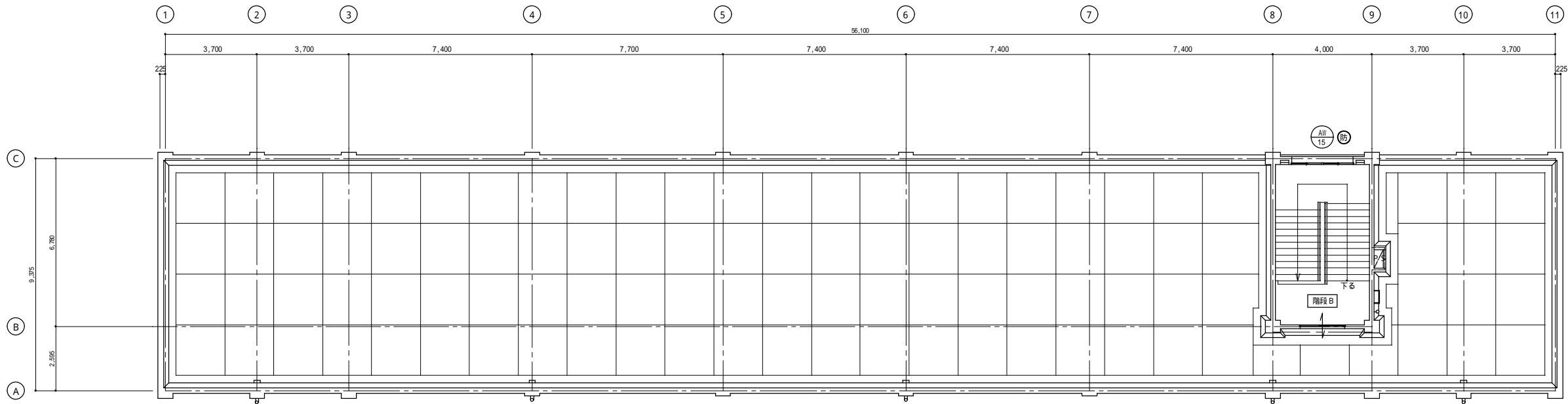
用途変更部分	用途区分	申請部分	申請外部分	合計	備考
	08560 展示場	08560 展示場			
名	称	寺泊郷土資料館	トキ分館開館 展示・研修施設		
床面積	PHF	27.43		27.43	
	3F	523.09		523.09	
	2F	400.76	122.33	523.09	
	1F	432.12	138.98	571.10	
	合計	1,383.40 m ²	261.31 m ²	1,644.71 m ²	

特記事項

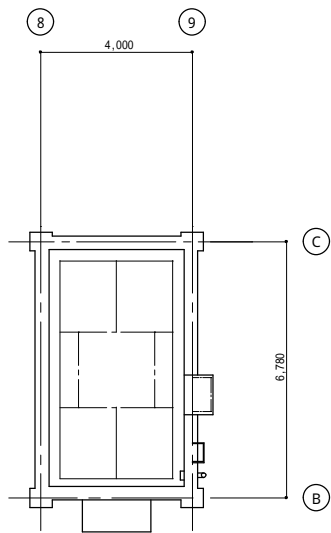
発注者
長岡市都市整備部住宅施設課

夏戸センター改修整備工事
株式会社ブレイク研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
〒102-0083 東京都千代田区神町3-7-6 管理建築士 一級 国土交通大臣登録 第233817号
TEL 03-5226-1105 FAX 03-5226-2697

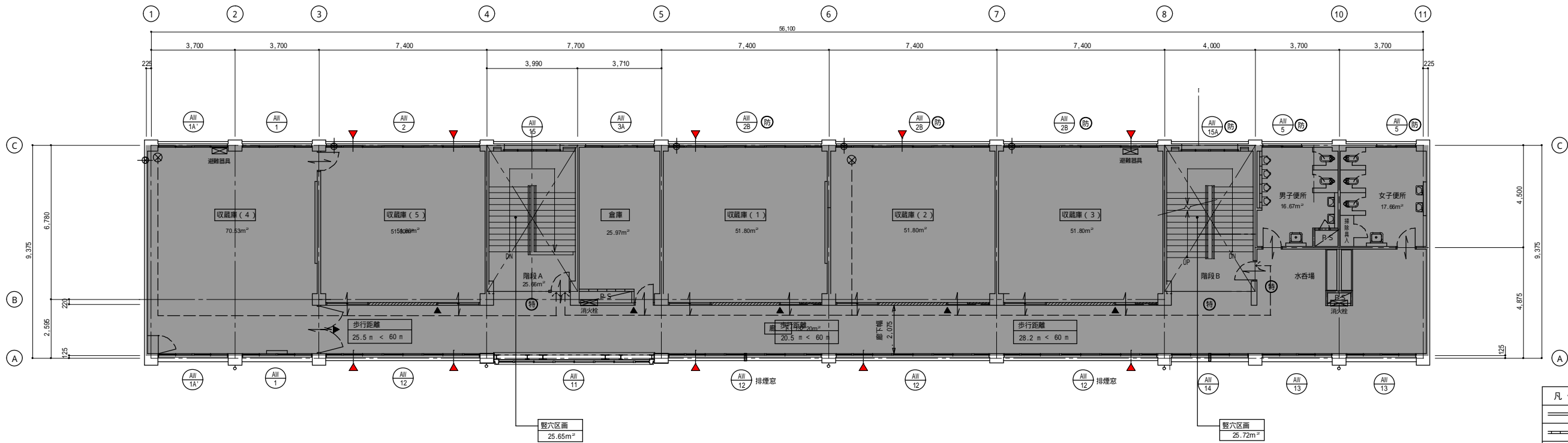
法規チェック図(1) 本館棟(1階・2階)
2017.03
1/100
A - 34



R階平面図 1/100



P H階屋上平面図 1/100



3階平面図 1/100

用途変更部分	用途区分	申請部分	申請外部分	合計	備考
	名	用途区分	申請部分	申請外部分	合計
	PHF	27.43		27.43	
	3F	523.09		523.09	
	2F	400.76	122.33	523.09	
	1F	432.12	138.98	571.10	
	合計	1,383.40 ㎡	261.31 ㎡	1,644.71 ㎡	

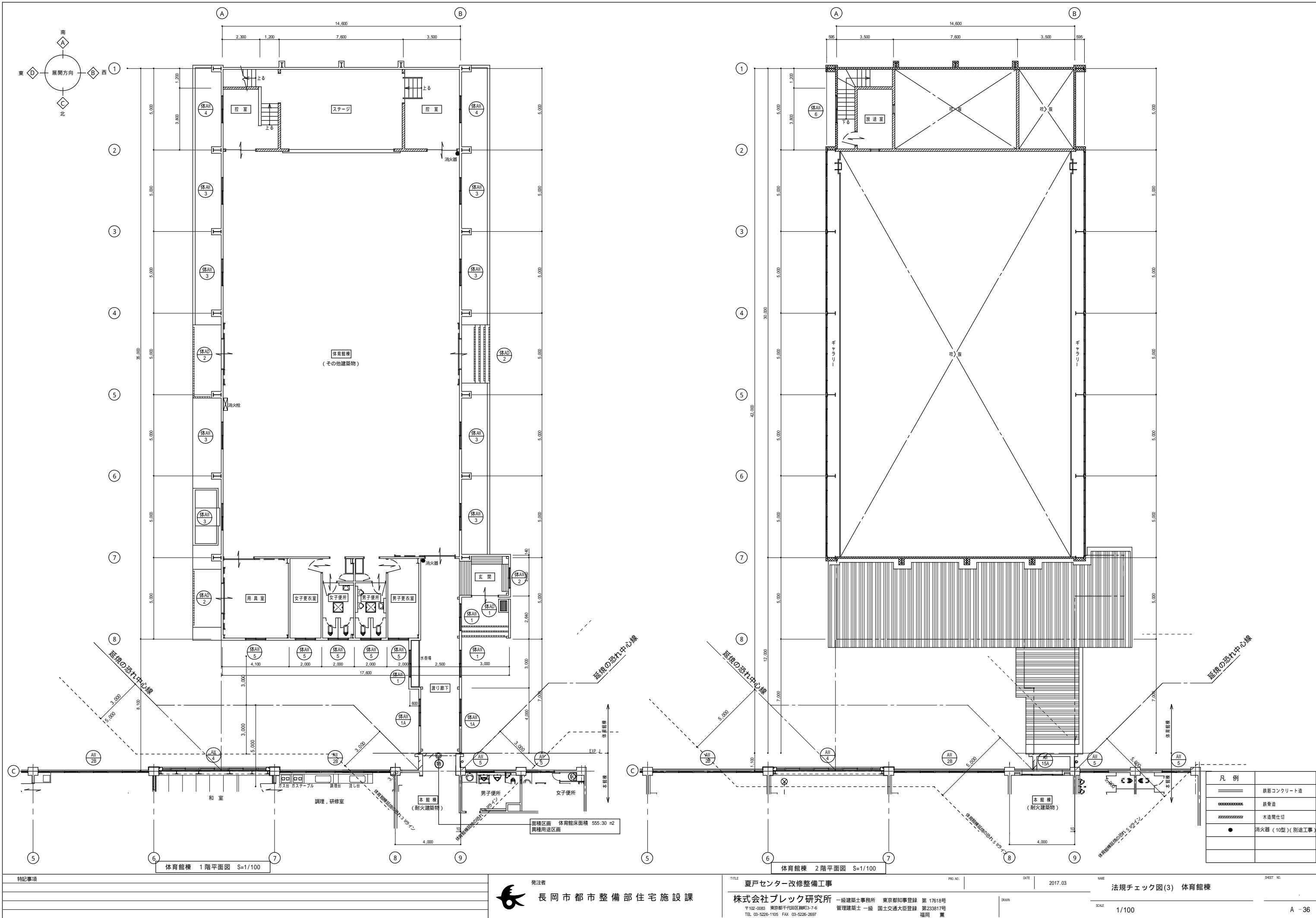
凡例	
鉄筋コンクリート造	
コンクリートブロック造	
木造間仕切り	
LGS下地組	
消火器 (10型) (別途工事)	
代替出入口 (開口寸法 850xH1200 以下) かつ下層 FL+1200以下	
特定防火設備を示す	
防火設備を示す	

特記事項

発注者
長岡市都市整備部住宅施設課


夏戸センター改修整備工事
株式会社ブレック研究所
〒102-0083 東京都千代田区神町3-7-6
TEL 03-5226-1105 FAX 03-5226-2697

PRG. NO.
DATE
2017.03
NAME
法規チェック図(2) 本館棟 (3階)
DRAW
SCALE
1/100
SHEET NO.
A - 35



特記事項

発注者

 長岡市都市整備部住宅施設課

TITLE

夏戸センター改修整備工事

PRJ. NO.

DATE

2017.03

NAME

法規チェック図(3) 体育館棟

SHEET NO.

SCALE

1/100

A - 36

株式会社ブラック研究所

一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号

〒102-0083 東京都千代田区神町3-7-6

TEL 03-5226-1105 FAX 03-5226-2697

管理建築士 一級 国土交通大臣登録 第233817号

福岡 薫

符 号	箇 所	(AII-1) x 4 (AIH-1A)	x 5 (AIH-1A')	x 2 (AII-1B)	x 1 (AII-18)
形 状 (外観図) 寸 法					
位 置	(AII-1) 2Fトキ研修室x2 3F研修室(1)x2 (AII-1A) 1Fブース 1x3 2Fトキ研修室x2 3F研修室(1)x2 (AII-1B) ギャラリーx1				
名 称	見込み				
材 料	仕上 アルミ				
ガラス	(AII-1) (AII-1A) (AII-1B) t=5.0フロートガラス (AII-1A') 斜線部のみt=6.8 PIG				
金 物	(AII-1A) 排煙オペレーター				
その他					
符 号	箇 所	(AII-7) x 1			
形 状 寸 法					
位 置	1F 物置				
名 称	見込み				
材 料	仕上 アルミ				
ガラス	t=4.0型板ガラス				
金 物					
その他					
符 号	箇 所	(AII-13) x 4			
形 状 寸 法					
位 置	2F 廊下 x2 3F 廊下 x2				
名 称	見込み				
材 料	仕上 アルミ				
ガラス	t=5.0フロートガラス				
金 物					
その他					
符 号	箇 所	(AD-1A) x 1			
形 状 寸 法					
位 置	1F エントランスホール				
名 称	見込み				
材 料	仕上 アルミ				
ガラス	t=5.0強化ガラス (透明)				
金 物	付属金物一式 自動ドア用錠 自動扉開閉装置 駆動装置				
その他					
特記事項					
発注者 長岡市都市整備部住宅施設課					
夏戸センター改修整備工事					
株式会社ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 〒102-0083 東京都千代田区神町3-7-6 管理建築士 一級 国土交通大臣登録 第233817号 福岡 薫					
PROJ. NO. DATE 2017.03 NAME 法規チェック図(4) 本館棟建具表 SHEET NO.					
SCALE 1/100 A -37					

符 号	箇 所	体AD11 7	x	2	体AD16 16	x	2
形 状 寸 法							
位 置		体AD11-1 渡り廊下 x2 体AD11-1A 渡り廊下 x2					
名 称	見込み	引き違い窓					
材 料	仕 上	アルミ					
ガラス		体AD11-1 t=5.0フロートガラス 体AD11-1A t=6.8 網入り磨きガラス					
金 物							
その他							
符 号	箇 所	体AD1 1	x	1			
形 状 寸 法							
位 置		玄関					
名 称	見込み	引き違い戸					
材 料	仕 上	アルミ					
ガラス		t=5.0フロートガラス					
金 物							
その他							
位 置		体AD12 2					
名 称	見込み	引き違い窓					
材 料	仕 上	アルミ					
ガラス		t=5.0フロートガラス					
金 物							
その他							
位 置		体AD13 3					
名 称	見込み	引き違い窓					
材 料	仕 上	アルミ					
ガラス		t=5.0フロートガラス					
金 物							
その他							
位 置		体AD14 4					
名 称	見込み	引き違い窓					
材 料	仕 上	アルミ					
ガラス		t=5.0フロートガラス					
金 物							
その他							
位 置		体AD15 5					
名 称	見込み	引き違い窓					
材 料	仕 上	アルミ					
ガラス		t=4.0型板ガラス					
金 物							
その他							
位 置		体AD16 6					
名 称	見込み	引き違い窓					
材 料	仕 上	アルミ					
ガラス		t=4.0型板ガラス					
金 物							
その他							

特記事項

発注者

長岡市都市整備部住宅施設課

TITLE

夏戸センター改修整備工事

株式会社ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
〒102-0083 東京都千代田区神田3-7-6 管理建築士 一級 国土交通大臣登録 第233817号
TEL 03-5226-1105 FAX 03-5226-2697 福岡 薫

FIG. NO.

DATE

2017.03

NAME

法規チェック図(5) 体育館棟 建具表

SHEET NO.

1/100

A - 38

採 光 ・ 換 気 ・ 排 煙 計 算 表																・有効排煙に於ける排煙口迄の最大到達距離(L: 30m)の確認は各階キープラン図(別図)に依る。 ・非常用照明は非常用照明設備参照。 ・機械換気は換気設備参照。																			
階	室 名	床面積 A m ²	必要採光面積 A / 20	有効採光面積		m ²	判定	必要換気面積 A / 20	有効換気面積		m ²	判定	必要排煙面積 A / 50	有効排煙面積		m ²	判定																		
1階	トキ展示ブース（１） トキ展示ブース（２）	122.88	6.11	ナシ			NG 非常照明設置	6.11	ナシ			2.46	AII-1A x3	1.485/2x0.6x2x3	= 2.62	2.62	○ K																		
	事務室	25.97	1.30	AII-3	1.485x(1.20+0.60)x2x3 = 16.04 - 1.485/2x0.60x3 = -1.34	14.70	○ K	1.30	AII-3	1.485/2x0.60x1 1.485/2x1.20x2	= 0.45 = 1.78	2.23	○ K	0.49	AII-3	1.485/2x0.60 1.485/2x0.60x2	= 0.44 = 0.08	0.52	○ K																
	エントランスホール	51.80	2.59	AII-2	0.68x2+1.70x2+0.815x2)x(1.20+0.60)x3 = 34.51 -0.66x0.60x2x3 = -2.38	32.13	○ K	2.59	AII-2	1.70/2x0.60x2 1.70/2x1.20x2	= 1.02 = 2.04	3.06	○ K	1.04	AII-2	1.70/2x0.60x3	= 1.53	1.53	○ K																
	展示ブース（１）	51.80	2.59	AII-4	0.46x2+1.70x3)x(1.20+0.495)x3 = 30.67 -1.70x0.495x3 = -2.52	28.15	○ K	2.59	AII-4	1.70/2x1.20x3	= 3.06	3.06	○ K	1.04	AII-4	0.825x0.425x4	= 1.40	1.40	○ K																
	展示ブース（２）	51.80	2.59	AII-2B	0.68x2+1.70x2+0.815x2)x(1.20+0.60)x3 = 34.51 -0.66x0.60x2x3 = -2.38	32.13	○ K	2.59	AII-2B	1.70/2x0.60x2 1.70/2x1.20x2	= 1.02 = 2.04	3.06	○ K	1.04	AII-2B	1.70/2x0.60x3	= 1.53	1.53	○ K																
	男子便所	18.48													告-4-/8（２）	=																			
	女子便所	34.37													告-4-/8（２）	=																			
	多目的便所	5.35													告-4-/8（２）	=																			
	ポンプ室	8.82													告-4-/8（２）	=																			
	物置（１）	14.65													告-4-/8（２）	=																			
															告-4-/8（２）	=																			
															告-4-/8（２）	=																			
															告-4-/8（２）	=																			
	昇降口 廊下	134.07											2.68	AII-9	1.70/2x0.945x3	= 2.40	4.80	○ K																	
														AII-11	1.70/2x0.945x3	= 2.40																			
2階	トキ研修室	70.53	3.53	AII-1 x2 AII-1A x2	(1.20+0.60)x1.465x4x3 = 31.64	31.64	○ K	3.53	AII-1 x2 AII-1A x2	1.485/2x0.60x2 1.485/2x1.20x2	= 0.89 = 1.78	2.67	○ K	1.41	AII-1A x2	1.485/2x0.60x2x2	= 1.78	1.78	○ K																
	トキ展示室	51.80	2.59	AII-2	0.68x2+1.70x2+0.815x2)x(1.20+0.60)x3 = 34.51 -0.66x0.60x1x3 = -1.19	33.32	○ K	2.59	AII-2	1.70/2x0.60x2 1.70/2x1.20x2	= 1.02 = 2.04	3.06	○ K	1.04	AII-2	1.70/2x0.60x3	= 1.53	1.53	○ K																
	倉庫	25.79													告-4-/8（２）	=																			
	展示室（１）	51.80	2.59	AII-2B	0.68x2+1.70x2+0.815x2)x(1.20+0.60)x3 = 34.51 -0.66x0.60x1x3 = -1.19	33.32	○ K	2.59	AII-2B	1.70/2x0.60x2 1.70/2x1.20x2	= 1.02 = 2.04	3.06	○ K	1.04	AII-2B	1.70/2x0.60x3	= 1.53	1.53	○ K																
	展示室（２）	51.80	2.59	AII-4	0.46x2+1.70x3)x(1.20+0.60)x3 = 32.57 -1.70x0.60x3 = -3.08	29.51	○ K	2.59	AII-4	1.70/2x1.20x3	= 3.06	3.06	○ K	1.04	AII-4	0.825x0.425x4	= 1.40	1.40	○ K																
	展示室（３）	51.80	2.59	AII-2B	0.68x2+1.70x2+0.815x2)x(1.20+0.60)x3 = 34.51 -0.66x0.60x1x3 = -1.19	33.32	○ K	2.59	AII-2B	1.70/2x0.60x2 1.70/2x1.20x2	= 1.02 = 2.04	3.06	○ K	1.04	AII-2B	1.70/2x0.60x3	= 1.53	1.53	○ K																
	女子便所	17.66													告-4-/8（２）	=																			
	男子便所	17.67													告-4-/8（２）	=																			
	廊 下	132.20											2.65	AII-12x2	1.70/2x0.79x3x2	= 4.02	4.02	○ K																	

(消防無窓階算定用)

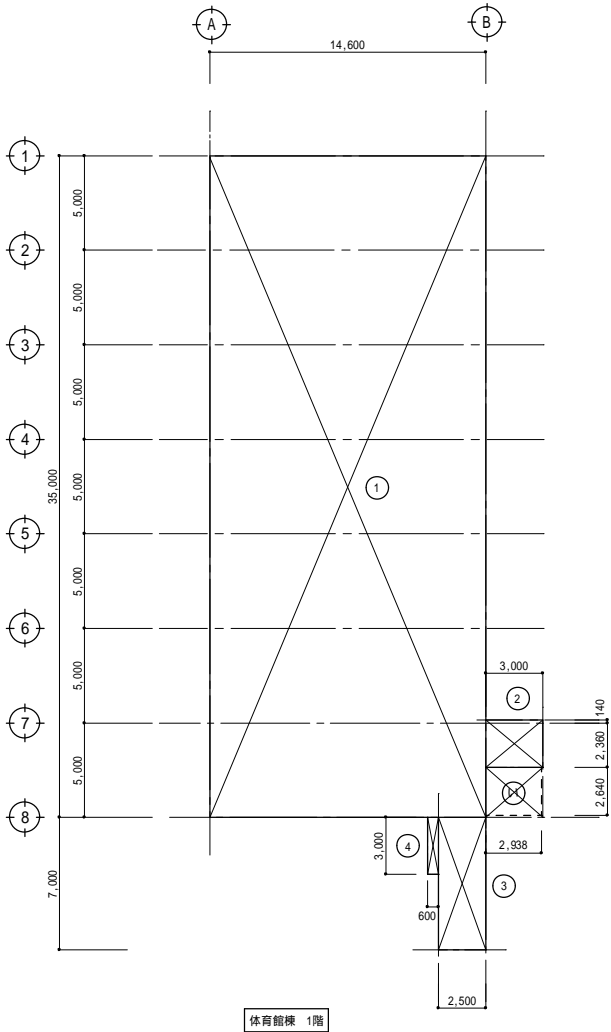
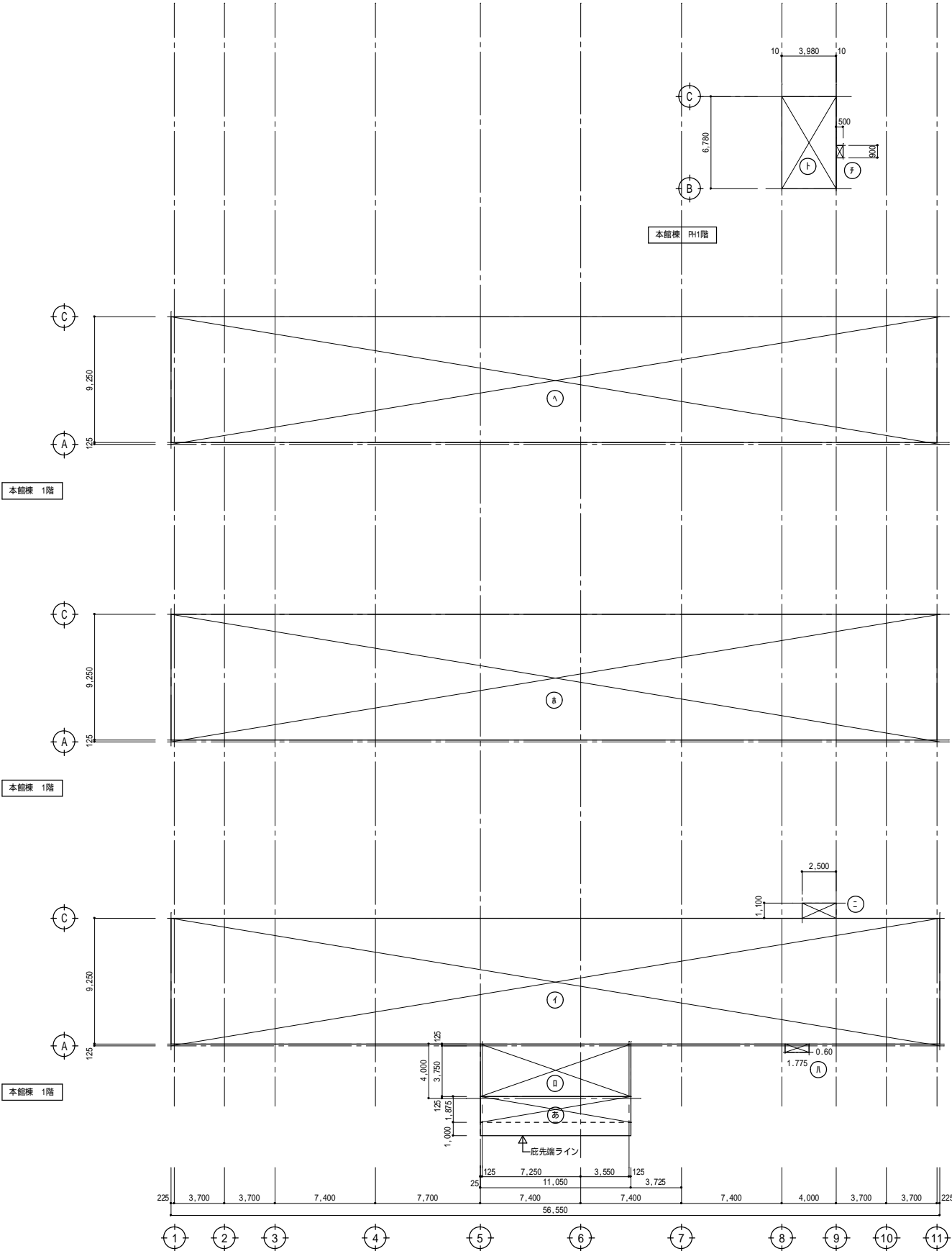
[1階] 本館棟+体育館棟			
床 面 積 (A)	1,108.90 m2		
基 礎 開 口 面 積 (A / 30)	36.96 m2		
有 効 開 口 面 積 合 計	64.89 m2		
算 定 結 果	普 通 階	無 窓 階	
令 8 区 画 等 に よ る 別 棟	該当有り	該当無し	

開口部位置	建具番号	開口部種別	床からの高さ (m)	厚さ (mm)	幅 (m) x 高さ (n) x 所在数	開口部面積小計 (m2)	備 考
南 x1	AII-2	普通ガラス 引き違い窓 + FIX	0.8	F15.0	1.70x1.20x3x1 0.68x2x1.20x1	6.12 1.63	
南 x1	AII-2B	網入ガラス 引き違い窓 + FIX	0.8	PI6.8	1.70/2x1.2x3x1	3.06	
南 x1	AII-3	普通ガラス 引き違い窓	0.8	F15.0	1.485x1.2x2x1	3.56	
南 x1	AII-4	普通ガラス 引き違い窓 + FIX	0.82	F15.0	1.70x1.20x1x1	2.04	
南 x1	AII-5	網入ガラス 引き違い窓	1.1	PI6.8	1.70/2x0.90x1	0.77	
南 x1	AII-5	網入ガラス 引き違い窓	1.1	PI6.8	1.70/2x0.9x1	0.77	
北 x1	AII-6	型板ガラス 引き違い窓	0.7	F4.0	1.70x1.30x1	2.21	
北 x1	AII-7	型板ガラス 両引き分け窓	0.7	F4.0	2.38x1.30x1	3.08	
北 x1	AII-8	普通ガラス 引き違い窓	1.2	F15.0	1.565x1.20x1	1.88	
北 x1	AII-9	普通ガラス 引き違い窓 + FIX	1.2	F15.0	1.70x1.345x1	2.29	
北 x1	AII-10	普通ガラス 引き違い窓	1.2	F15.0	1.485x1.20x2x1	3.56	
北 x1	AII-11	普通ガラス 引き違い窓 + FIX	1.2	F15.0	1.70x1.345x1	2.29	
北 x1	AD-1	普通ガラス 引き違い窓 + FIX	0	F15.0	6.79x2.0x1	13.58	
南 x1	AD-2	型板ガラス+アルミパネル 引き違い戸	0	F4.0	1.56/2x1.85x1	1.44	
北 x1	AD-3	型板ガラス+アルミパネル 引き違い戸	0	F4.0	1.56/2x2.0x1	1.56	
西 x2	体AII-1	普通ガラス 引き違い窓	0.9	F15.0	1.60x1.10x2	3.52	
西 x1	体AII-2	普通ガラス 引き違い窓	1.1	F15.0	1.20x0.9x1	1.08	
西 x1 東 x1	体AII-4	普通ガラス 引き違い窓	0.9	F15.0	1.60x1.1x2	3.52	
北 x5	体AII-5	型板ガラス 引き違い窓	1.1	F4.0	1.20x0.9x5	5.40	
北 x1	体AD-1	普通ガラス+アルミパネル 引き違い戸	0	F15.0	1.60/2x1.9x1	1.52	
					合 計	64.89	

[2階] 本館棟			
床 面 積 (A)	523.09 m2		
基 礎 開 口 面 積 (A / 30)	17.44 m2		
有 効 開 口 面 積 合 計	69.56 m2		
算 定 結 果	普 通 階	無 窓 階	

開口部位置	建具番号	開口部種別	床からの高さ (m)	厚さ (mm)	幅 (m) x 高さ (n) x 所在数	開口部面積小計 (m2)	備 考
南 x1 北 x1	AII-1	普通ガラス 引き違い窓	0.8	F15.0	1.485x1.20x2x2	7.12	
北 x1	AII-1A	普通ガラス 引き違い窓	0.8	F15.0	1.485x1.20x2x1	3.56	
南 x1	AII-2	普通ガラス 引き違い窓 + FIX	0.8	F15.0	1.70x1.20x3x1 0.68x2x1.20x1	6.12 1.63	
南 x2	AII-2B	網入ガラス 引き違い窓 + FIX	0.8	PI6.8	1.70/2x1.2x3x2	6.12	
南 x1	AII-3A	普通ガラス 引き違い窓	0.8	F15.0	1.485x1.2x2x1	3.56	
南 x1	AII-4A	網入ガラス 引き違い窓 + FIX	0.82	PI6.8	1.70/2x1.20x1x1	1.02	
南 x1	AII-5	網入ガラス 引き違い窓	1.1	PI6.8	1.70/2x0.90x1	0.77	
南 x1	AII-5	網入ガラス 引き違い窓	1.1	PI6.8	1.70/2x0.9x1	0.77	
北 x1	AII-9	普通ガラス 引き違い窓 + FIX	1.2	F15.0	1.70x1.345x1	2.29	
北 x1	AII-11	普通ガラス 引き違い窓 + FIX	1.2	F15.0	1.70x1.345x1	2.29	
北 x3	AII-12	普通ガラス 引き違い窓 + FIX	1.2	F15.0	1.70x1.20x3x3 0.68x1.20x2x3	18.36 4.9	
北 x2	AII-13	普通ガラス 引き違い窓	1.2	F15.0	1.485x1.20x2x2	7.13	
北 x1	AII-14	普通ガラス	1.2	F15.0	1.635x1.20x2x1	3.92	
					合 計	69.56	


[2階] 体育館棟		
-------------	--	--



	符号	計算式		
本館棟				
1階床面積	イ	56.55x9.25	523.09	
	ロ	11.05x4.00	44.20	
	ハ	1.775x0.60	1.06	
	ニ	2.50x1.10	2.75	
1階床面積 合計			571.10	571.10
2階床面積	ホ	56.55x9.25	523.09	
2階床面積 合計			523.09	523.09
3階床面積	ヘ	56.55x9.25	523.09	
3階床面積 合計			523.09	523.09
PH1階床面積	ト	3.98x6.78	26.98	
	チ	0.50x0.90	0.45	
PH1階床面積 合計			27.43	27.43
本館棟延べ床面積				1,644.71
ボーチ庇	セ	11.05x1.875	20.71	
本館棟建築面積			571.10+20.71	591.81
体育館棟				
1階床面積	①	14.60x35.00	511.00	
	②	3.00x2.50	7.50	
	③	2.50x7.00	17.50	
	④	0.60x3.00	1.80	
1階床面積 合計			537.80	537.80
2階床面積	⑤	3.50x5.00	17.50	
2階床面積 合計			17.50	17.50
体育館棟延べ床面積				555.30
ボーチ庇	⑥	2.938x2.518	7.39	
体育館棟建築面積			537.80+7.39	545.19

特記事項

発注者

 長岡市都市整備部住宅施設課

TITLE 夏戸センター改修整備工事

PRJ. NO. | DATE 2017.03

NAME 法規チェック図(7) 面積表

SHEET NO. A - 40

SCALE 1/200

株式会社ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
〒102-0083 東京都千代田区神町3-7-6 管理建築士 一級 国土交通大臣登録 第233817号
TEL 03-5226-1105 FAX 03-5226-2697 福岡 薫